

ぐんま緑の県民税 県民アンケート

報告書



平成30年5月
群馬県

目次

第1章	調査概要	1
1.	調査目的	1
2.	調査方法	2
1)	調査対象者	2
2)	調査対象者の抽出方法	2
3)	調査対象者の抽出結果	4
4)	調査票の配布・回収	5
3.	回収結果	5
4.	集計方法	5
第2章	調査結果	6
1.	回答者の属性	6
1)	居住市町村別	6
2)	地域別	7
3)	性別	8
4)	年齢別	8
5)	年齢別回収率	9
6)	性別・年齢別	9
7)	森林の所有状況	10
2.	全体集計	11
1)	問1 森林の働きについて	11
2)	問2 「ぐんま緑の県民税」の認知度について	18
3)	問3 「ぐんま緑の県民税」を活用した取組について	26
4)	問4 「ぐんま緑の県民税」の継続について	33
5)	問5 「ぐんま緑の県民税」を継続した場合の取組について	42
3.	記述回答	53
1)	問5 その他意見	53
2)	問6 「ぐんま緑の県民税」に関するご意見について	57
第3章	資料編 アンケート調査票	69

第1章 調査概要

1. 調査目的

ぐんま緑の県民税は、平成30年度でI期5年が終了することから、平成31年度以降の制度のあり方について検討を行うが、これに際しぐんま緑の県民税に対する県民の意識を把握し、検討資料とするため、県民アンケート調査を次のとおり実施した。

2. 調査項目

1) 依頼文

調査の前提として、納税者から年額700円を徴収させていただいていること、財源をぐんま緑の県民基金に積み立て、奥山の森林の整備や、地域住民やボランティア団体等が行う里山・竹林の整備等に活用していることを記載した。

また、資料として、「ぐんま緑の県民税」の取組、パンフレットを同封した。

2) 調査項目

調査については、回答率の向上、負担軽減を考慮し調査項目を決定した。

一般項目として、

- 性別
- 年代
- 職業
- 居住地域
- 森林所有の有無

について回答を求めた。また、目的調査項目として

- 森林の働きについて
- 認知度について
- 「ぐんま緑の県民税」を活用した取組について
- 「ぐんま緑の県民税」の継続について
- 継続した場合の取組について

の5項目について、選択式での回答を求めた。

さらに「ぐんま緑の県民税」に関する意見について、自由記述式での回答を求めた。

3. 調査方法

1) 調査対象者

県民アンケートの調査対象者は県内在住の満 18 歳以上の男女 2,200 人¹とした。

2) 調査対象者の抽出方法

選挙人名簿登録者を対象とした層化二段無作為抽出法²により実施する。

群馬県内の市町村を表 1 及び図 1 に示すように 11 地域にわけ(層化)、地域別の状況把握ができるよう各地域から一律 200 人を抽出した。1 調査地点の標本数を 10 とし、各市町村から最低 1 調査地点以上計 10 調査地点をそれぞれ無作為(等間隔抽出法³)に各地域で選ぶものとした。

ここでの調査地点は国勢調査における町丁・字等人口データの地域区分とし、選挙人名簿登録者数を使用して各地域の調査地点計 20 を、各地域の市町村人口の比例配分により振り分ける。なお、調査地点抽出に際しての各層内における市町村の配列順序は、国勢調査時における「市区町村コード表」の配列順序に従うものとした。

各調査地点における対象者の抽出は調査地点の範囲(町、丁目、街区、番地、集落などを指定)内から、選挙人名簿より等間隔抽出法を用いて無作為に行った。

※1 標本数 n は下記の式で求められる。

$$n = \frac{\lambda^2 p(1-p)}{d^2} \quad n: \text{標本数}, p: \text{回答比率}, d: \text{標本誤差}, \lambda: \text{信頼水準}$$

回答比率は調査対象者の回答比率(例 50%の人が賛成)を示し、ここでは標本数が最大となる 0.5 とする。標本誤差とは調査結果で容認できる誤差をいい、ここでは 3% (0.03) とする。信頼水準とは正しく判断できる確率をいい、ここでは 95%となる $\lambda=2$ とする。これらの数値を上記の式に入力すると標本数 $n=1111$ となる。回収率を 50%程度とし、標本数を 2200 とした。

※2 層化二段無作為抽出法とは対象地域を市町村などの行政単位によっていくつかに分類し(層化)、各層に調査地点を各層の人口に応じて比例配分し、国勢調査における調査地域や住民基本台帳などを利用して、各地点において一定数のサンプル抽出を行う方法(二段無作為抽出)をいう。

※3 等間隔抽出法とは無作為抽出の手法の 1 つである。母集団の一覧から等間隔で調査対象者を抽出する。例えば総数 200 の母集団から標本数 10 を等間隔抽出法で抽出する場合、総数 200 を標本数 10 で割って抽出間隔 20 (200÷10) を求める。1 から 20 までの整数の中から無作為に数字を決め、抽出起番号とする。抽出起番号を仮に「3」とする。番号が 3 から 23、43、63 と抽出間隔が 20 で 183 までの 20 を抽出する。

表 1 地域区分

番号	地域名	構成市町村名
1	前橋地域	前橋市
2	北群馬渋川地域	渋川市、榛東村、吉岡町
3	佐波伊勢崎地域	伊勢崎市、玉村町
4	高崎・安中地域	高崎市、安中市
5	多野藤岡地域	藤岡市、上野村、神流町
6	甘楽富岡地域	富岡市、下仁田町、南牧村、甘楽町
7	吾妻地域	中之条町、長野原町、嬭恋村、草津町、高山村、東吾妻町
8	利根沼田地域	沼田市、片品村、川場村、昭和村、みなかみ町
9	太田地域	太田市
10	桐生・みどり地域	桐生市、みどり市
11	邑楽館林地域	館林市、板倉町、明和町、千代田町、大泉町、邑楽町

※標本数は各地域 200 標本とする。

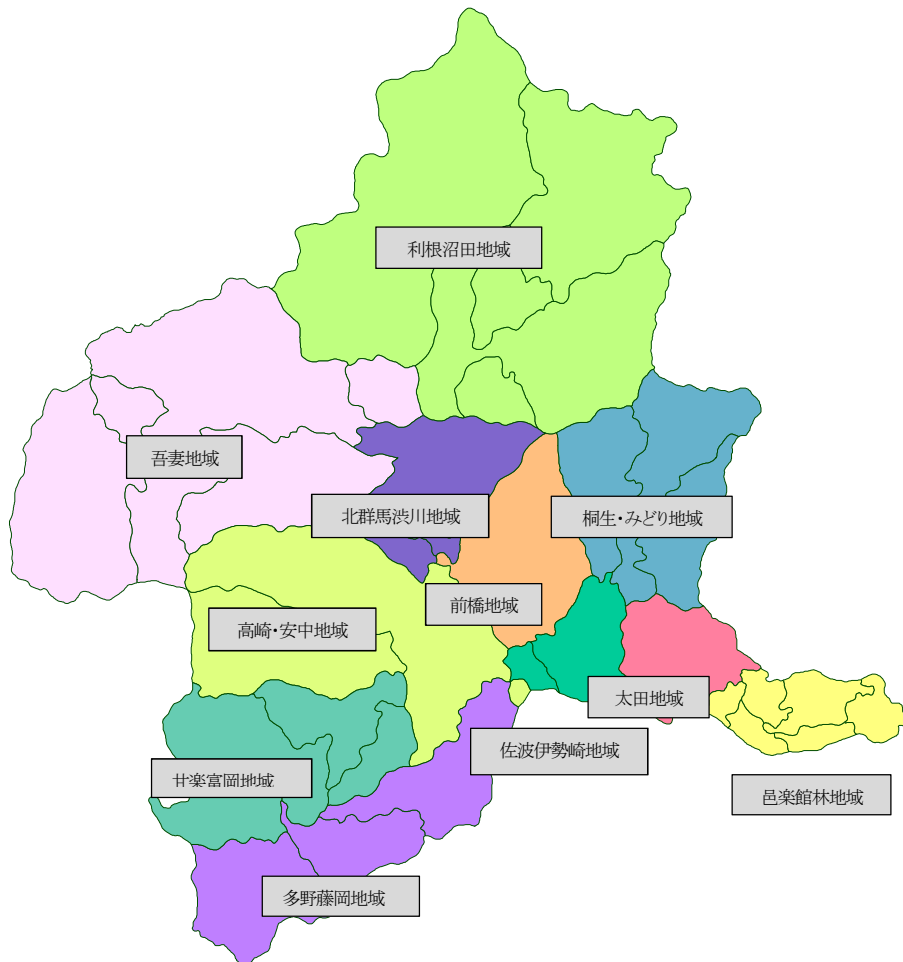


図 1 地域区分

3) 調査対象者の抽出結果

前項の方法により抽出された調査対象者は表 2 調査対象者抽出数に示すとおりである。

表 2 調査対象者抽出数

		18・19歳		20代		30代		40代		50代		60代		70代		80代以上		全体		合計
		男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
市部	前橋市	3	-	7	11	11	15	15	15	17	19	18	20	17	17	10	5	98	102	200
	高崎市	1	2	9	9	9	14	11	14	12	14	21	13	14	14	7	6	84	86	170
	桐生市	1	2	7	6	4	10	13	4	13	9	18	14	7	18	4	10	67	73	140
	伊勢崎市	4	1	7	7	9	11	19	25	7	11	21	16	15	8	3	6	85	85	170
	太田市	1	2	7	12	19	12	22	19	14	16	19	14	16	18	4	5	102	98	200
	沼田市	4	-	5	7	6	10	10	8	13	3	6	7	7	16	3	5	54	56	110
	館林市	-	2	7	5	8	3	7	11	7	8	7	9	4	1	-	1	40	40	80
	渋川市	2	4	3	5	5	8	14	8	8	8	17	16	7	13	8	4	64	66	130
	藤岡市	-	3	7	11	10	16	18	13	15	11	19	19	14	13	5	6	88	92	180
	富岡市	-	1	7	7	8	9	11	11	8	8	11	14	11	9	8	7	64	66	130
	安中市	-	1	1	2	1	2	4	1	2	3	3	2	4	2	-	2	15	15	30
みどり市	-	1	1	4	4	4	3	2	3	4	13	5	6	7	-	3	30	30	60	
市部計		16	19	68	86	94	114	147	131	119	114	173	149	122	136	52	60	791	809	1,600
北群馬郡	榛東村	-	-	2	1	2	1	2	1	5	3	2	3	2	3	-	3	15	15	30
	吉岡町	1	-	2	-	5	5	3	4	6	4	2	5	-	2	1	-	20	20	40
	計	1	0	4	1	7	6	5	5	11	7	4	8	2	5	1	3	35	35	70
多野郡	上野村	-	-	1	-	1	1	1	-	-	1	1	3	-	-	1	-	5	5	10
	神流町	-	1	-	-	1	-	-	-	1	-	1	2	1	1	1	1	5	5	10
	計	0	1	1	0	2	1	1	0	1	1	2	5	1	1	2	1	10	10	20
甘楽郡	下仁田町	-	-	2	1	3	2	2	1	-	2	3	2	-	1	-	1	10	10	20
	南牧村	-	-	1	-	-	-	1	-	1	1	-	3	2	1	-	-	5	5	10
	甘楽町	-	-	3	3	2	3	1	2	1	2	9	5	2	5	2	-	20	20	40
	計	0	0	6	4	5	5	4	3	2	5	12	10	4	7	2	1	35	35	70
吾妻郡	中之条町	-	2	5	1	5	4	5	1	2	5	3	10	4	5	5	3	29	31	60
	長野原町	-	-	1	1	3	1	2	2	-	1	3	-	1	3	-	2	10	10	20
	嬭恋村	2	-	-	-	1	1	4	2	1	3	1	4	3	2	3	3	15	15	30
	草津町	-	1	1	-	-	1	2	2	4	1	2	2	1	2	-	1	10	10	20
	高山村	-	1	1	-	1	1	2	-	2	1	2	4	1	3	1	-	10	10	20
	東吾妻町	1	2	2	2	4	3	5	6	3	4	6	-	2	6	1	3	24	26	50
	計	3	6	10	4	14	11	20	13	12	15	17	20	12	21	10	12	98	102	200
利根郡	片品村	-	-	-	1	2	-	-	1	-	1	2	-	-	2	1	-	5	5	10
	川場村	-	-	2	-	1	1	1	-	1	-	-	1	-	3	-	-	5	5	10
	昭和村	-	-	1	-	-	5	2	1	1	1	1	1	4	2	1	-	10	10	20
	みなかみ町	-	-	-	5	2	3	4	2	3	3	5	5	4	6	6	2	24	26	50
	計	0	0	3	6	5	9	7	4	5	5	8	7	8	13	8	2	44	46	90
佐波郡	玉村町	-	-	3	2	3	4	1	4	1	3	4	1	1	1	2	-	15	15	30
	計	0	0	3	2	3	4	1	4	1	3	4	1	1	1	2	0	15	15	30
邑楽郡	板倉町	-	-	-	2	2	1	1	2	-	1	5	3	2	1	-	-	10	10	20
	明和町	-	-	-	2	1	-	1	1	1	-	2	-	-	1	-	1	5	5	10
	千代田町	-	-	-	1	1	-	1	-	-	1	-	2	1	-	2	1	5	5	10
	大泉町	-	-	3	2	5	4	4	4	3	8	5	5	3	1	3	-	26	24	50
	邑楽町	-	-	2	3	3	1	2	3	3	4	4	1	-	3	1	-	15	15	30
	計	0	0	5	10	12	6	9	10	7	14	16	11	6	6	6	2	61	59	120
郡部計		4	7	32	27	48	42	47	39	39	50	63	62	34	54	31	21	298	302	600
総計		20	26	100	113	142	156	194	170	158	164	236	211	156	190	83	81	1,089	1,111	2,200

4) 調査票の配布・回収

抽出された調査対象者あてにアンケート調査票を3月23日(金)の投函締切として、郵送で平成30年3月9日(金)に発送し、同封した封筒により郵送で調査票を回収した。

配布から回答締切である3月31日(土)までの間に未回答の場合の回答を促すはがきをアンケートへの協力のお礼を兼ね全対象者あてに発送した。

(平成30年3月16日発送)

4. 回収結果

回収数1,004件で、無効(白紙)1件を除いた有効回収数1,003件、有効回収率45.6%であった。

5. 集計方法

回収された各回答を整理し、各設問の単純集計の他に、性別、年齢別、地域別、職業別の集計及び、これらと事業に関するアンケート結果のクロス集計を行った。なお、地域別集計は回答者の居住地から地域を求めて行った。

集計結果は小数点第二位を四捨五入し、構成比率(%)で小数点第一位まで表示した。そのため、表示された構成比率の合計が100.0%にならない場合がある。

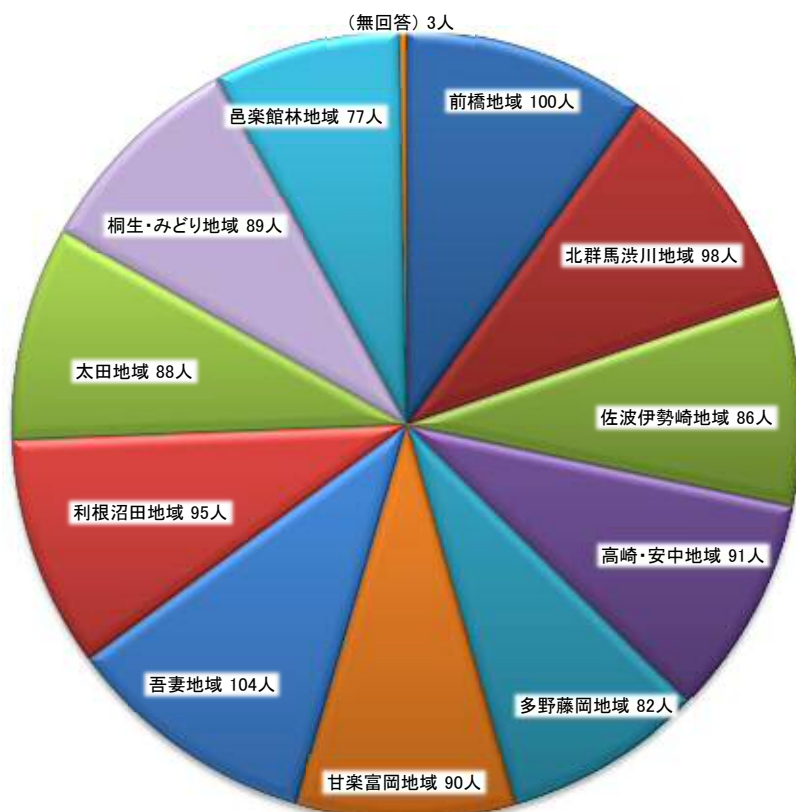
第2章 調査結果

1. 回答者の属性

1) 居住市町村別

市町村	配布		回収			回収率 (%)		
	男性	女性	男性	女性	不明			
前橋市	200	98	102	100	45	54	1	50.0
高崎市	170	84	86	78	38	39	1	45.9
桐生市	140	67	73	64	28	35	1	45.7
伊勢崎市	170	85	85	73	38	35		42.9
太田市	200	102	98	88	44	44		44.0
沼田市	110	54	56	43	18	24	1	39.1
館林市	80	40	40	31	10	21		38.8
渋川市	130	64	66	70	27	43		53.8
藤岡市	180	88	92	70	30	40		38.9
富岡市	130	64	66	56	24	31	1	43.1
安中市	30	15	15	13	4	9		43.3
みどり市	60	30	30	25	10	15		41.7
市部計	1,600	791	809	711	316	390	5	44.4
榛東村	30	15	15	11	5	6		36.7
吉岡町	40	20	20	17	6	11		42.5
上野村	10	5	5	7	4	3		70.0
神流町	10	5	5	5	2	3		50.0
下仁田町	20	10	10	9	5	4		45.0
南牧村	10	5	5	4	1	3		40.0
甘楽町	40	20	20	21	12	9		52.5
中之条町	60	29	31	33	16	17		55.0
長野原町	20	10	10	10	5	5		50.0
嬭恋村	30	15	15	17	8	9		56.7
草津町	20	10	10	8	5	3		40.0
高山村	20	26	24	13	6	6	1	65.0
東吾妻町	50	10	10	23	10	13		46.0
片品村	10	24	26	5	1	4		50.0
川場村	10	5	5	4	1	3		40.0
昭和村	20	5	5	14	7	7		70.0
みなかみ町	50	10	10	29	15	14		58.0
玉村町	30	24	26	13	6	7		43.3
板倉町	20	15	15	7	5	2		35.0
明和町	10	10	10	4	1	3		40.0
千代田町	10	5	5	6	3	3		60.0
大泉町	50	5	5	17	7	9	1	34.0
邑楽町	30	15	15	12	5	7		40.0
郡部計	600	298	302	289	136	151	2	48.2
(無回答)	-	-	-	3	1	1	1	
総計	2,200	1,089	1,111	1,003	453	542	8	45.6

2) 地域別

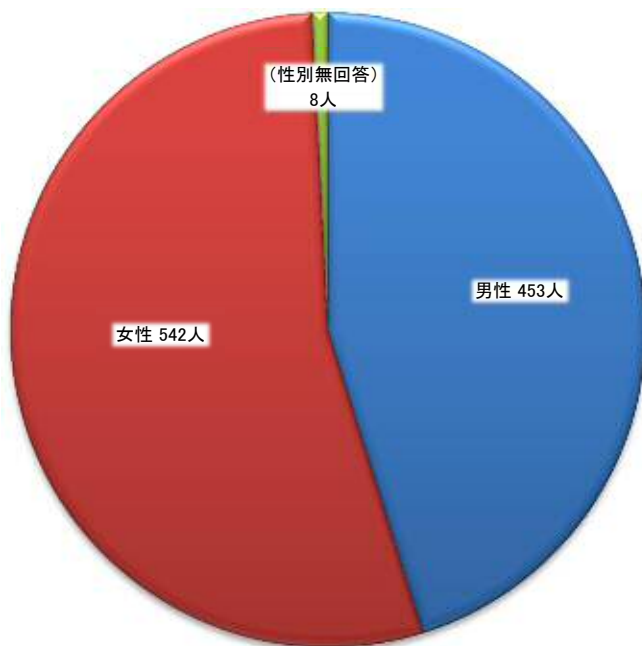


吾妻、前橋、北群馬渋川地域で高い回収率となっている。

一方、平野部が多い東毛地域では全般的に回収率が低めで、特に邑楽館林地域で回収率が低い結果となった。

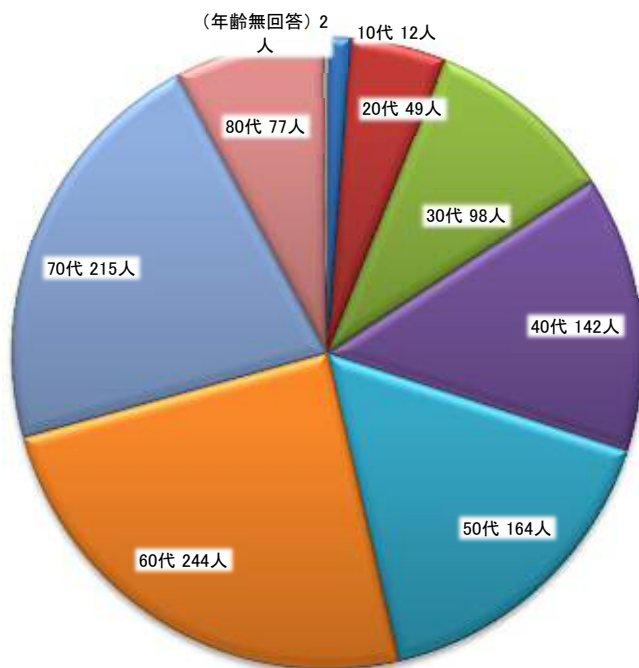
地域名	人数 (人)	構成比 (%)	回収率 (%)	構成市町村
前橋地域	100	10.0	50.0	前橋市
北群馬渋川地域	98	9.8	49.0	渋川市・榛東村・吉岡町
佐波伊勢崎地域	86	8.6	43.0	伊勢崎市・玉村町
高崎・安中地域	91	9.1	45.5	高崎市・安中市
多野藤岡地域	82	8.2	41.0	藤岡市・上野村・神流町
甘楽富岡地域	90	9.0	45.0	富岡市・下仁田町・南牧村・甘楽町
吾妻地域	104	10.4	52.0	中之条町・長野原町・嬭恋村・草津町・高山村・東吾妻町
利根沼田地域	95	9.5	47.5	沼田市・片品村・川場村・昭和村・みなかみ町
太田地域	88	8.8	43.5	太田市
桐生・みどり地域	89	8.9	44.0	桐生市・みどり市
邑楽館林地域	77	7.7	38.5	館林市・板倉町・明和町・千代田町・大泉町・邑楽町
(無回答)	3	0.3	-	
計	n=1,003	100.0		

3) 性別



項目	人数 (人)	構成比 (%)
男性	453	45.2
女性	542	54.0
(無回答)	8	0.8
合計	n=1,003	100.0

4) 年齢別



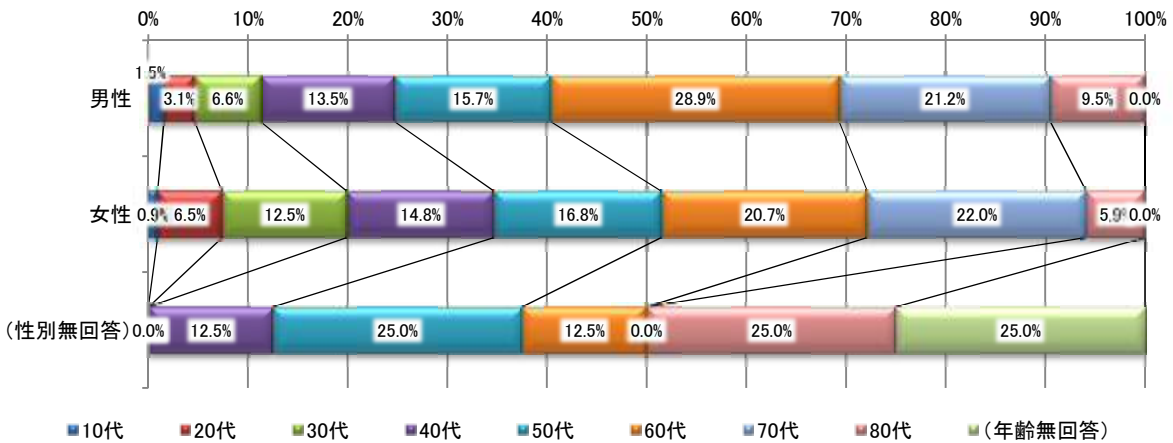
項目	人数 (人)	構成比 (%)
10代	12	1.2
20代	49	4.9
30代	98	9.8
40代	142	14.2
50代	164	16.4
60代	244	24.3
70代	215	21.4
80代	77	7.7
(無回答)	2	0.2
合計	n=1,003	100.0

5) 年齢別回収率



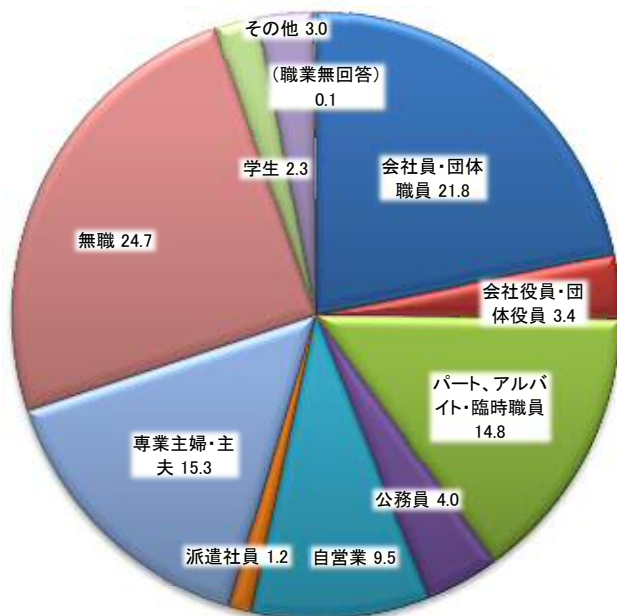
50～70代で高い回収率となっている。
一方、30代以下は回収率が低い結果となった。

6) 性別・年齢別



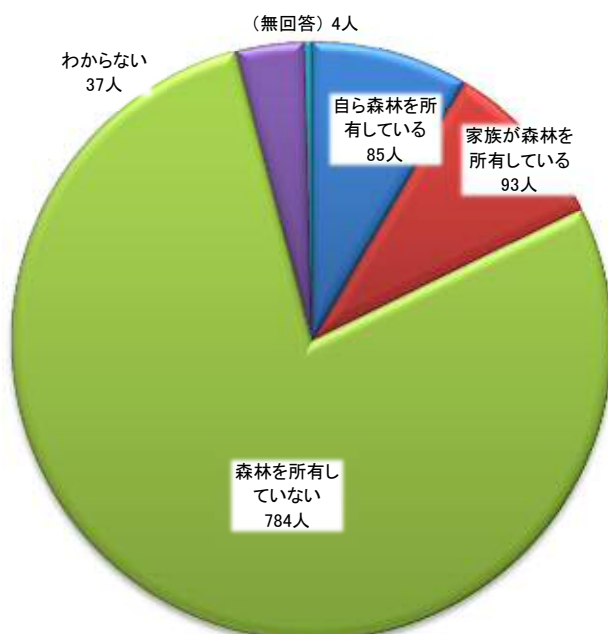
	男性		女性		(性別無回答)		総計
	人数	構成比(%)	人数	構成比(%)	人数	構成比(%)	
10代	7	1.5	5	0.9	0	0.0	12
20代	14	3.1	35	6.5	0	0.0	49
30代	30	6.6	68	12.5	0	0.0	98
40代	61	13.5	80	14.8	1	12.5	142
50代	71	15.7	91	16.8	2	25.0	164
60代	131	28.9	112	20.7	1	12.5	244
70代	96	21.2	119	22.0	0	0.0	215
80代	43	9.5	32	5.9	2	25.0	77
(年齢無回答)	0	0.0	0	0.0	2	25.0	2
総計	453	100.0	542	100.0	8	100.0	1,003

7) 職業別



項目	人数	構成比 (%)
会社員・団体職員	219	21.8
会社役員・団体役員	34	3.4
パート、アルバイト・臨時職員	148	14.8
公務員	40	4.0
自営業	95	9.5
派遣社員	12	1.2
専業主婦・主夫	153	15.3
無職	248	24.7
学生	23	2.3
その他	30	3.0
(職業無回答)	1	0.1
合計	n=1,003	100.0

8) 森林の所有状況



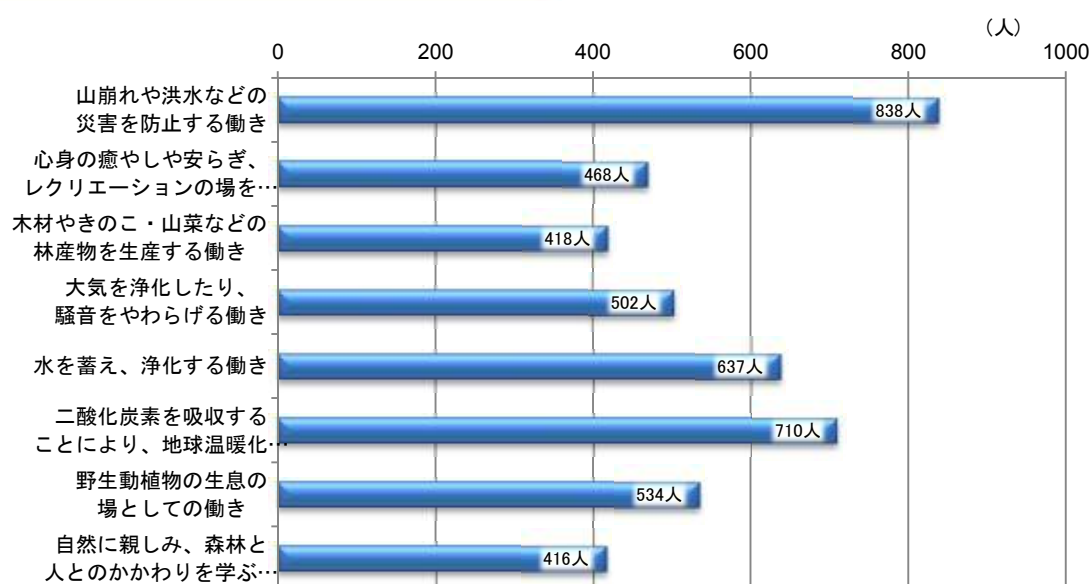
項目	人数	構成比 (%)
自ら森林を所有している	85	8.5
家族が森林を所有している	93	9.3
森林を所有していない	784	78.2
わからない	37	3.7
(無回答)	4	0.4
合計	n=1,003	100.0

2. 全体集計

1) 問1 森林の働きについて

森林は水を育み二酸化炭素を吸収するなどの機能があり、私たちの安全で安心な暮らしを支えています。あなたは森林の働きに何を期待しますか。該当する番号をすべて○で囲んでください。

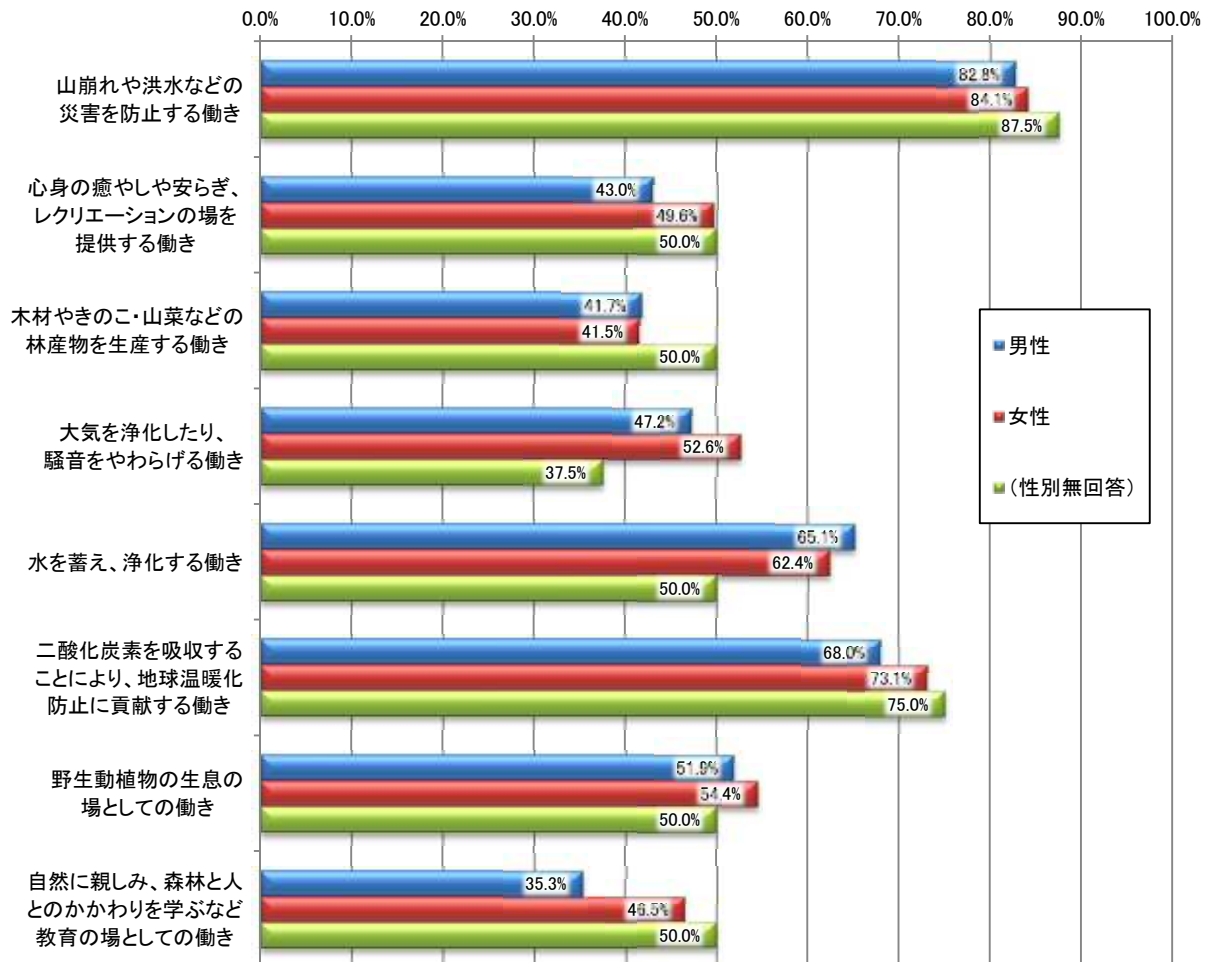
① 項目ごとの回答者数



項目	人数
山崩れや洪水などの災害を防止する働き	838
心身の癒やしや安らぎ、レクリエーションの場を提供する働き	468
木材やきのこ・山菜などの林産物を生産する働き	418
大気を浄化したり、騒音をやわらげる働き	502
水を蓄え、浄化する働き	637
二酸化炭素を吸収することにより、地球温暖化防止に貢献する働き	710
野生動植物の生息の場としての働き	534
自然に親しみ、森林と人のかかわりを学ぶなど教育の場としての働き	416
計	n=1,003

山崩れや洪水などの災害防止機能については8割の回答者から期待するとの回答があった。これ以外にも地球温暖化防止機能、水源涵養、水質保全の機能等を期待する回答が多い結果となった。一方、木材、林産物の生産や森林環境教育の場としての機能については比較的低い結果となった。

② 男女別の回答者数

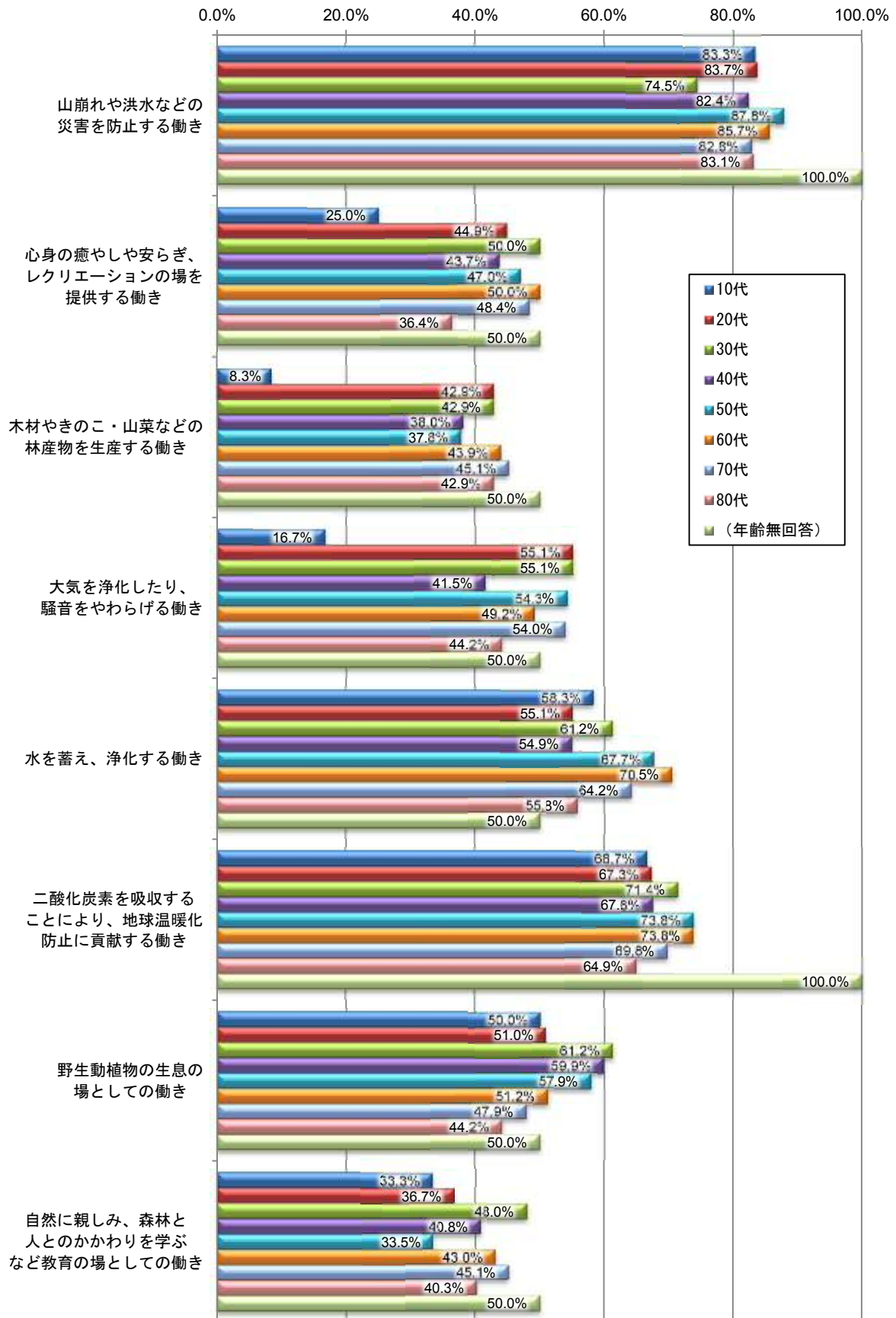


単位: %

項目	男性		女性		(無回答)	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
山崩れや洪水などの災害を防止する働き	375	82.8	456	84.1	7	87.5
心身の癒やしや安らぎ、レクリエーションの場を提供する働き	195	43.0	269	49.6	4	50.0
木材やきのこ・山菜などの林産物を生産する働き	189	41.7	225	41.5	4	50.0
大気を浄化したり、騒音をやわらげる働き	214	47.2	285	52.6	3	37.5
水を蓄え、浄化する働き	295	65.1	338	62.4	4	50.0
二酸化炭素を吸収することにより、地球温暖化防止に貢献する働き	308	68.0	396	73.1	6	75.0
野生動植物の生息の場としての働き	235	51.9	295	54.4	4	50.0
自然に親しみ、森林と人とのかかわりを学ぶなど教育の場としての働き	160	35.3	252	46.5	4	50.0

全般的に性別による差は「自然に親しみ、森林と人とのかかわりを学ぶなど教育の場としての働き」が10%以上女性からの回答が多かった以外は、特に大きな差はなかった。

③ 年代別の回答者数

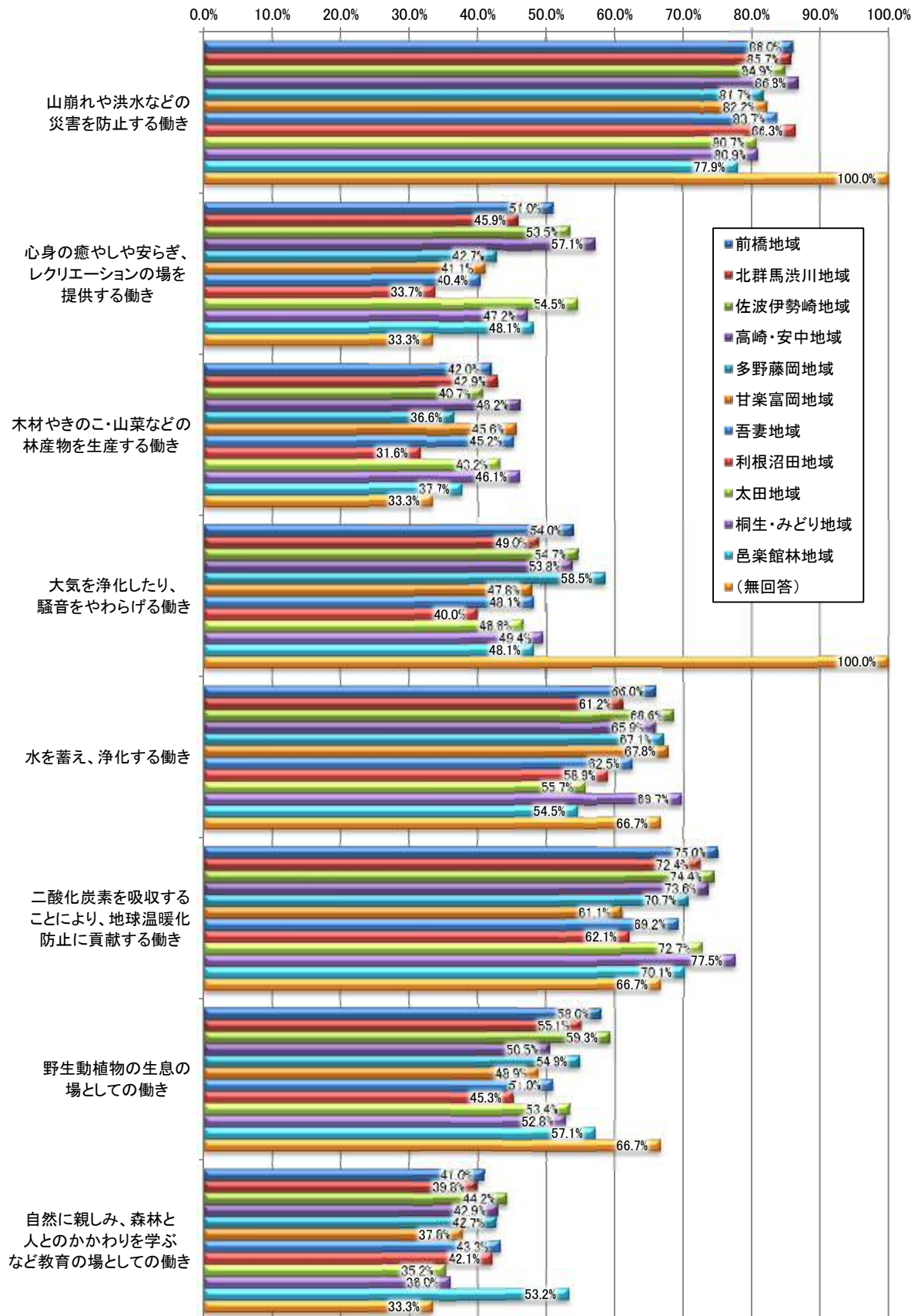


番号	項目	10代		20代		30代	
		回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	山崩れや洪水などの災害を防止する働き	10	83.3	41	83.7	73	74.5
2	心身の癒やしや安らぎ、レクリエーションの場を提供する働き	3	25.0	22	44.9	49	50.0
3	木材やきのこ・山菜などの林産物を生産する働き	1	8.3	21	42.9	42	42.9
4	大気を浄化したり、騒音をやわらげる働き	2	16.7	27	55.1	54	55.1
5	水を蓄え、浄化する働き	7	58.3	27	55.1	60	61.2
6	二酸化炭素を吸収することにより、地球温暖化防止に貢献する働き	8	66.7	33	67.3	70	71.4
7	野生動植物の生息の場としての働き	6	50.0	25	51.0	60	61.2
8	自然に親しみ、森林と人のかかわりを学ぶなど教育の場としての働き	4	33.3	18	36.7	47	48.0

番号	40代		50代		60代		70代		80代		(年齢無回答)	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	117	82.4	144	87.8	209	85.7	178	82.8	64	83.1	2	100.0
2	62	43.7	77	47.0	122	50.0	104	48.4	28	36.4	1	50.0
3	54	38.0	62	37.8	107	43.9	97	45.1	33	42.9	1	50.0
4	59	41.5	89	54.3	120	49.2	116	54.0	34	44.2	1	50.0
5	78	54.9	111	67.7	172	70.5	138	64.2	43	55.8	1	50.0
6	96	67.6	121	73.8	180	73.8	150	69.8	50	64.9	2	100.0
7	85	59.9	95	57.9	125	51.2	103	47.9	34	44.2	1	50.0
8	58	40.8	55	33.5	105	43.0	97	45.1	31	40.3	1	50.0

「木材やきのこ・山菜などの林産物を生産する働き」、「心身の癒やしや安らぎ、レクリエーションの場を提供する働き」、「大気を浄化したり、騒音をやわらげる働き」に対する10代の率が低めであることがわかった。その他の年代には特に大きな差はなかった。

④ 地域別の回答者数

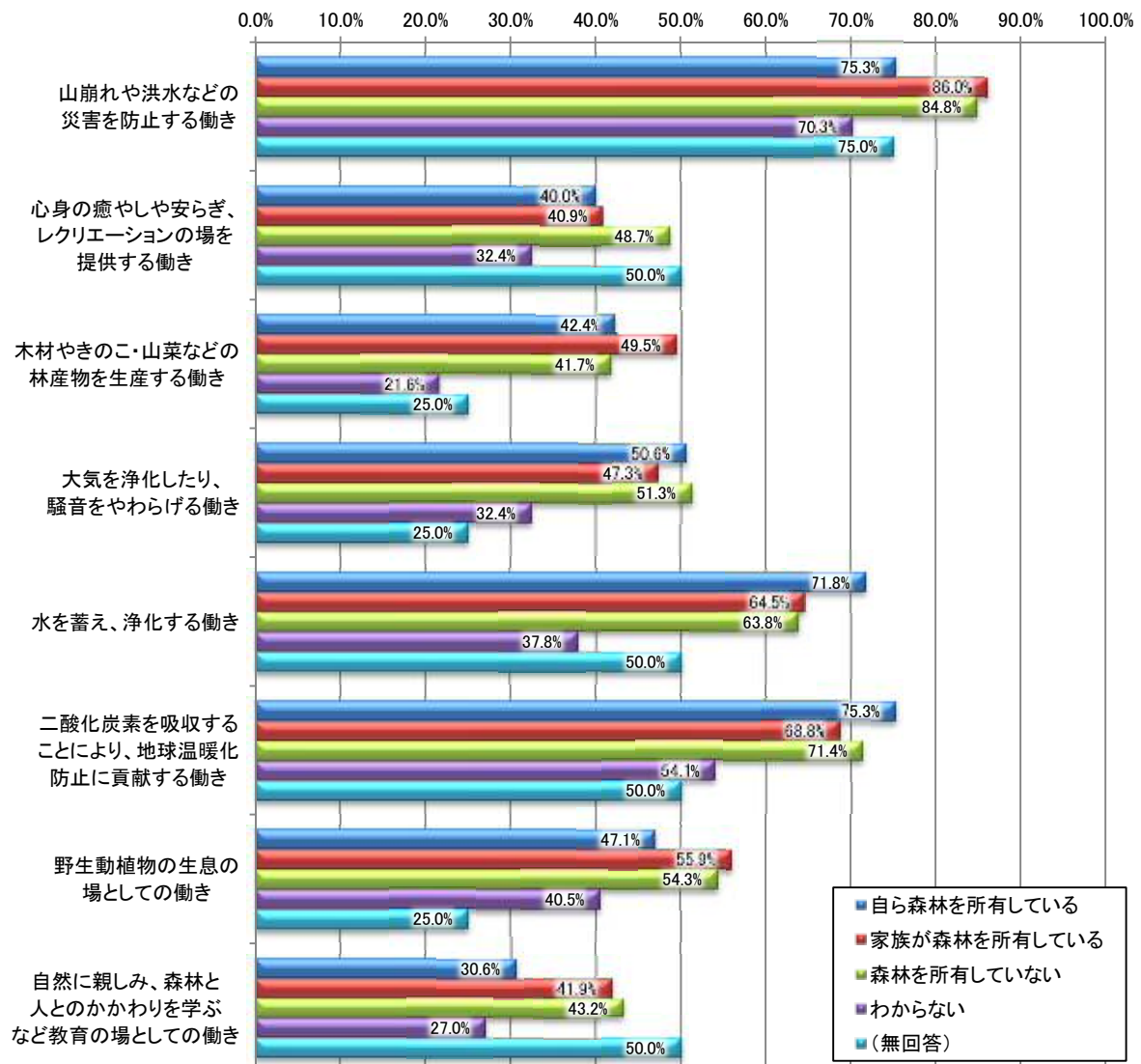


番号	項目	前橋地域		北群馬渋川地域	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	1 山崩れや洪水などの災害を防止する働き	86	86.0	84	85.7
2	2 心身の癒やしや安らぎ、レクリエーションの場を提供する働き	51	51.0	45	45.9
3	3 木材やきのこ・山菜などの林産物を生産する働き	42	42.0	42	42.9
4	4 大気を浄化したり、騒音をやわらげる働き	54	54.0	48	49.0
5	5 水を蓄え、浄化する働き	66	66.0	60	61.2
6	6 二酸化炭素を吸収することにより、地球温暖化防止に貢献する働き	75	75.0	71	72.4
7	7 野生動植物の生息の場としての働き	58	58.0	54	55.1
8	8 自然に親しみ、森林と人とのかかわりを学ぶなど教育の場としての働き	41	41.0	39	39.8

番号	佐波伊勢崎地域		高崎・安中地域		多野藤岡地域		甘楽富岡地域		吾妻地域		利根沼田地域	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	73	84.9	79	86.8	67	81.7	74	30.3	87	83.7	82	86.3
2	46	53.5	52	57.1	35	42.7	37	15.2	42	40.4	32	33.7
3	35	40.7	42	46.2	30	36.6	41	16.8	47	45.2	30	31.6
4	47	54.7	49	53.8	48	58.5	43	17.6	50	48.1	38	40.0
5	59	68.6	60	65.9	55	67.1	61	25.0	65	62.5	56	58.9
6	64	74.4	67	73.6	58	70.7	55	22.5	72	69.2	59	62.1
7	51	59.3	46	50.5	45	54.9	44	18.0	53	51.0	43	45.3
8	38	44.2	39	42.9	35	42.7	34	13.9	45	43.3	40	42.1

番号	太田地域		桐生・みどり地域		邑楽館林地域		(無回答)	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	71	80.7	72	80.9	60	77.9	3	100.0
2	48	54.5	42	47.2	37	48.1	1	33.3
3	38	43.2	41	46.1	29	37.7	1	33.3
4	41	46.6	44	49.4	37	48.1	3	100.0
5	49	55.7	62	69.7	42	54.5	2	66.7
6	64	72.7	69	77.5	54	70.1	2	66.7
7	47	53.4	47	52.8	44	57.1	2	66.7
8	31	35.2	32	36.0	41	53.2	1	33.3

⑤ 森林所有状況別回答者数



項目	自ら森林を所有している		家族が森林を所有している		森林を所有していない		わからない		(無回答)	
	回答数	構成比	回答数	回答数	構成比	回答数	構成比	構成比	回答数	構成比
山崩れや洪水などの災害を防止する働き	64	75.3%	80	26	70.3%	3	75.0%	86.0%	665	84.8%
心身の癒やしや安らぎ、レクリエーションの場を提供する働き	34	40.0%	38	12	32.4%	2	50.0%	40.9%	382	48.7%
木材やきのこ・山菜などの林産物を生産する働き	36	42.4%	46	8	21.6%	1	25.0%	49.5%	327	41.7%
大気を浄化したり、騒音をやわらげる働き	43	50.6%	44	12	32.4%	1	25.0%	47.3%	402	51.3%
水を蓄え、浄化する働き	61	71.8%	60	14	37.8%	2	50.0%	64.5%	500	63.8%
二酸化炭素を吸収することにより、地球温暖化防止に貢献する働き	64	75.3%	64	20	54.1%	2	50.0%	68.8%	560	71.4%
野生動植物の生息の場としての働き	40	47.1%	52	15	40.5%	1	25.0%	55.9%	426	54.3%
自然に親しみ、森林と人のかかわりを学ぶなど教育の場としての働き	26	30.6%	39	10	27.0%	2	50.0%	41.9%	339	43.2%

2) 問2 「ぐんま緑の県民税」の認知度について

県では、この大切な森林を守り、育て、次世代に引き継いでいくため、「ぐんま緑の県民税」を導入し、これまで、別紙[「ぐんま緑の県民税」の取組]のとおり、奥山や里山・平地林の整備等に取り組んでいます。あなたは「ぐんま緑の県民税」を知っていますか。該当する番号を1つ○で囲んでください。

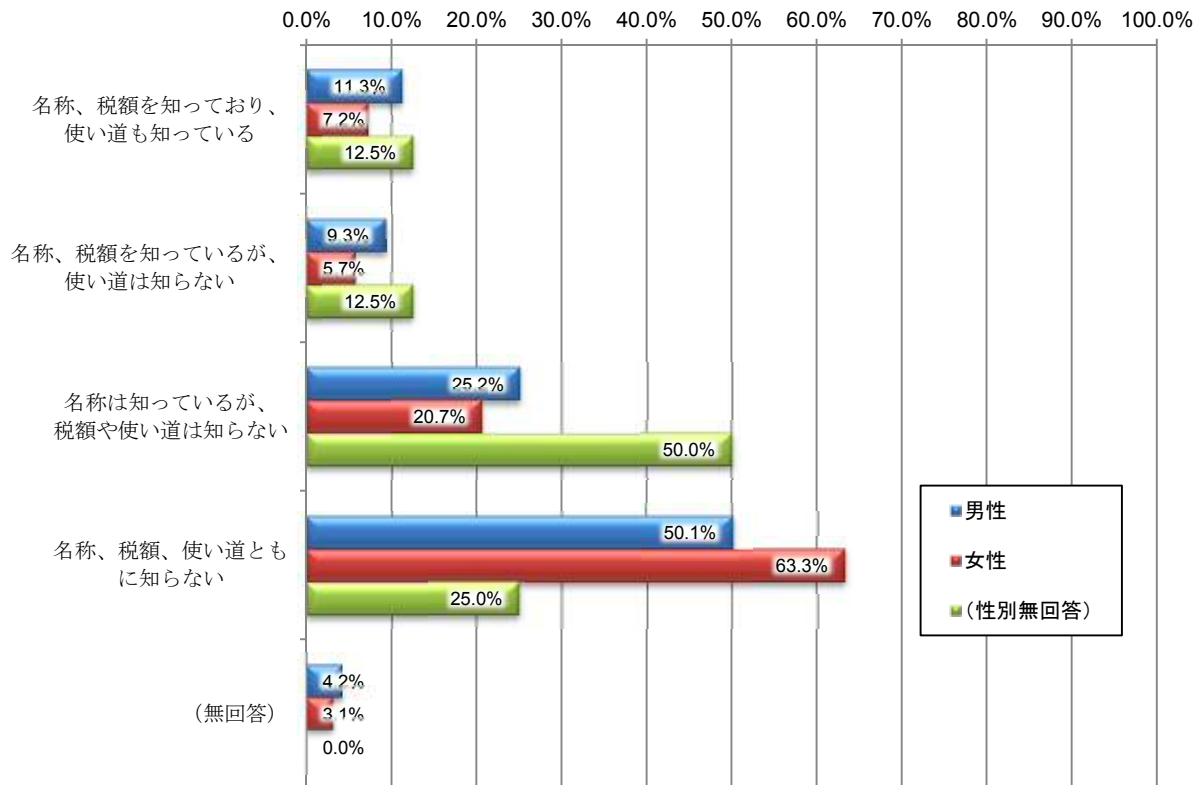
① 項目ごとの回答者数



項目	人数	構成比 (%)
名称、税額を知っており、使い道も知っている	91	9.1
名称、税額を知っているが、使い道は知らない	74	7.4
名称は知っているが、税額や使い道は知らない	230	22.9
名称、税額、使い道とも知らない	572	57.0
無回答	36	3.6
計	n=1,003	100.0

回答者の4割の方が名称を知っているものの、用途を理解している方は1割に満たないことがわかった。また、名称、税額、用途とも知らないとの回答は半数以上であった。

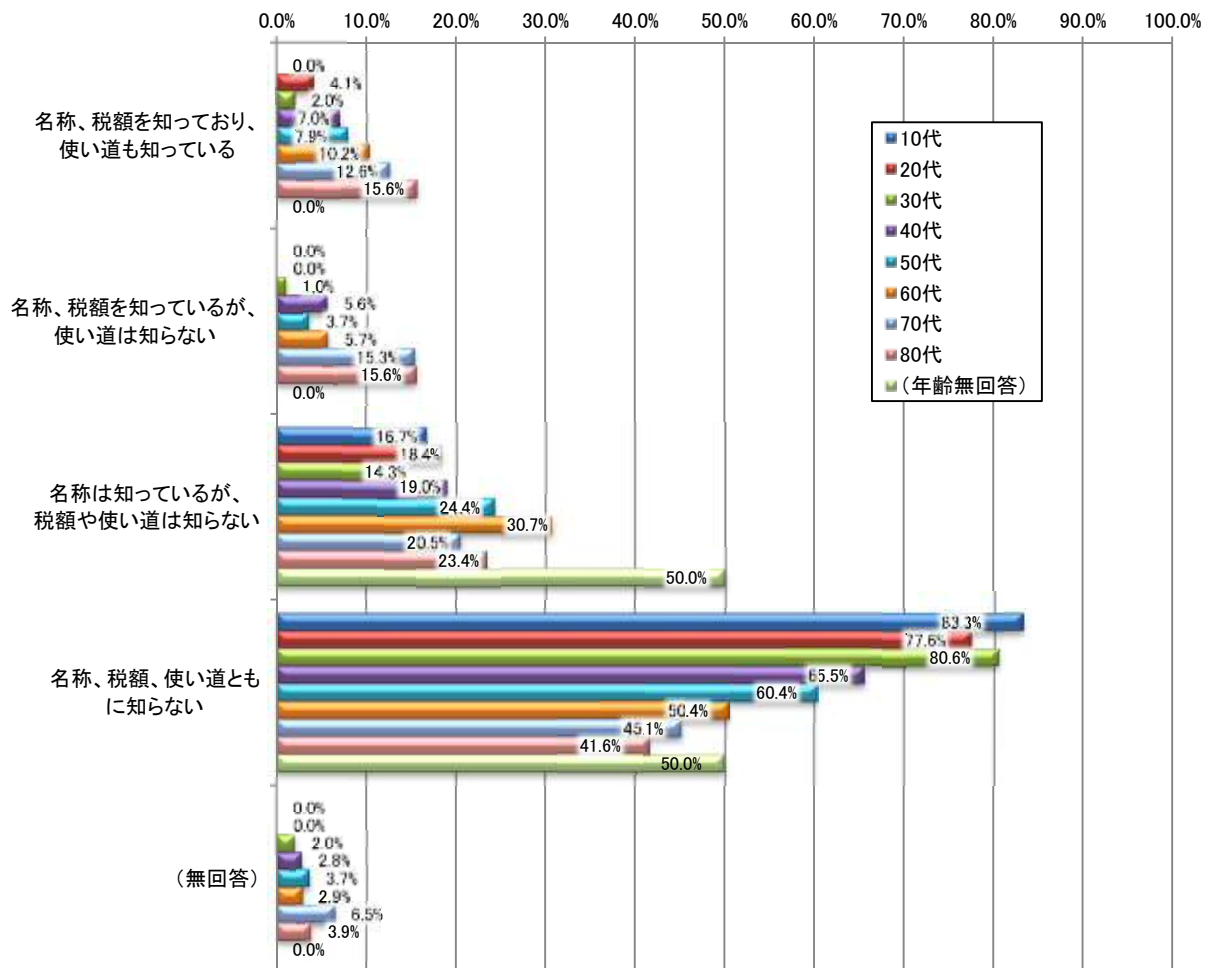
② 男女別の回答者数



項目	男性		女性		(性別無回答)	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
名称、税額を知っており、使い道も知っている	51	11.3%	39	7.2%	1	12.5%
名称、税額を知っているが、使い道は知らない	42	9.3%	31	5.7%	1	12.5%
名称は知っているが、税額や使い道は知らない	114	25.2%	112	20.7%	4	50.0%
名称、税額、使い道ともに知らない	227	50.1%	343	63.3%	2	25.0%
(無回答)	19	4.2%	17	3.1%	0	0.0%

性別では男性の認知度が若干高い結果となった。

③ 年代別の回答者数:項目別

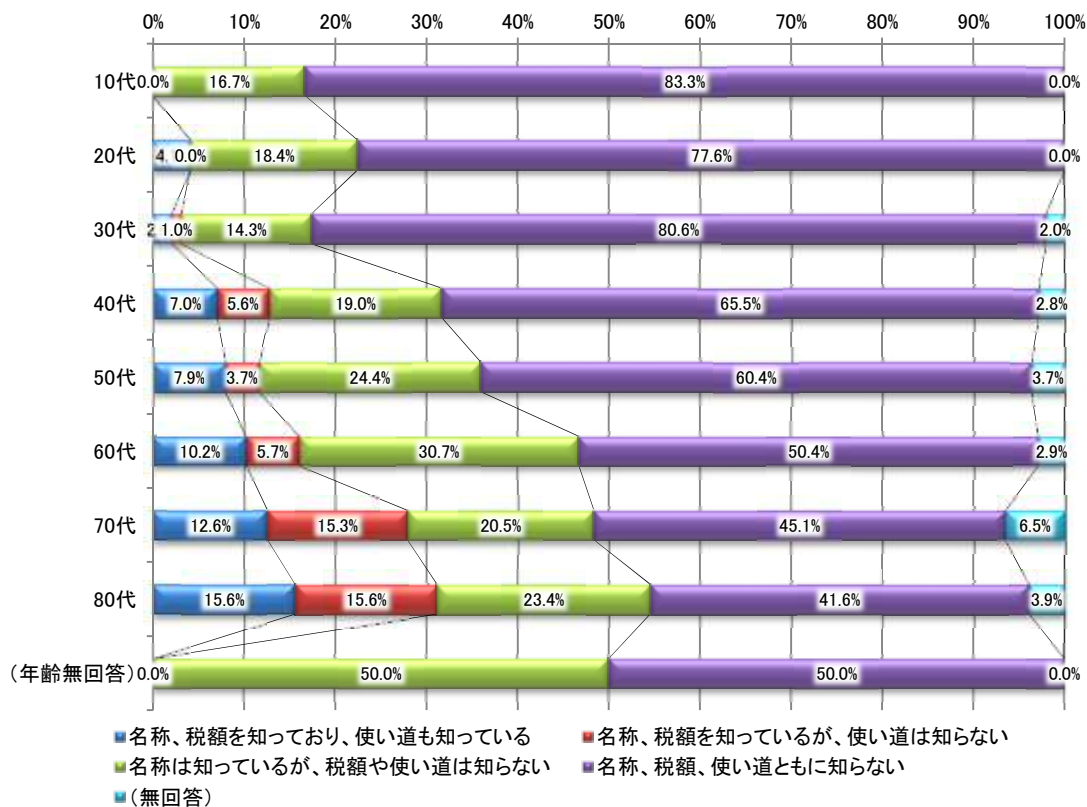


番号	項目	10代		20代		30代	
		回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	名称、税額を知っており、使い道も知っている	0	0.0%	2	4.1%	2	2.0%
2	名称、税額を知っているが、使い道は知らない	0	0.0%	0	0.0%	1	1.0%
3	名称は知っているが、税額や使い道は知らない	2	16.7%	9	18.4%	14	14.3%
4	名称、税額、使い道ともに知らない	10	83.3%	38	77.6%	79	80.6%
5	(無回答)	0	0.0%	0	0.0%	2	2.0%

番号	40代		50代		60代		70代		80代		(年齢無回答)	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	10	7.0%	13	7.9%	25	10.2%	27	12.6%	12	15.6%	0	0.0%
2	8	5.6%	6	3.7%	14	5.7%	33	15.3%	12	15.6%	0	0.0%
3	27	19.0%	40	24.4%	75	30.7%	44	20.5%	18	23.4%	1	50.0%
4	93	65.5%	99	60.4%	123	50.4%	97	45.1%	32	41.6%	1	50.0%
5	4	2.8%	6	3.7%	7	2.9%	14	6.5%	3	3.9%	0	0.0%

年代別では80代が最も高く、若年層ほど認知度が低い結果となった。

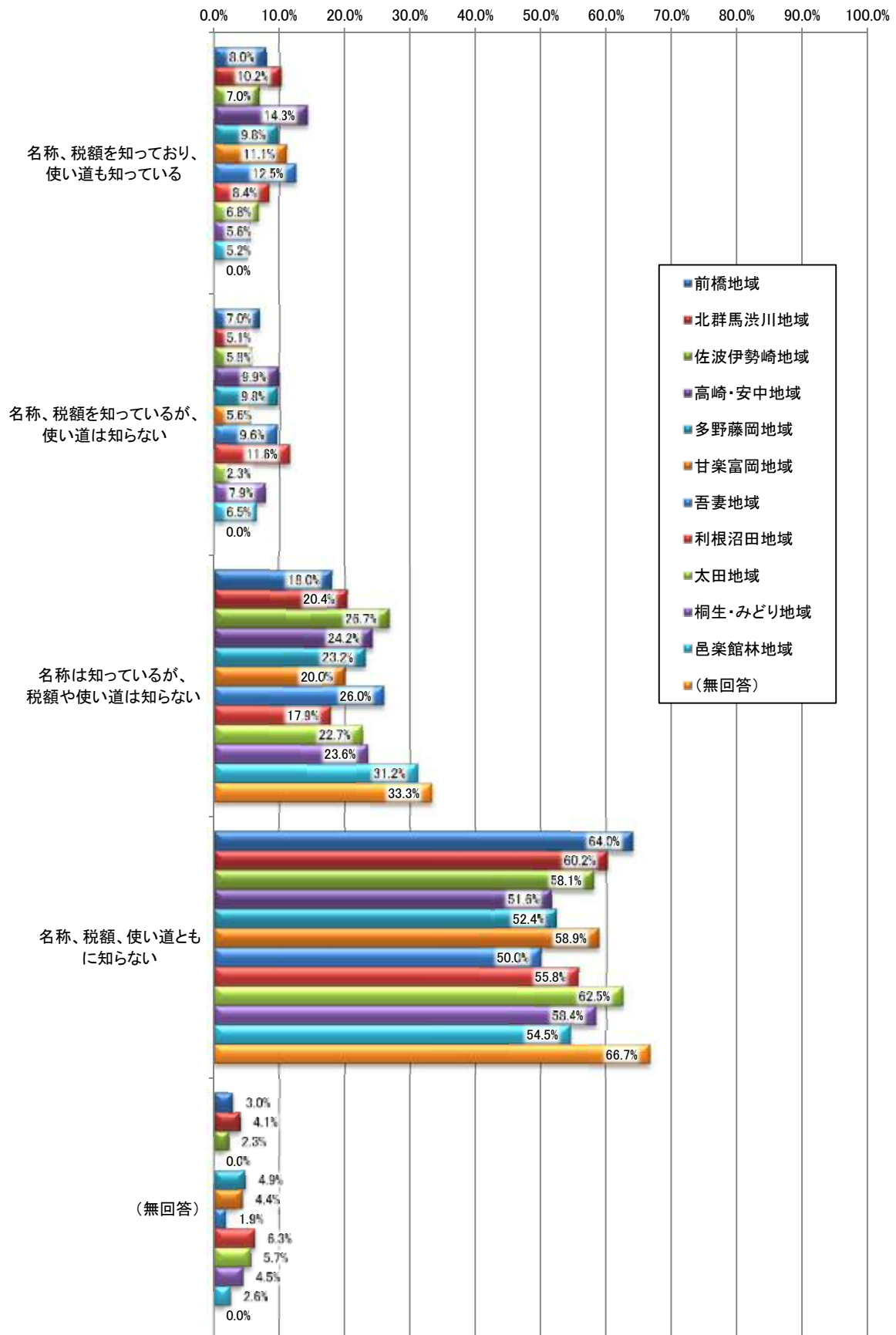
④ 年代別の回答者数:年代別



項目	名称、税額を知っており、使い道も知っている		名称、税額を知っているが、使い道は知らない		名称は知っているが、税額や使い道は知らない		名称、税額、使い道ともに知らない		(無回答)	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
10代	0	0.0%	0	0.0%	2	16.7%	10	83.3%	0	0.0%
20代	2	4.1%	0	0.0%	9	18.4%	38	77.6%	0	0.0%
30代	2	2.0%	1	1.0%	14	14.3%	79	80.6%	2	2.0%
40代	10	7.0%	8	5.6%	27	19.0%	93	65.5%	4	2.8%
50代	13	7.9%	6	3.7%	40	24.4%	99	60.4%	6	3.7%
60代	25	10.2%	14	5.7%	75	30.7%	123	50.4%	7	2.9%
70代	27	12.6%	33	15.3%	44	20.5%	97	45.1%	14	6.5%
80代	12	15.6%	12	15.6%	18	23.4%	32	41.6%	3	3.9%
(年齢無回答)	0	0.0%	0	0.0%	1	50.0%	1	50.0%	0	0.0%

年代別では80代が最も高く、若年層ほど認知度が低い結果となった。

⑤ 地域別の回答者数



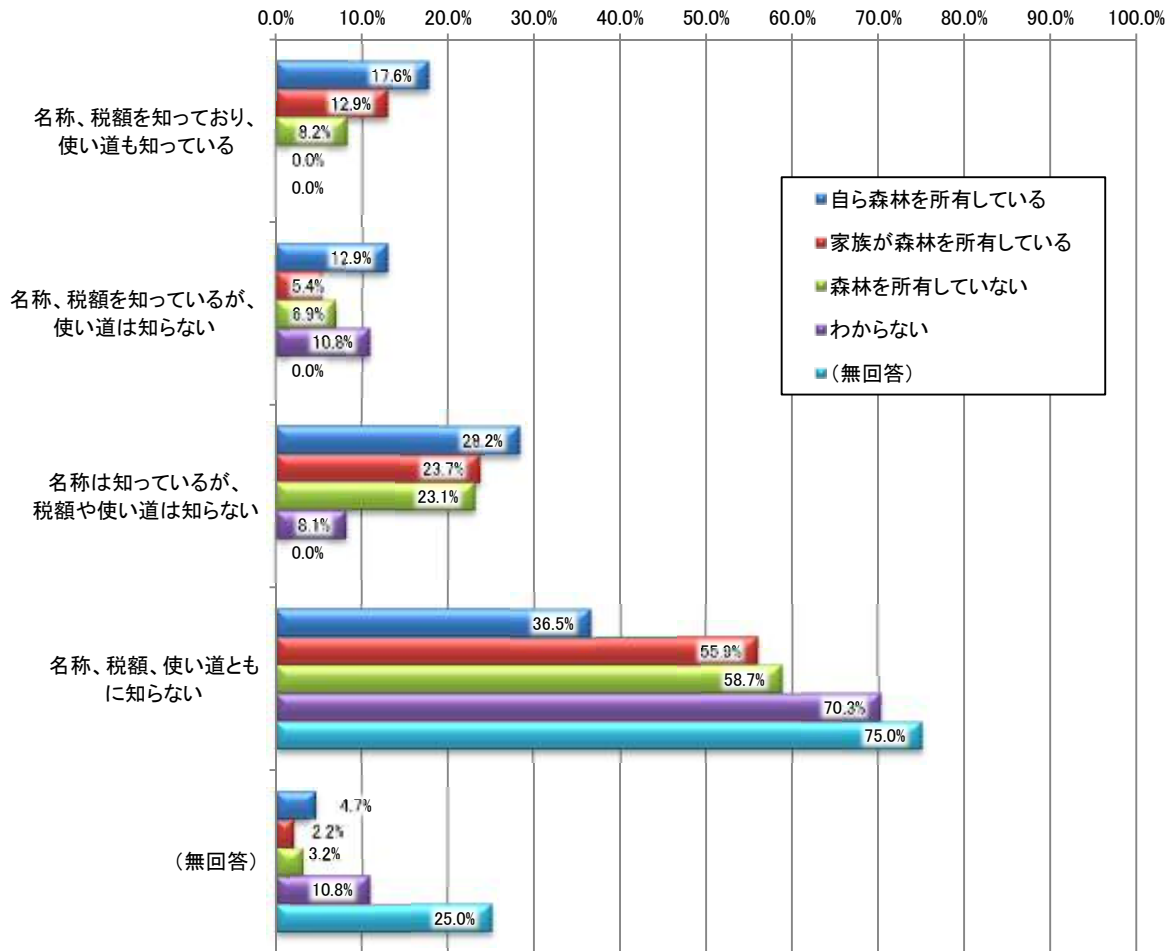
番号	項目	前橋地域		北群馬渋川地域		佐波伊勢崎地域	
		回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	名称、税額を知っており、使い道も知っている	8	8.0%	10	10.2%	6	7.0%
2	名称、税額を知っているが、使い道は知らない	7	7.0%	5	5.1%	5	5.8%
3	名称は知っているが、税額や使い道は知らない	18	18.0%	20	20.4%	23	26.7%
4	名称、税額、使い道ともに知らない	64	64.0%	59	60.2%	50	58.1%
5	(無回答)	3	3.0%	4	4.1%	2	2.3%

番号	高崎・安中地域		多野藤岡地域		甘楽富岡地域		吾妻地域		利根沼田地域	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	13	14.3%	8	9.8%	10	11.1%	13	12.5%	8	8.4%
2	9	9.9%	8	9.8%	5	5.6%	10	9.6%	11	11.6%
3	22	24.2%	19	23.2%	18	20.0%	27	26.0%	17	17.9%
4	47	51.6%	43	52.4%	53	58.9%	52	50.0%	53	55.8%
5	0	0.0%	4	4.9%	4	4.4%	2	1.9%	6	6.3%

番号	太田地域		桐生・みどり地域		邑楽館林地域		(無回答)	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	6	6.8%	5	5.6%	4	5.2%	0	0.0%
2	2	2.3%	7	7.9%	5	6.5%	0	0.0%
3	20	22.7%	21	23.6%	24	31.2%	1	33.3%
4	55	62.5%	52	58.4%	42	54.5%	2	66.7%
5	5	5.7%	4	4.5%	2	2.6%	0	0.0%

居住地域別では高崎・安中地域、吾妻地域、邑楽館林地域で高く、太田地域、前橋地域で若干低い結果となった。

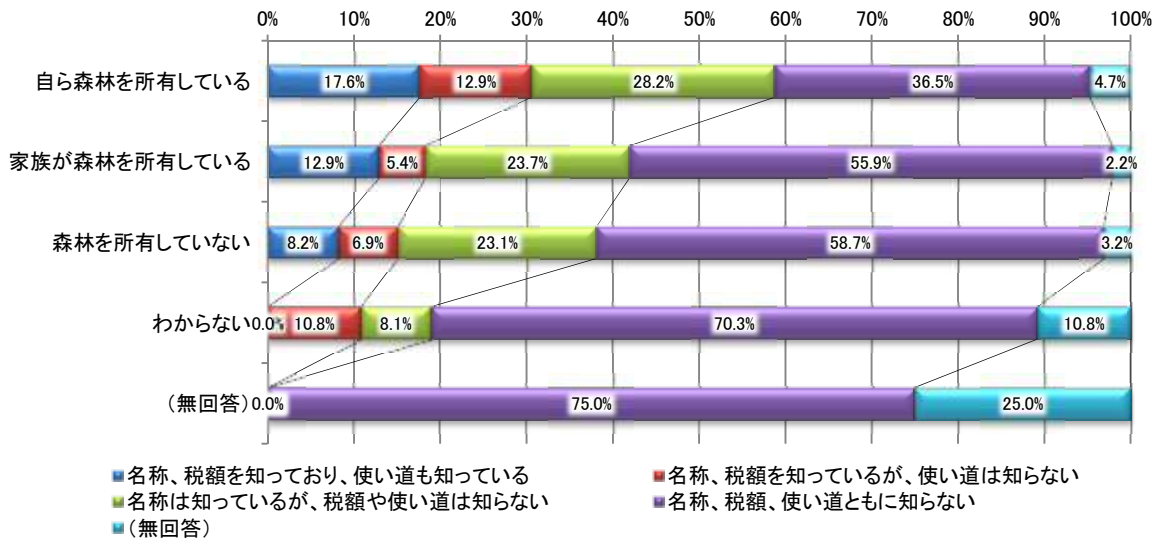
⑥ 森林所有状況別回答者数



項目	自ら森林を所有している		家族が森林を所有している		森林を所有していない		わからない		(無回答)	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
名称、税額を知っており、使い道も知っている	15	17.6%	12	12.9%	64	8.2%	0	0.0%	0	0.0%
名称、税額を知っているが、使い道は知らない	11	12.9%	5	5.4%	54	6.9%	4	10.8%	0	0.0%
名称は知っているが、税額や使い道は知らない	24	28.2%	22	23.7%	181	23.1%	3	8.1%	0	0.0%
名称、税額、使い道ともに知らない	31	36.5%	52	55.9%	460	58.7%	26	70.3%	3	75.0%
(無回答)	4	4.7%	2	2.2%	25	3.2%	4	10.8%	1	25.0%

「自ら森林を所有している」方の認知度が若干高い結果となった。

⑦ 森林所有状況別回答者構成比



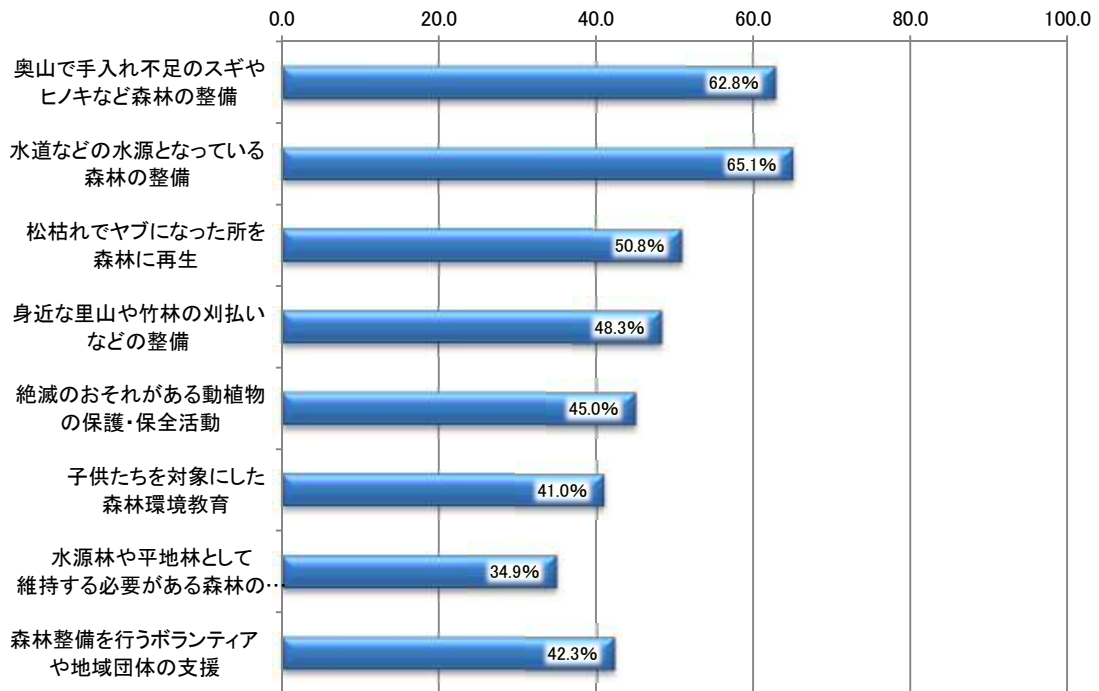
項目	名称、税額を知っており、使い道も知っている		名称、税額を知っているが、使い道は知らない		名称は知っているが、税額や使い道は知らない		名称、税額、使い道とも知らない		(無回答)	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
自ら森林を所有している	15	17.6%	11	12.9%	24	28.2%	31	36.5%	4	4.7%
家族が森林を所有している	12	12.9%	5	5.4%	22	23.7%	52	55.9%	2	2.2%
森林を所有していない	64	8.2%	54	6.9%	181	23.1%	460	58.7%	25	3.2%
わからない	0	0.0%	4	10.8%	3	8.1%	26	70.3%	4	10.8%
(無回答)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	75.0%	1	25.0%

「自ら森林を所有している」方の認知度が若干高い結果となった。

3) 問3 「ぐんま緑の県民税」を活用した取組について

「ぐんま緑の県民税」は、「豊かな水を育み、災害に強い森林づくり」、「里山・平地林等の森林環境を改善し、安全・安心な生活環境を創造」を目標に、次の取組を行っています。あなたが大切だと思う取組は何ですか。該当する番号をすべて○で囲んでください。

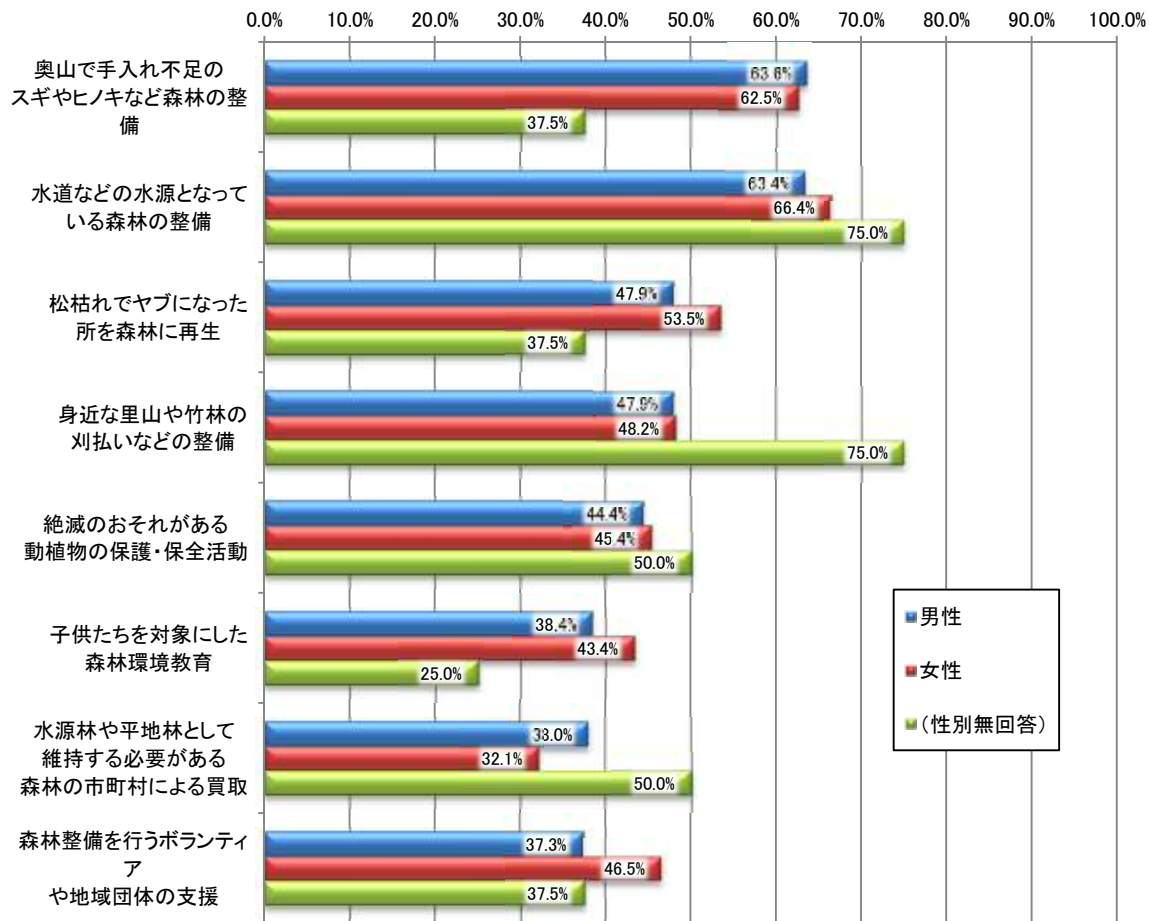
① 項目ごとの回答者数



項目	人数	構成比 (%)
奥山で手入れ不足のスギやヒノキなど森林の整備	630	62.8
水道などの水源となっている森林の整備	653	65.1
松枯れでヤブになった所を森林に再生	510	50.8
身近な里山や竹林の刈払いなどの整備	484	48.3
絶滅のおそれがある動植物の保護・保全活動	451	45.0
子供たちを対象にした森林環境教育	411	41.0
水源林や平地林として維持する必要がある森林の市町村による買取	350	34.9
森林整備を行うボランティアや地域団体の支援	424	42.3
計	n=1,003	100.0

奥山で手入れ不足のスギやヒノキなど森林の整備や水道などの水源となっている森林の整備については6割以上の回答者が大切な取り組みと考えていることがわかった。しかし森林環境教育や公有林化については4割程度の回答となった。

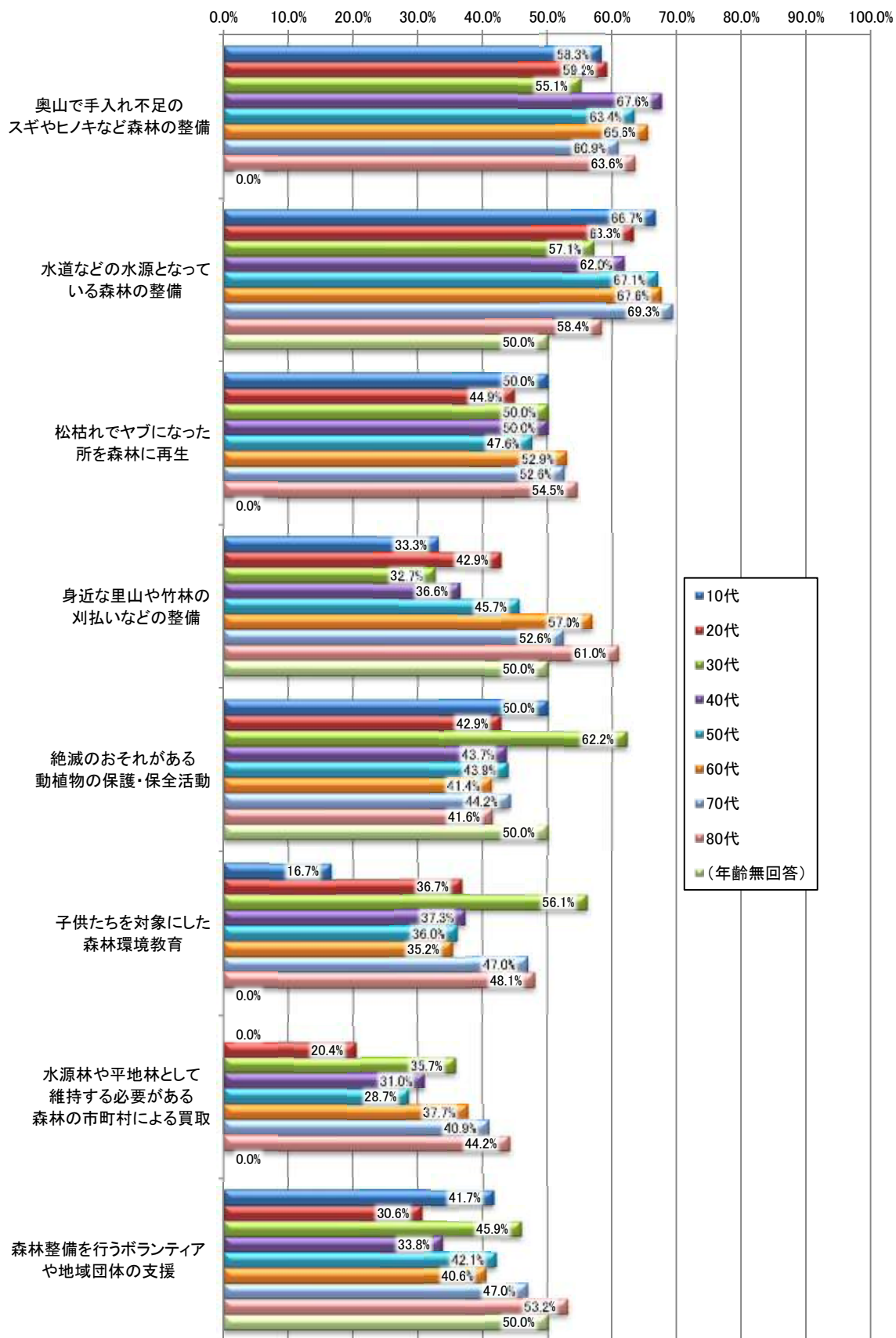
② 男女別の回答者数



項目	男性		女性		(性別無回答)	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
奥山で手入れ不足のスギやヒノキなど森林の整備	288	63.6%	339	62.5%	3	37.5%
水道などの水源となっている森林の整備	287	63.4%	360	66.4%	6	75.0%
松枯れでヤブになった所を森林に再生	217	47.9%	290	53.5%	3	37.5%
身近な里山や竹林の刈払いなどの整備	217	47.9%	261	48.2%	6	75.0%
絶滅のおそれがある動植物の保護・保全活動	201	44.4%	246	45.4%	4	50.0%
子供たちを対象にした森林環境教育	174	38.4%	235	43.4%	2	25.0%
水源林や平地林として維持する必要がある森林の市町村による買取	172	38.0%	174	32.1%	4	50.0%
森林整備を行うボランティアや地域団体の支援	169	37.3%	252	46.5%	3	37.5%

性別による大きな差異は特に見られなかった。

③ 年代別の回答者数

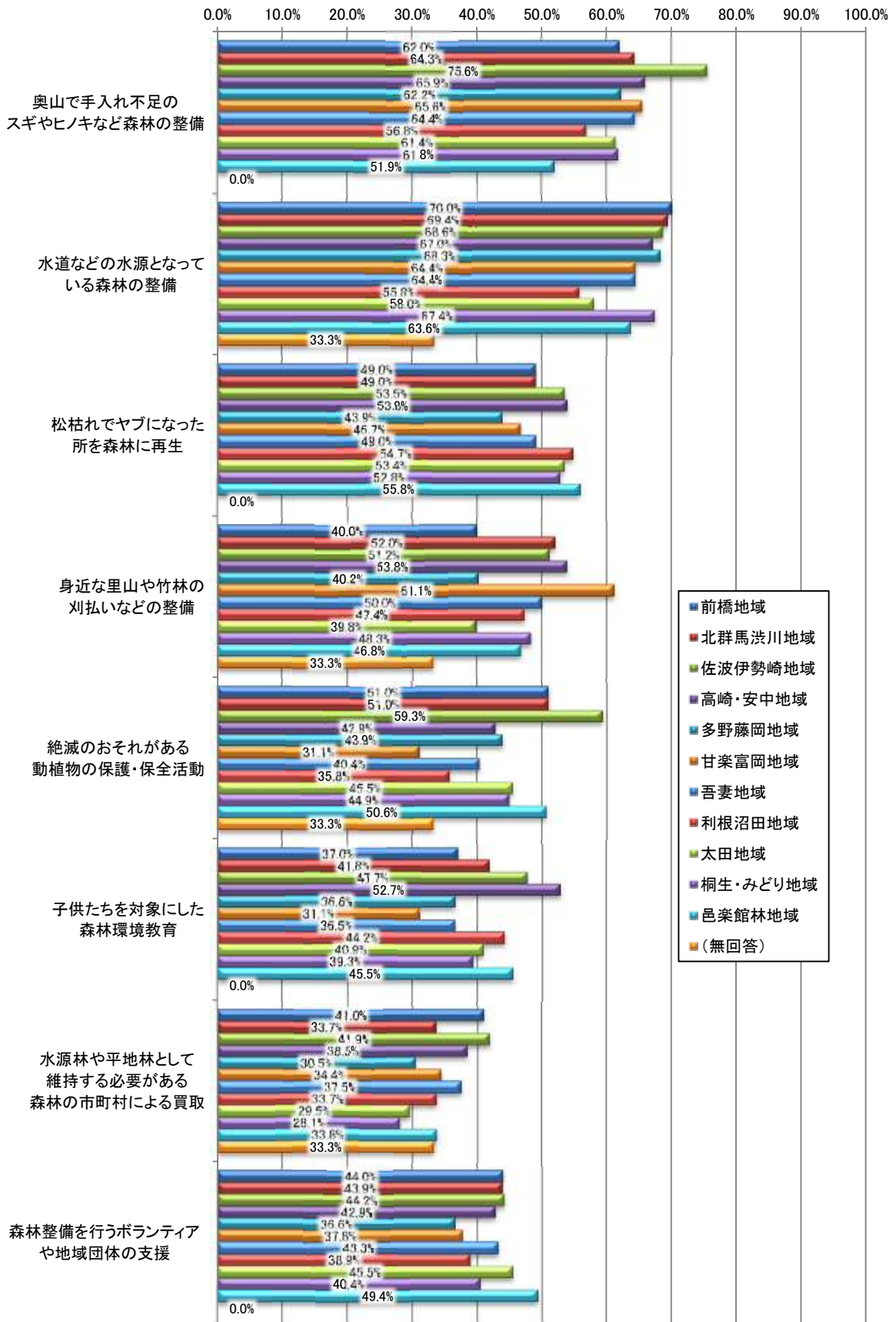


番号	項目	10代		20代		30代	
		回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	奥山で手入れ不足のスギやヒノキなど森林の整備	7	58.3%	29	59.2%	54	55.1%
2	水道などの水源となっている森林の整備	8	66.7%	31	63.3%	56	57.1%
3	松枯れでヤブになった所を森林に再生	6	50.0%	22	44.9%	49	50.0%
4	身近な里山や竹林の刈払いなどの整備	4	33.3%	21	42.9%	32	32.7%
5	絶滅のおそれがある動植物の保護・保全活動	6	50.0%	21	42.9%	61	62.2%
6	子供たちを対象にした森林環境教育	2	16.7%	18	36.7%	55	56.1%
7	水源林や平地林として維持する必要がある森林の市町村による買取	0	0.0%	10	20.4%	35	35.7%
8	森林整備を行うボランティアや地域団体の支援	5	41.7%	15	30.6%	45	45.9%

番号	40代		50代		60代		70代		80代		(年齢無回答)	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	96	67.6%	104	63.4%	160	65.6%	131	60.9%	49	63.6%	0	0.0%
2	88	62.0%	110	67.1%	165	67.6%	149	69.3%	45	58.4%	1	50.0%
3	71	50.0%	78	47.6%	129	52.9%	113	52.6%	42	54.5%	0	0.0%
4	52	36.6%	75	45.7%	139	57.0%	113	52.6%	47	61.0%	1	50.0%
5	62	43.7%	72	43.9%	101	41.4%	95	44.2%	32	41.6%	1	50.0%
6	53	37.3%	59	36.0%	86	35.2%	101	47.0%	37	48.1%	0	0.0%
7	44	31.0%	47	28.7%	92	37.7%	88	40.9%	34	44.2%	0	0.0%
8	48	33.8%	69	42.1%	99	40.6%	101	47.0%	41	53.2%	1	50.0%

年代別では10代では公有林化について回答がなかった。また、30代では「奥山の森林整備」が若干少なく、「子どもへの森林環境教育」が高い結果となった。

④ 地域別の回答者数



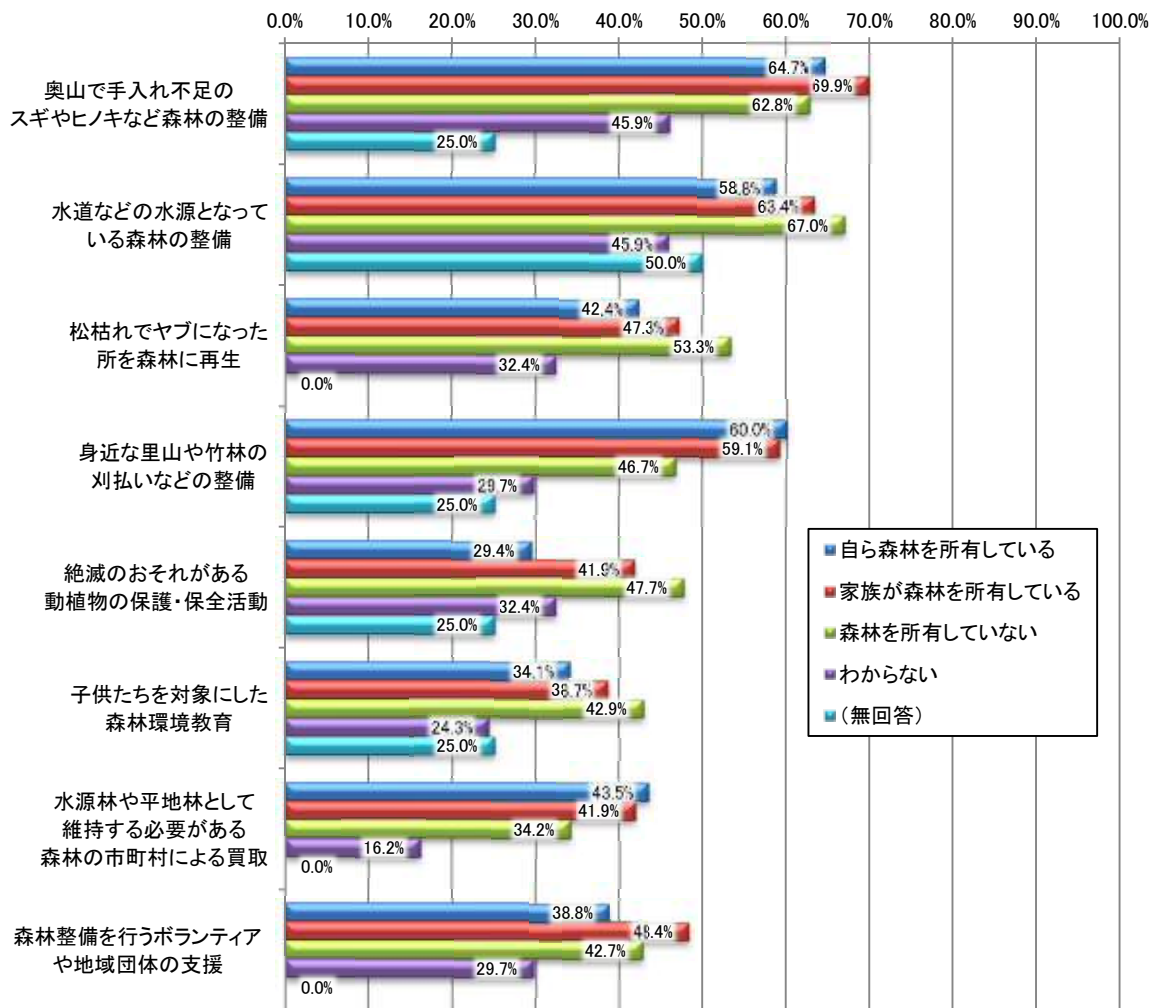
番号	項目	前橋地域		北群馬・渋川地域		佐波伊勢崎地域	
		回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	奥山で手入れ不足のスギやヒノキなど森林の整備	62	62.0%	63	64.3%	65	75.6%
2	水道などの水源となっている森林の整備	70	70.0%	68	69.4%	59	68.6%
3	松枯れでヤブになった所を森林に再生	49	49.0%	48	49.0%	46	53.5%
4	身近な里山や竹林の刈払いなどの整備	40	40.0%	51	52.0%	44	51.2%
5	絶滅のおそれがある動植物の保護・保全活動	51	51.0%	50	51.0%	51	59.3%
6	子供たちを対象にした森林環境教育	37	37.0%	41	41.8%	41	47.7%
7	水源林や平地林として維持する必要がある森林の市町村による買取	41	41.0%	33	33.7%	36	41.9%
8	森林整備を行うボランティアや地域団体の支援	44	44.0%	43	43.9%	38	44.2%

番号	高崎・安中地域		多野藤岡地域		甘楽富岡地域		吾妻地域		利根沼田地域		太田地域	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	60	65.9%	51	62.2%	59	24.2%	67	64.4%	54	56.8%	54	61.4%
2	61	67.0%	56	68.3%	58	23.8%	67	64.4%	53	55.8%	51	58.0%
3	49	53.8%	36	43.9%	42	17.2%	51	49.0%	52	54.7%	47	53.4%
4	49	53.8%	33	40.2%	55	22.5%	52	50.0%	45	47.4%	35	39.8%
5	39	42.9%	36	43.9%	28	11.5%	42	40.4%	34	35.8%	40	45.5%
6	48	52.7%	30	36.6%	28	11.5%	38	36.5%	42	44.2%	36	40.9%
7	35	38.5%	25	30.5%	31	12.7%	39	37.5%	32	33.7%	26	29.5%
8	39	42.9%	30	36.6%	34	13.9%	45	43.3%	37	38.9%	40	45.5%

番号	桐生・みどり地域		邑楽館林地域		(無回答)	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	55	61.8%	40	51.9%	0	0.0%
2	60	67.4%	49	63.6%	1	33.3%
3	47	52.8%	43	55.8%	0	0.0%
4	43	48.3%	36	46.8%	1	33.3%
5	40	44.9%	39	50.6%	1	33.3%
6	35	39.3%	35	45.5%	0	0.0%
7	25	28.1%	26	33.8%	1	33.3%
8	36	40.4%	38	49.4%	0	0.0%

居住地域別についても、多少の前後はあるが、地域による大きな差異はなかった。

⑤ 森林所有状況別回答者数



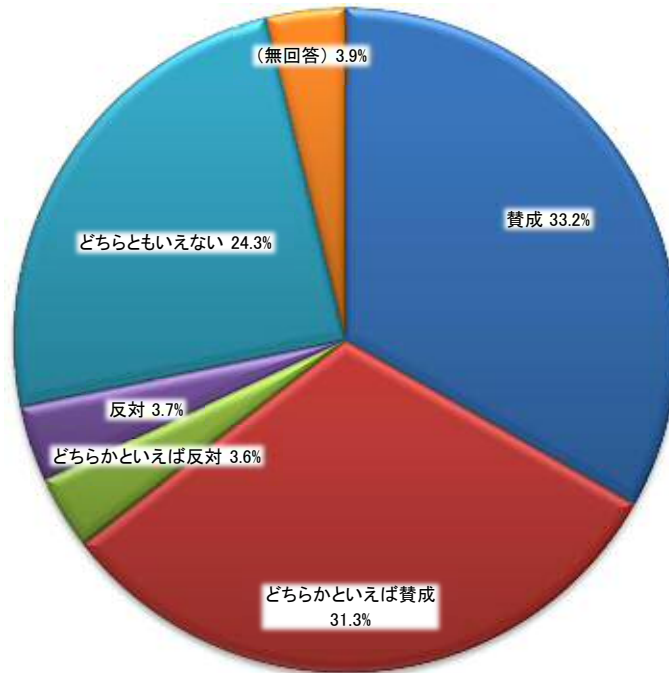
項目	自ら森林を所有している		家族が森林を所有している		森林を所有していない		わからない		(無回答)	
	回答数	構成比	回答数	回答数	構成比	回答数	構成比	構成比	回答数	構成比
奥山で手入れ不足のスギやヒノキなど森林の整備	55	64.7%	65	17	45.9%	1	25.0%	69.9%	492	62.8%
水道などの水源となっている森林の整備	50	58.8%	59	17	45.9%	2	50.0%	63.4%	525	67.0%
松枯れでヤブになった所を森林に再生	36	42.4%	44	12	32.4%	0	0.0%	47.3%	418	53.3%
身近な里山や竹林の刈払いなどの整備	51	60.0%	55	11	29.7%	1	25.0%	59.1%	366	46.7%
絶滅のおそれがある動植物の保護・保全活動	25	29.4%	39	12	32.4%	1	25.0%	41.9%	374	47.7%
子供たちを対象にした森林環境教育	29	34.1%	36	9	24.3%	1	25.0%	38.7%	336	42.9%
水源林や平地林として維持する必要がある森林の市町村による買取	37	43.5%	39	6	16.2%	0	0.0%	41.9%	268	34.2%
森林整備を行うボランティアや地域団体の支援	33	38.8%	45	11	29.7%	0	0.0%	48.4%	335	42.7%

森林所有状況についても、多少の前後はあるが、大きな差異はなかった。

4) 問4 「ぐんま緑の県民税」の継続について

「ぐんま緑の県民税」は、平成26年度から平成30年度までの5年が実施期間です。事業の実績等は、県民等で構成する第三者機関「ぐんま緑の県民税評価検証委員会」において評価をいただいているところですが、平成31年度以降も「ぐんま緑の県民税」を継続することについて、あなたはどのようにお考えですか。該当する番号を1つ○で囲んでください。

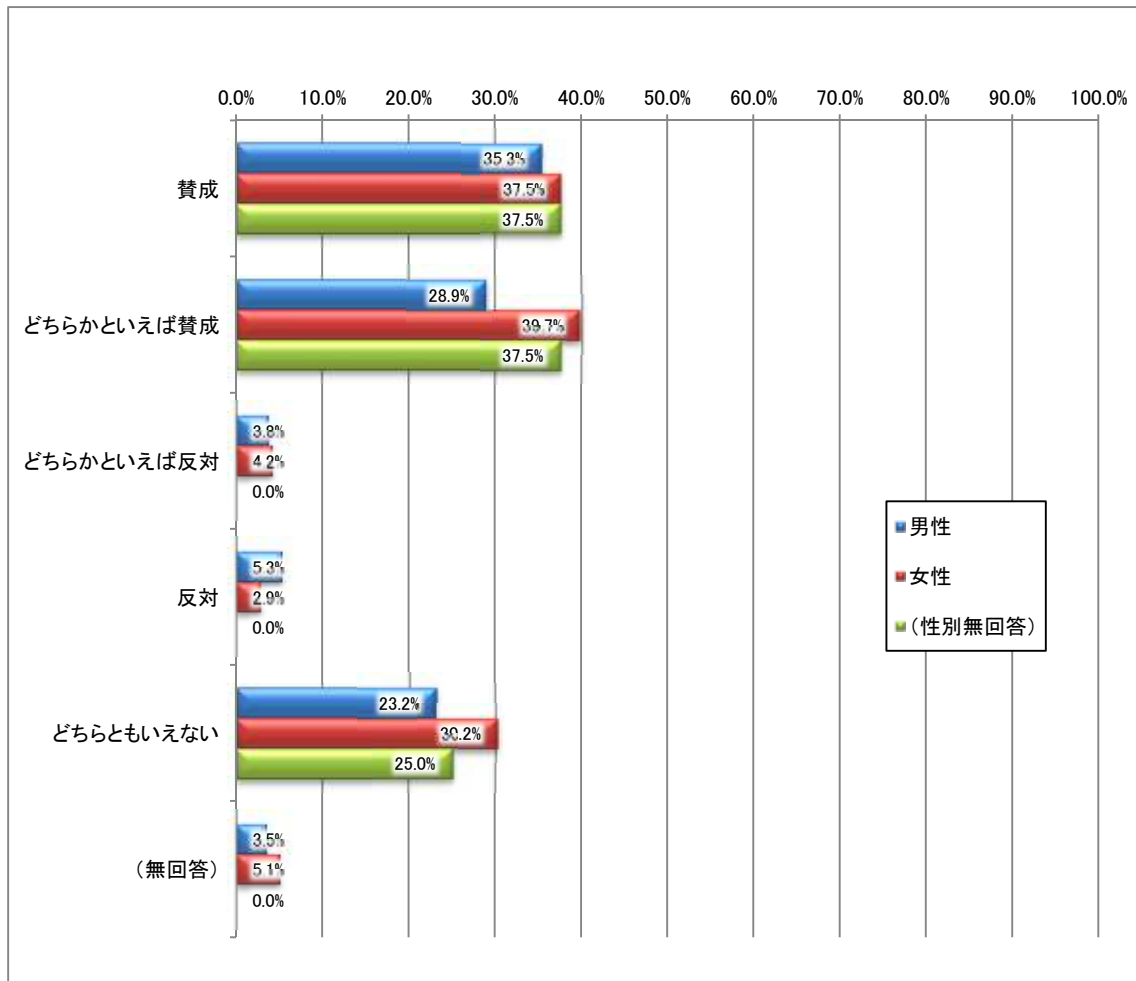
① 項目ごとの回答者数



項目	人数	構成比 (%)
賛成	333	33.2
どちらかといえば賛成	314	31.3
どちらかといえば反対	36	3.6
反対	37	3.7
どちらともいえない	244	24.3
(無回答)	39	3.9
計	1,003	100.0

回答者の三分の二が賛成意見という結果となった。一方、反対意見は一割未満と少ない結果となった。

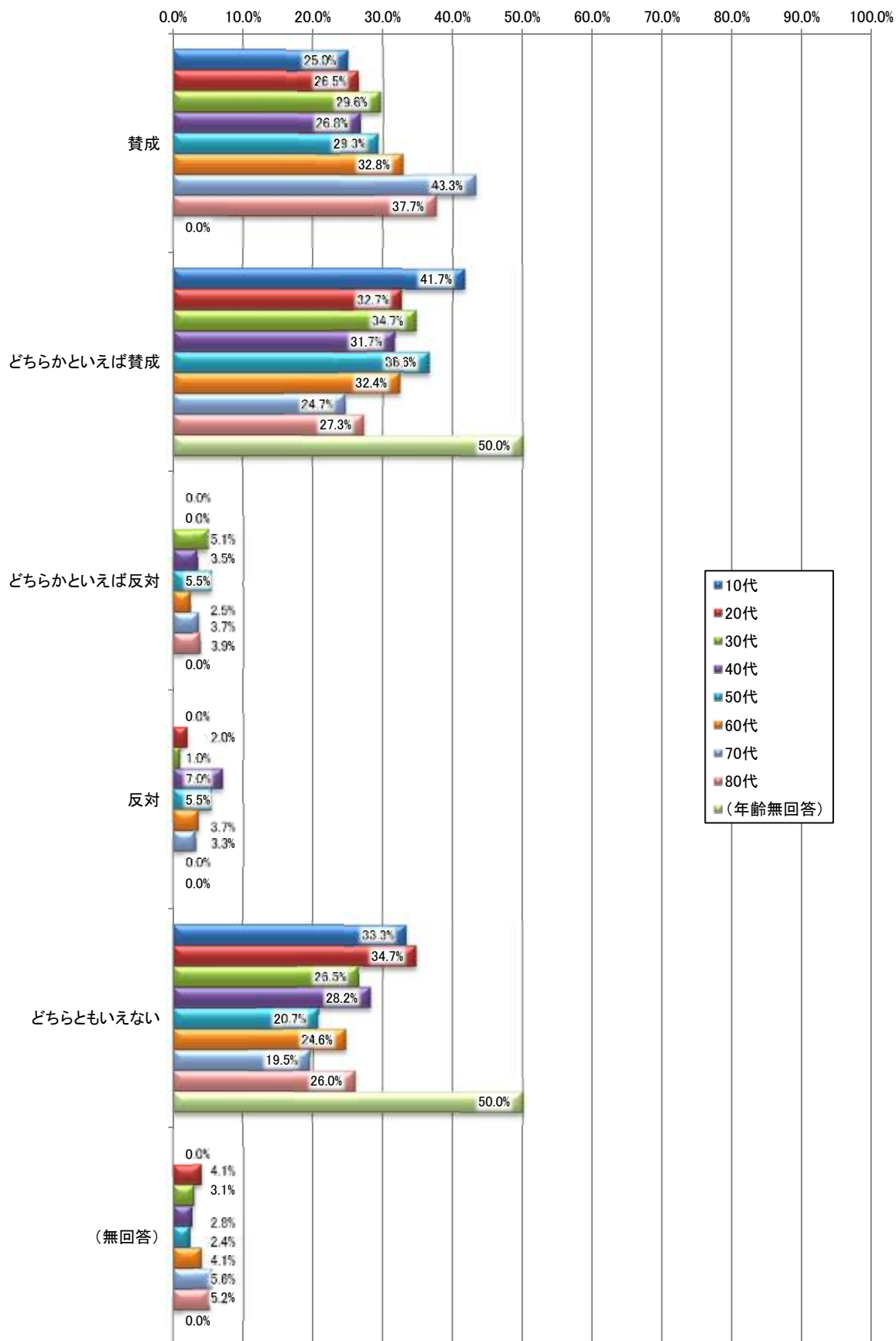
② 男女別の回答者数



項目	男性		女性		(性別無回答)	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
賛成	160	35.3%	170	37.5%	3	37.5%
どちらかといえば賛成	131	28.9%	180	39.7%	3	37.5%
どちらかといえば反対	17	3.8%	19	4.2%	0	0.0%
反対	24	5.3%	13	2.9%	0	0.0%
どちらともいえない	105	23.2%	137	30.2%	2	25.0%
(無回答)	16	3.5%	23	5.1%	0	0.0%

回答者の三分の二が賛成意見という結果となった。性別による大きな差異は特に見られなかった。

③ 年代別の回答者数:項目別

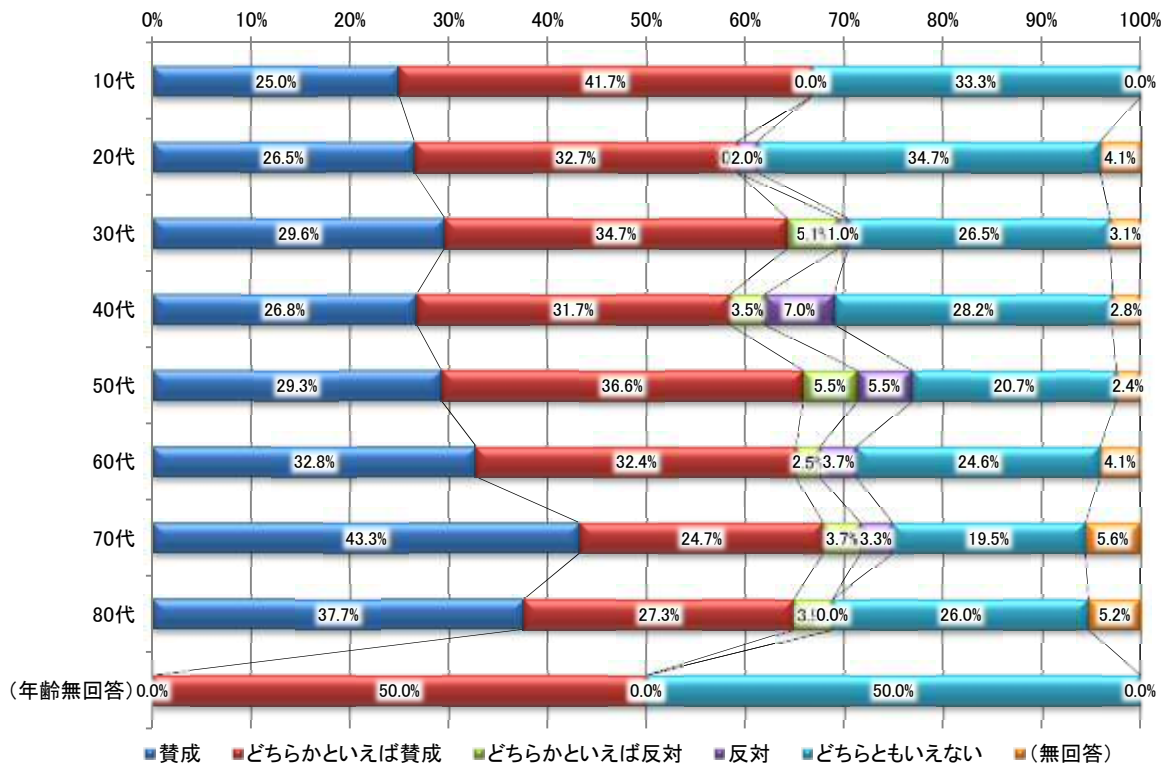


番号	項目	10代		20代		30代		40代	
		回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	賛成	3	25.0%	13	26.5%	29	29.6%	38	26.8%
2	どちらかといえば賛成	5	41.7%	16	32.7%	34	34.7%	45	31.7%
3	どちらかといえば反対	0	0.0%	0	0.0%	5	5.1%	5	3.5%
4	反対	0	0.0%	1	2.0%	1	1.0%	10	7.0%
5	どちらともいえない	4	33.3%	17	34.7%	26	26.5%	40	28.2%
6	(無回答)	0	0.0%	2	4.1%	3	3.1%	4	2.8%

番号	50代		60代		70代		80代		(年齢無回答)	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	48	29.3%	80	32.8%	93	43.3%	29	37.7%	0	0.0%
2	60	36.6%	79	32.4%	53	24.7%	21	27.3%	1	50.0%
3	9	5.5%	6	2.5%	8	3.7%	3	3.9%	0	0.0%
4	9	5.5%	9	3.7%	7	3.3%	0	0.0%	0	0.0%
5	34	20.7%	60	24.6%	42	19.5%	20	26.0%	1	50.0%
6	4	2.4%	10	4.1%	12	5.6%	4	5.2%	0	0.0%

賛成については年齢の高い層の割合が高い結果となった。

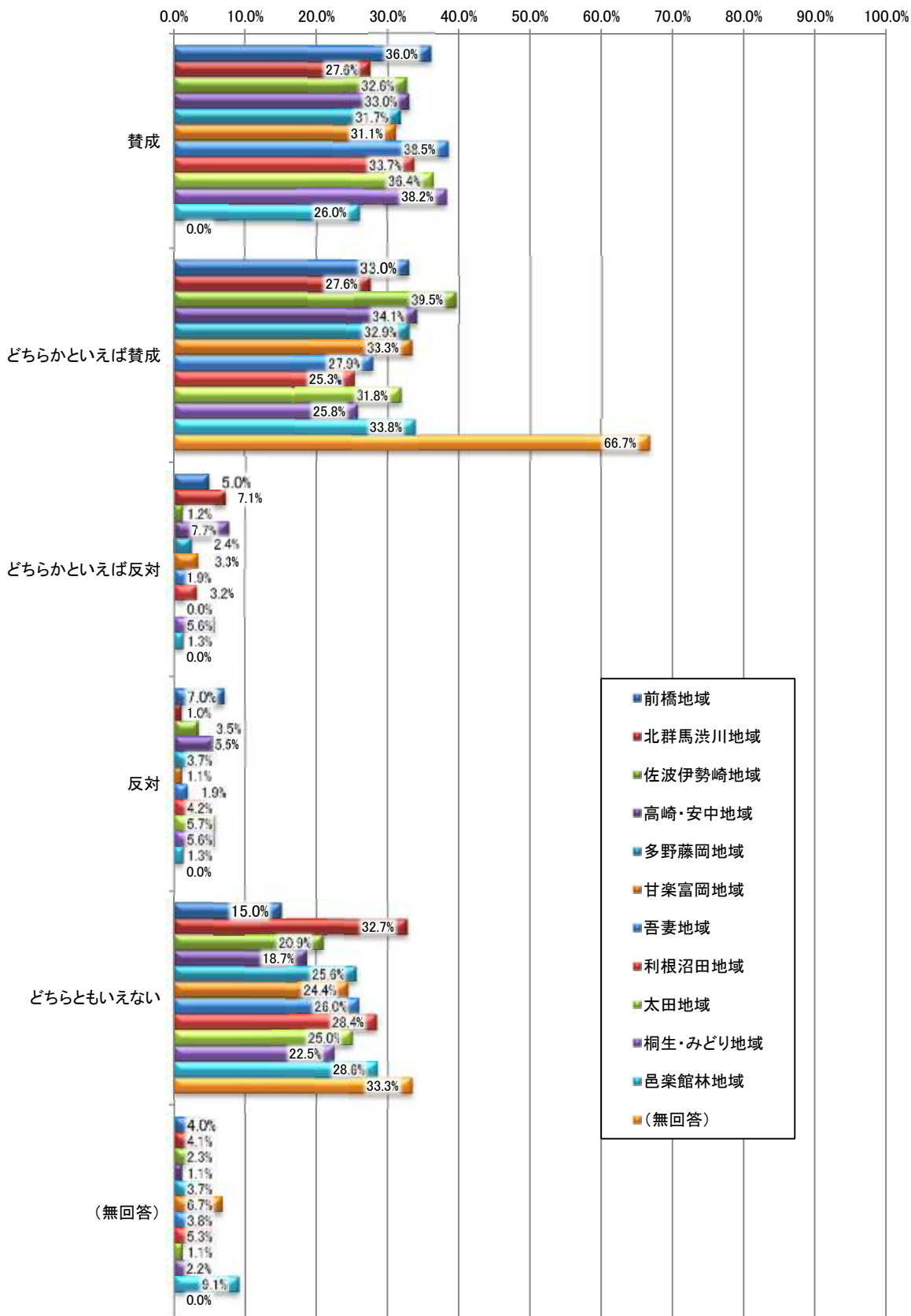
④ 年代別の賛成・反対割合



番号	項目	賛成		どちらかといえば賛成		どちらかといえば反対		反対	
		回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	10代	3	25.0%	5	41.7%	0	0.0%	0	0.0%
2	20代	13	26.5%	16	32.7%	0	0.0%	1	2.0%
3	30代	29	29.6%	34	34.7%	5	5.1%	1	1.0%
4	40代	38	26.8%	45	31.7%	5	3.5%	10	7.0%
5	50代	48	29.3%	60	36.6%	9	5.5%	9	5.5%
6	60代	80	32.8%	79	32.4%	6	2.5%	9	3.7%
7	70代	93	43.3%	53	24.7%	8	3.7%	7	3.3%
8	80代	29	37.7%	21	27.3%	3	3.9%	0	0.0%
9	(年齢無回答)	0	0.0%	1	50.0%	0	0.0%	0	0.0%

番号	どちらともいえない		(無回答)	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1	4	33.3%	0	0.0%
2	17	34.7%	2	4.1%
3	26	26.5%	3	3.1%
4	40	28.2%	4	2.8%
5	34	20.7%	4	2.4%
6	60	24.6%	10	4.1%
7	42	19.5%	12	5.6%
8	20	8.2%	4	10.3%
9	1	0.4%	0	0.0%

⑤ 地域別の回答者数



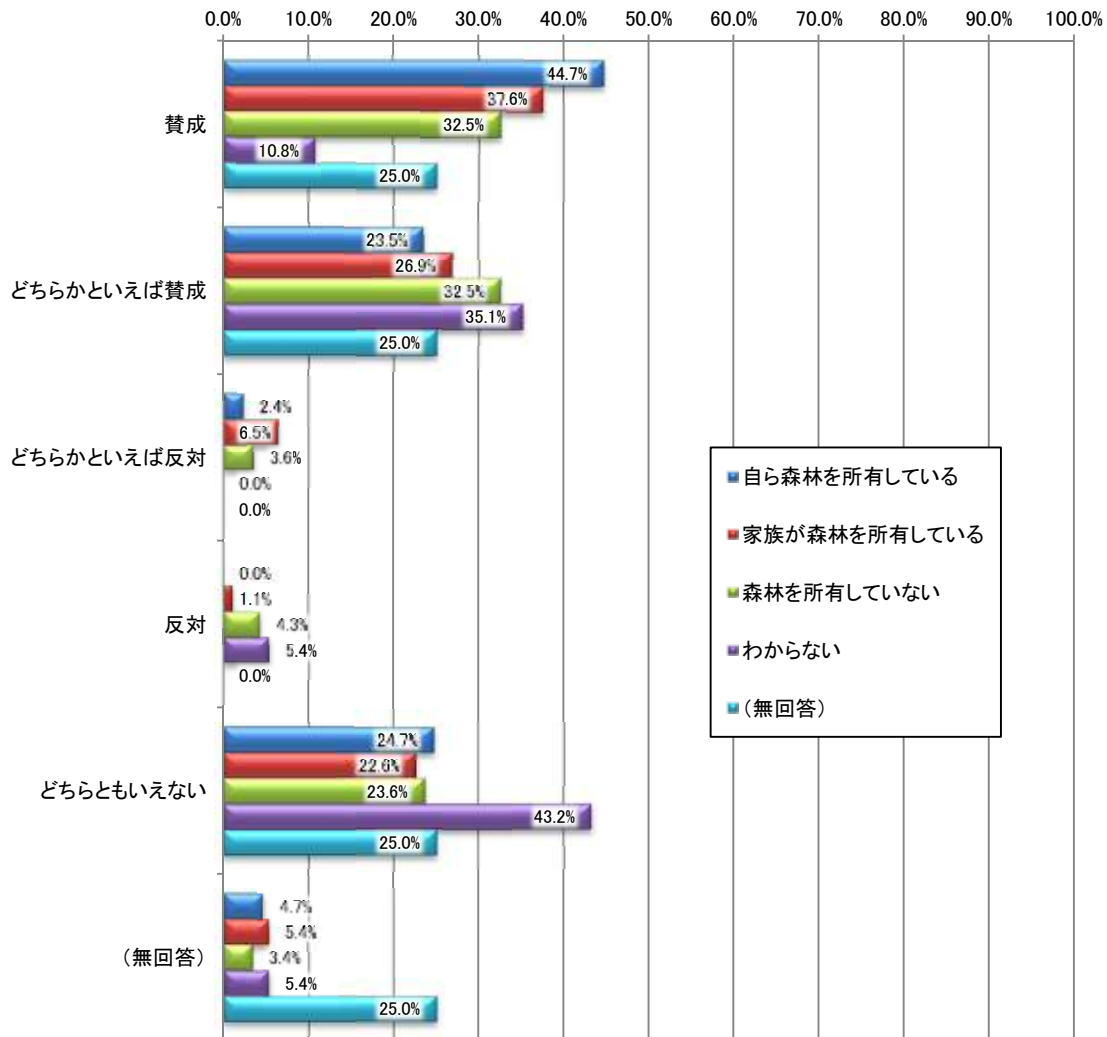
番号	項目	前橋地域		北群馬・渋川地域		佐波伊勢崎地域		高崎・安中地域	
		回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	賛成	36	36.0%	27	27.6%	28	32.6%	30	33.0%
2	どちらかといえば賛成	33	33.0%	27	27.6%	34	39.5%	31	34.1%
3	どちらかといえば反対	5	5.0%	7	7.1%	1	1.2%	7	7.7%
4	反対	7	7.0%	1	1.0%	3	3.5%	5	5.5%
5	どちらともいえない	15	15.0%	32	32.7%	18	20.9%	17	18.7%
6	(無回答)	4	4.0%	4	4.1%	2	2.3%	1	1.1%

番号	多野藤岡地域		甘楽富岡地域		吾妻地域		利根沼田地域		太田地域	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	26	31.7%	28	31.1%	40	38.5%	32	33.7%	32	36.4%
2	27	32.9%	30	33.3%	29	27.9%	24	25.3%	28	31.8%
3	2	2.4%	3	3.3%	2	1.9%	3	3.2%	0	0.0%
4	3	3.7%	1	1.1%	2	1.9%	4	4.2%	5	5.7%
5	21	25.6%	22	24.4%	27	26.0%	27	28.4%	22	25.0%
6	3	3.7%	6	6.7%	4	3.8%	5	5.3%	1	1.1%

番号	桐生・みどり地域		邑楽館林地域		(無回答)	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	34	38.2%	20	26.0%	0	0.0%
2	23	25.8%	26	33.8%	2	66.7%
3	5	5.6%	1	1.3%	0	0.0%
4	5	5.6%	1	1.3%	0	0.0%
5	20	22.5%	22	28.6%	1	33.3%
6	2	2.2%	7	9.1%	0	0.0%

若干の差はあるものの大きな違いは見られなかった。

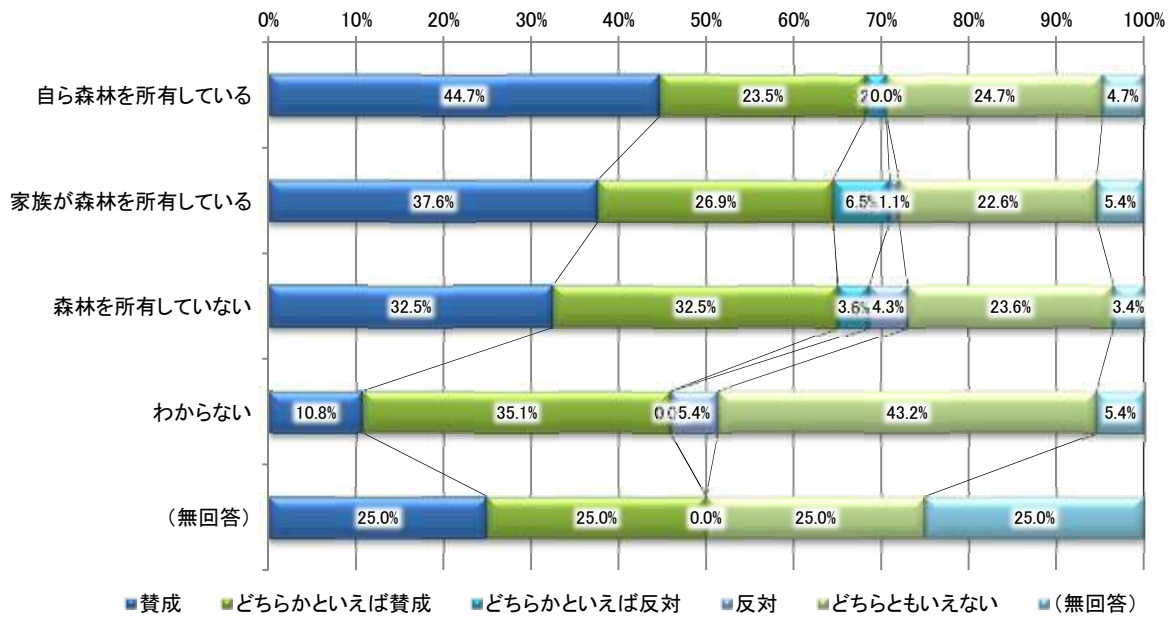
⑥ 森林所有状況別回答者数



項目	自ら森林を所有している		家族が森林を所有している		森林を所有していない		わからない		(無回答)	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
賛成	38	44.7%	35	37.6%	255	32.5%	4	10.8%	1	25.0%
どちらかといえば賛成	20	23.5%	25	26.9%	255	32.5%	13	35.1%	1	25.0%
どちらかといえば反対	2	2.4%	6	6.5%	28	3.6%	0	0.0%	0	0.0%
反対	0	0.0%	1	1.1%	34	4.3%	2	5.4%	0	0.0%
どちらともいえない	21	24.7%	21	22.6%	185	23.6%	16	43.2%	1	25.0%
(無回答)	4	4.7%	5	5.4%	27	3.4%	2	5.4%	1	25.0%

賛成については「自ら森林を所有している」の割合が高い結果となった。

⑦ 森林所有状況別回答構成比



番号	項目	賛成		どちらかといえば賛成		どちらかといえば反対	
		回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	自ら森林を所有している	38	44.7%	20	23.5%	2	2.4%
2	家族が森林を所有している	35	37.6%	25	26.9%	6	6.5%
3	森林を所有していない	255	32.5%	255	32.5%	28	3.6%
4	わからない	4	10.8%	13	35.1%	0	0.0%
5	(無回答)	1	25.0%	1	25.0%	0	0.0%

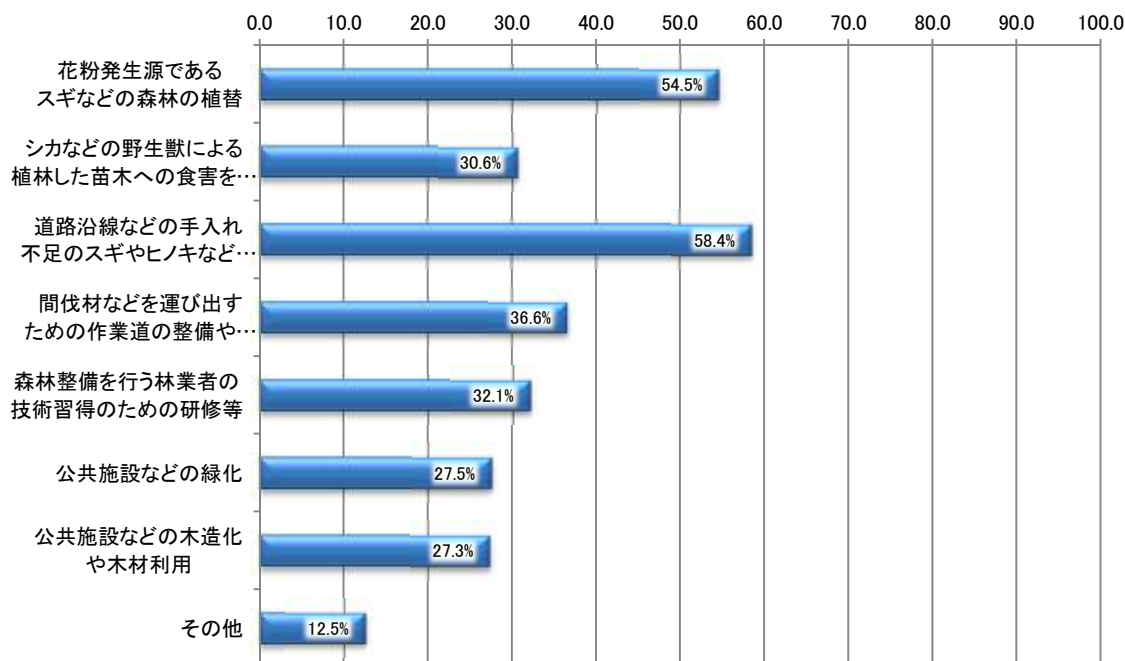
番号	反対		どちらともいえない		(無回答)	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	0	0.0%	21	24.7%	4	4.7%
2	1	1.1%	21	22.6%	5	5.4%
3	34	4.3%	185	23.6%	27	3.4%
4	2	5.4%	16	43.2%	2	5.4%
5	0	0.0%	1	25.0%	1	25.0%

賛成については「自ら森林を所有している」の割合が高い結果となった。

5) 問5 「ぐんま緑の県民税」を継続した場合の取組について

あなたは、群馬県大切な森林を守り、育て、次世代に引き継いでいくため、今後どのような取組に「ぐんま緑の県民税」を活用すべきと思いますか。該当する番号を3つまで○で囲んでください。

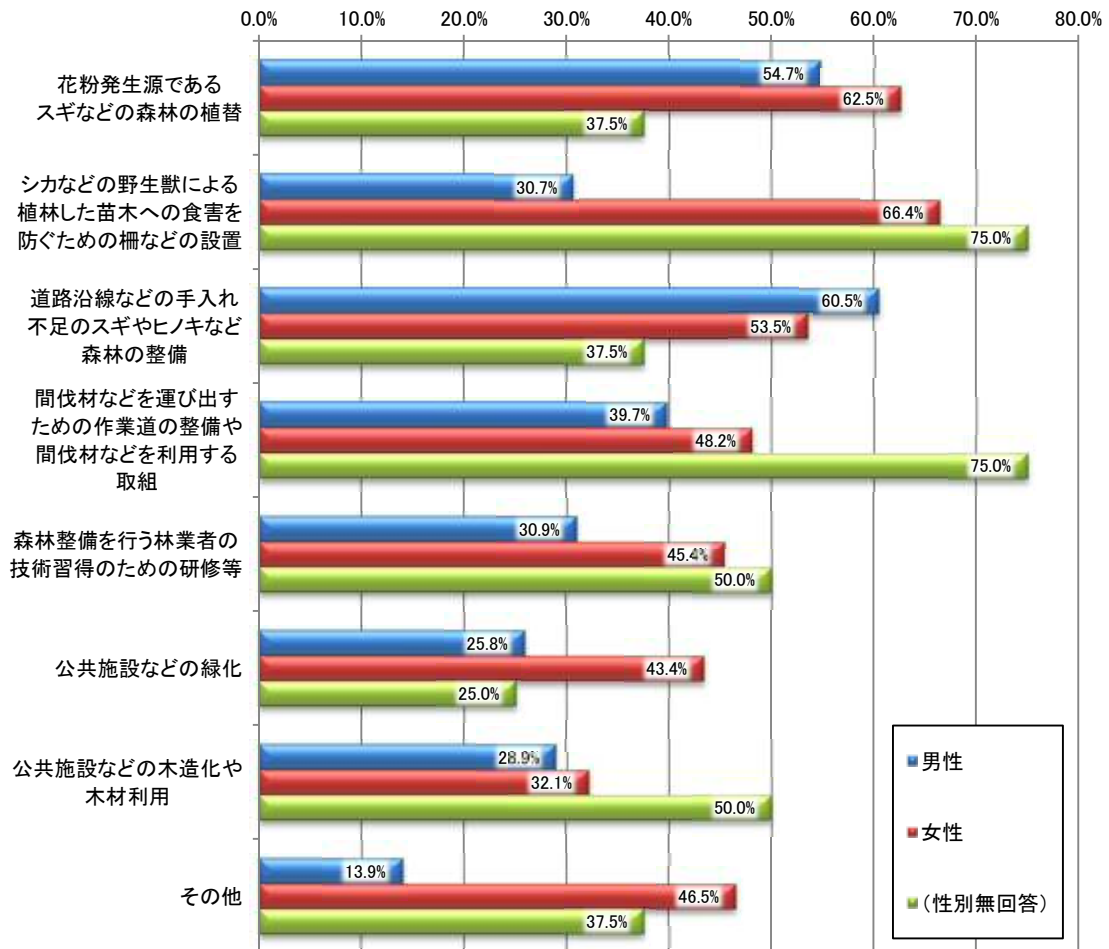
① 項目ごとの回答者数



項目	人数	構成比 (%)
花粉発生源であるスギなどの森林の植替	547	54.5
シカなどの野生獣による植林した苗木への食害を防ぐための柵などの設置	307	30.6
道路沿線などの手入れ不足のスギやヒノキなど森林の整備	586	58.4
間伐材などを運び出すための作業道の整備や間伐材などを利用する取組	367	36.6
森林整備を行う林業者の技術習得のための研修等	322	32.1
公共施設などの緑化	276	27.5
公共施設などの木造化や木材利用	274	27.5
その他	125	12.5
計	n=1,003	100.0

花粉発生源対策や道路沿線の手入れ不足森林の整備に半数以上の回答者が活用すべきと回答した。野生鳥獣対策や公共施設緑化、施設の木造化等については3割程度にとどまった。

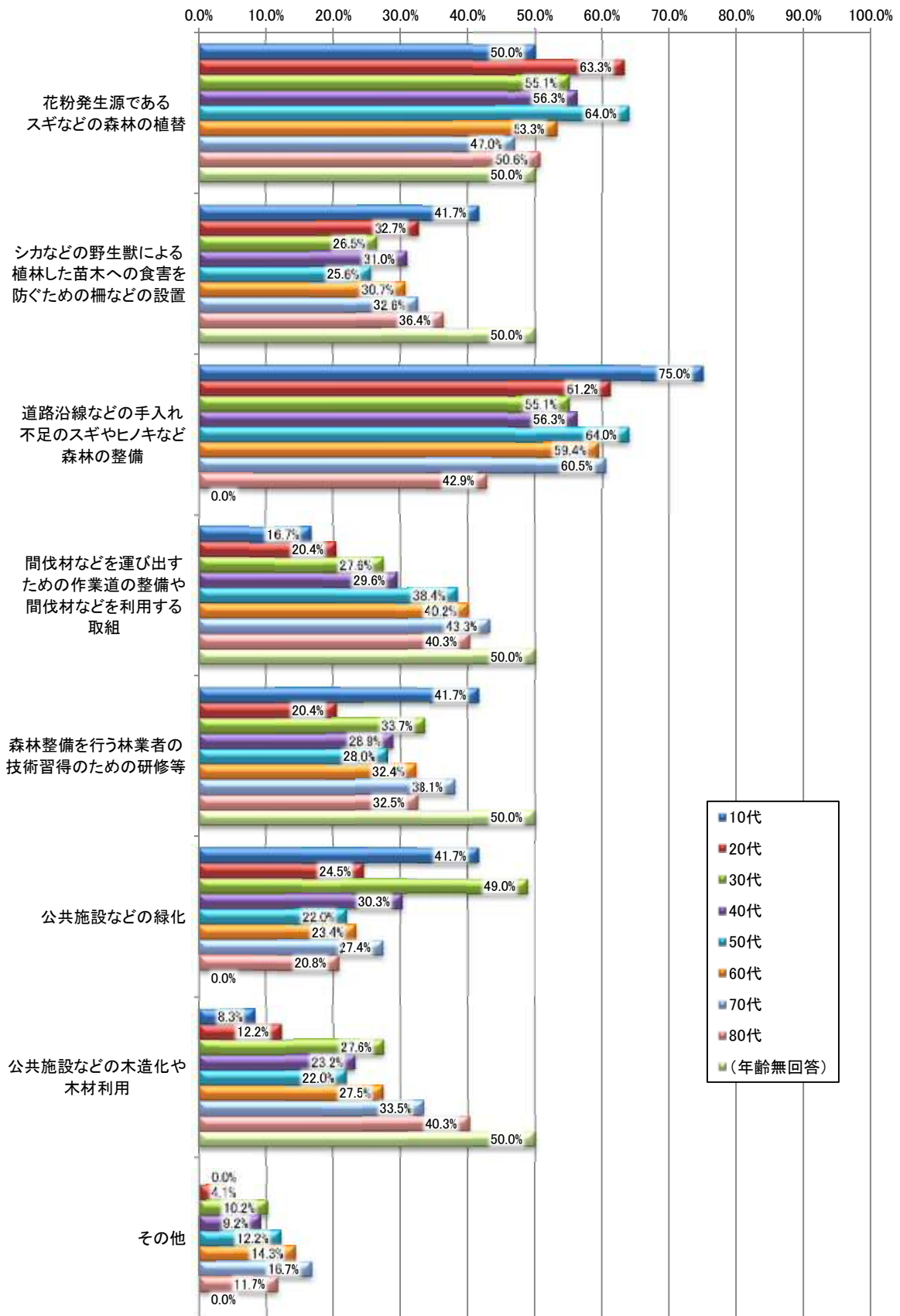
② 男女別の回答者数



項目	男性		女性		(性別無回答)	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
花粉発生源であるスギなどの森林の植替	248	54.7%	339	62.5%	3	37.5%
シカなどの野生獣による植林した苗木への食害を防ぐための柵などの設置	139	30.7%	360	66.4%	6	75.0%
道路沿線などの手入れ不足のスギやヒノキなど森林の整備	274	60.5%	290	53.5%	3	37.5%
間伐材などを運び出すための作業道の整備や間伐材などを利用する取組	180	39.7%	261	48.2%	6	75.0%
森林整備を行う林業者の技術習得のための研修等	140	30.9%	246	45.4%	4	50.0%
公共施設などの緑化	117	25.8%	235	43.4%	2	25.0%
公共施設などの木造化や木材利用	131	28.9%	174	32.1%	4	50.0%
その他	63	13.9%	252	46.5%	3	37.5%

獣害対策、公共施設緑化等で女性の意見が多い結果となった。

③ 年代別の回答者数: 項目別

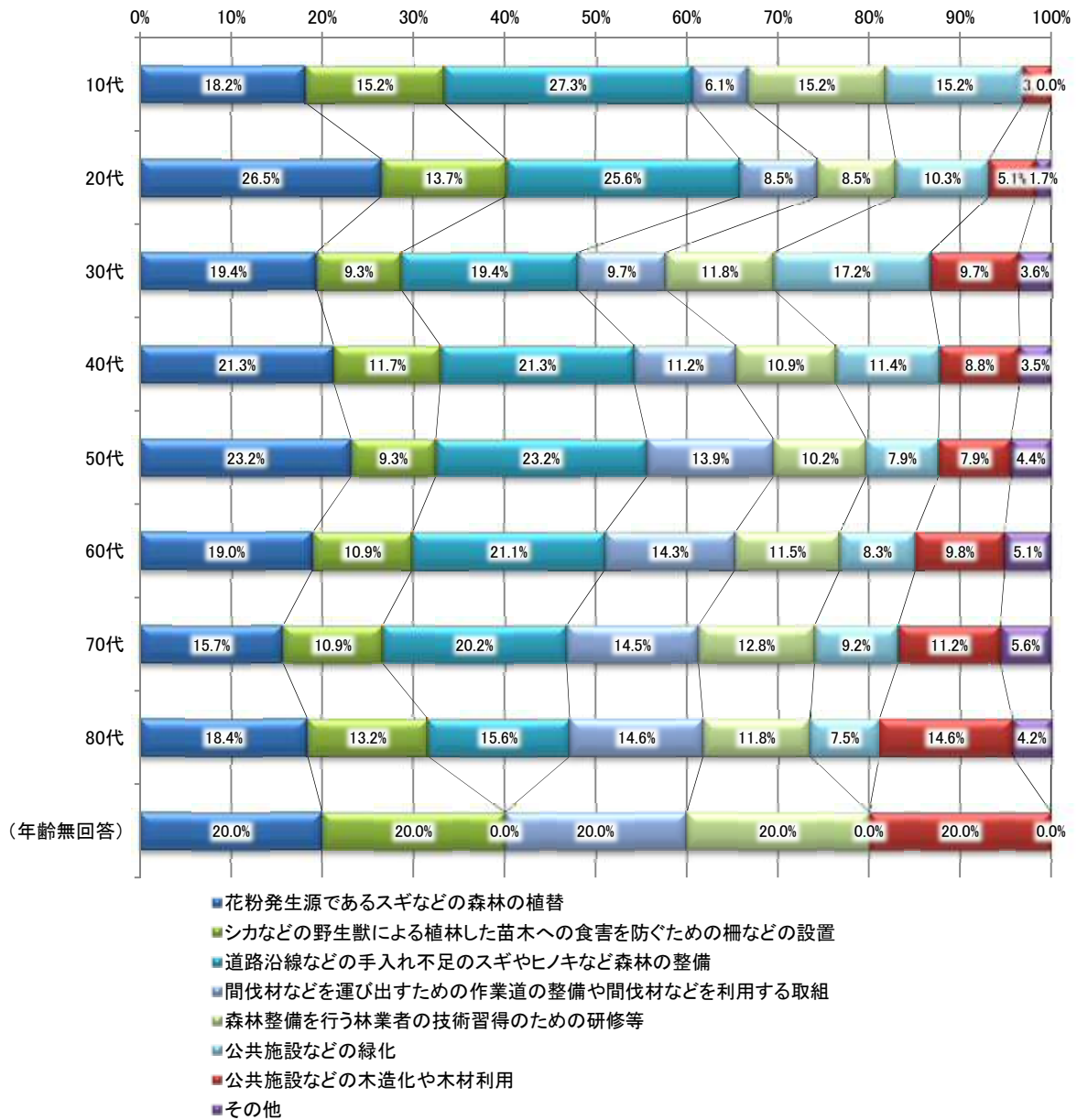


番号	項目	10代		20代		30代	
		回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	花粉発生源であるスギなどの森林の植替	6	50.0%	31	63.3%	54	55.1%
2	シカなどの野生獣による植林した苗木への食害を防ぐための柵などの設置	5	41.7%	16	32.7%	26	26.5%
3	道路沿線などの手入れ不足のスギやヒノキなど森林の整備	9	75.0%	30	61.2%	54	55.1%
4	間伐材などを運び出すための作業道の整備や間伐材などを利用する取組	2	16.7%	10	20.4%	27	27.6%
5	森林整備を行う林業者の技術習得のための研修等	5	41.7%	10	20.4%	33	33.7%
6	公共施設などの緑化	5	41.7%	12	24.5%	48	49.0%
7	公共施設などの木造化や木材利用	1	8.3%	6	12.2%	27	27.6%
8	その他	0	0.0%	2	4.1%	10	10.2%

番号	40代		50代		60代		70代		80代		(年齢無回答)	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	80	56.3%	105	64.0%	130	53.3%	101	47.0%	39	50.6%	1	50.0%
2	44	31.0%	42	25.6%	75	30.7%	70	32.6%	28	36.4%	1	50.0%
3	80	56.3%	105	64.0%	145	59.4%	130	60.5%	33	42.9%	0	0.0%
4	42	29.6%	63	38.4%	98	40.2%	93	43.3%	31	40.3%	1	50.0%
5	41	28.9%	46	28.0%	79	32.4%	82	38.1%	25	32.5%	1	50.0%
6	43	30.3%	36	22.0%	57	23.4%	59	27.4%	16	20.8%	0	0.0%
7	33	23.2%	36	22.0%	67	27.5%	72	33.5%	31	40.3%	1	50.0%
8	13	9.2%	20	12.2%	35	14.3%	36	16.7%	9	11.7%	0	0.0%

道路沿線の森林整備、獣害対策、公共施設緑化等で若年層の意見が多い結果となった。
公共施設の木造化については年齢層が高い方が多い結果となった。

④ 年代別の回答者数:年代別

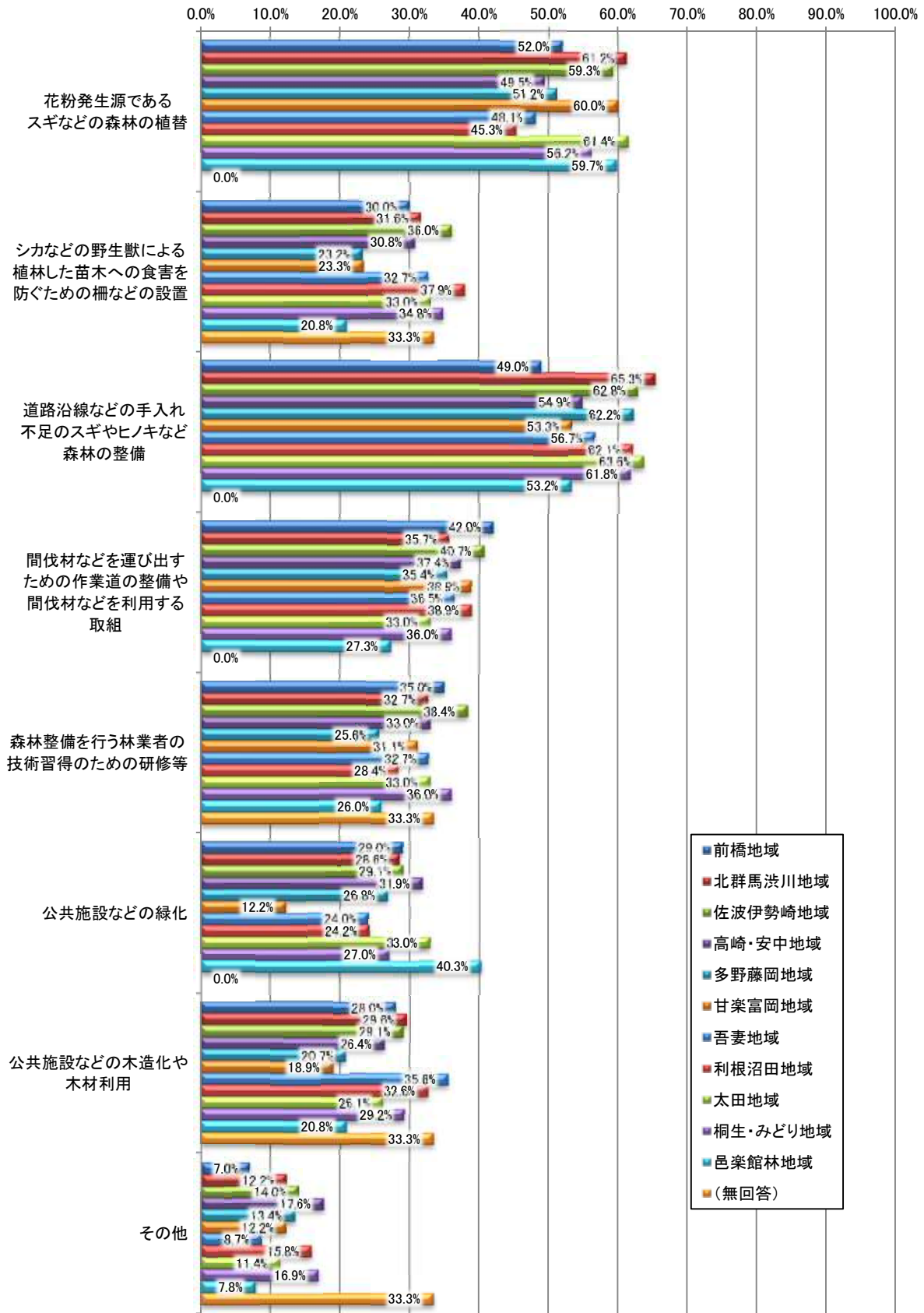


番号	項目	花粉発生源であるスギなどの森林の植替		シカなどの野生獣による植林した苗木への食害を防ぐための柵などの設置		道路沿線などの手入れ不足のスギやヒノキなど森林の整備		間伐材などを運び出すための作業道の整備や間伐材などを利用する取組	
		回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	10代	6	18.2%	5	15.2%	9	27.3%	2	6.1%
2	20代	31	26.5%	16	13.7%	30	25.6%	10	8.5%
3	30代	54	19.4%	26	9.3%	54	19.4%	27	9.7%
4	40代	80	21.3%	44	11.7%	80	21.3%	42	11.2%
5	50代	105	23.2%	42	9.3%	105	23.2%	63	13.9%
6	60代	130	19.0%	75	10.9%	145	21.1%	98	14.3%
7	70代	101	15.7%	70	10.9%	130	20.2%	93	14.5%
8	80代	39	18.4%	28	13.2%	33	15.6%	31	14.6%
9	(年齢無回答)	1	20.0%	1	20.0%	0	0.0%	1	20.0%

番号	森林整備を行う林業者の技術習得のための研修等		公共施設などの緑化		公共施設などの木造化や木材利用		その他	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	5	15.2%	5	15.2%	1	3.0%	0	0.0%
2	10	8.5%	12	10.3%	6	5.1%	2	1.7%
3	33	11.8%	48	17.2%	27	9.7%	10	3.6%
4	41	10.9%	43	11.4%	33	8.8%	13	3.5%
5	46	10.2%	36	7.9%	36	7.9%	20	4.4%
6	79	11.5%	57	8.3%	67	9.8%	35	5.1%
7	82	12.8%	59	9.2%	72	11.2%	36	5.6%
8	25	11.8%	16	7.5%	31	14.6%	9	4.2%
9	1	20.0%	0	0.0%	1	20.0%	0	0.0%

公共施設の木造化については年齢層が高い方が多い結果となった。

⑤ 地域別の回答者数



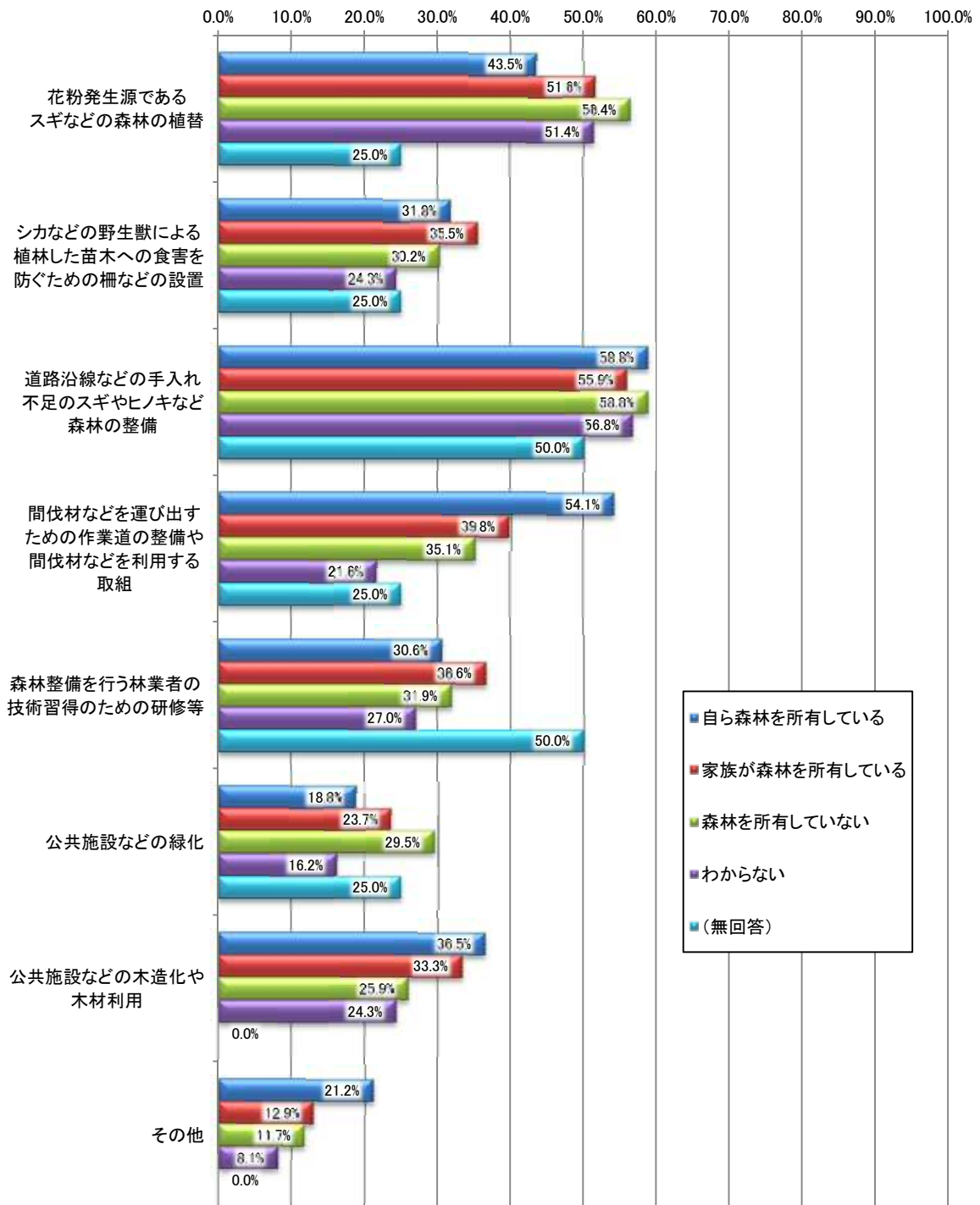
番号	項目	前橋地域		北群馬・渋川地域		佐波伊勢崎地域	
		回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	花粉発生源であるスギなどの森林の植替	52	52.0%	60	61.2%	51	59.3%
2	シカなどの野生獣による植林した苗木への食害を防ぐための柵などの設置	30	30.0%	31	31.6%	31	36.0%
3	道路沿線などの手入れ不足のスギやヒノキなど森林の整備	49	49.0%	64	65.3%	54	62.8%
4	間伐材などを運び出すための作業道の整備や間伐材などを利用する取組	42	42.0%	35	35.7%	35	40.7%
5	森林整備を行う林業者の技術習得のための研修等	35	35.0%	32	32.7%	33	38.4%
6	公共施設などの緑化	29	29.0%	28	28.6%	25	29.1%
7	公共施設などの木造化や木材利用	28	28.0%	29	29.6%	25	29.1%
8	その他	7	7.0%	12	12.2%	12	14.0%

番号	高崎・安中地域		多野藤岡地域		甘楽富岡地域		吾妻地域		利根沼田地域		太田地域	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	45	49.5%	42	51.2%	54	22.1%	50	48.1%	43	45.3%	54	61.4%
2	28	30.8%	19	23.2%	21	8.6%	34	32.7%	36	37.9%	29	33.0%
3	50	54.9%	51	62.2%	48	19.7%	59	56.7%	59	62.1%	56	63.6%
4	34	37.4%	29	35.4%	35	14.3%	38	36.5%	37	38.9%	29	33.0%
5	30	33.0%	21	25.6%	28	11.5%	34	32.7%	27	28.4%	29	33.0%
6	29	31.9%	22	26.8%	11	4.5%	25	24.0%	23	24.2%	29	33.0%
7	24	26.4%	17	20.7%	17	7.0%	37	35.6%	31	32.6%	23	26.1%
8	16	17.6%	11	13.4%	11	4.5%	9	8.7%	15	15.8%	10	11.4%

番号	桐生・みどり地域		邑楽館林地域		(無回答)	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	50	56.2%	46	59.7%	0	0.0%
2	31	34.8%	16	20.8%	1	33.3%
3	55	61.8%	41	53.2%	0	0.0%
4	32	36.0%	21	27.3%	0	0.0%
5	32	36.0%	20	26.0%	1	33.3%
6	24	27.0%	31	40.3%	0	0.0%
7	26	29.2%	16	20.8%	1	33.3%
8	15	16.9%	6	7.8%	1	33.3%

居住地域についても多少の前後はあるが地域による大きな差異はなかった。

⑥ 森林所有状況別回答者数

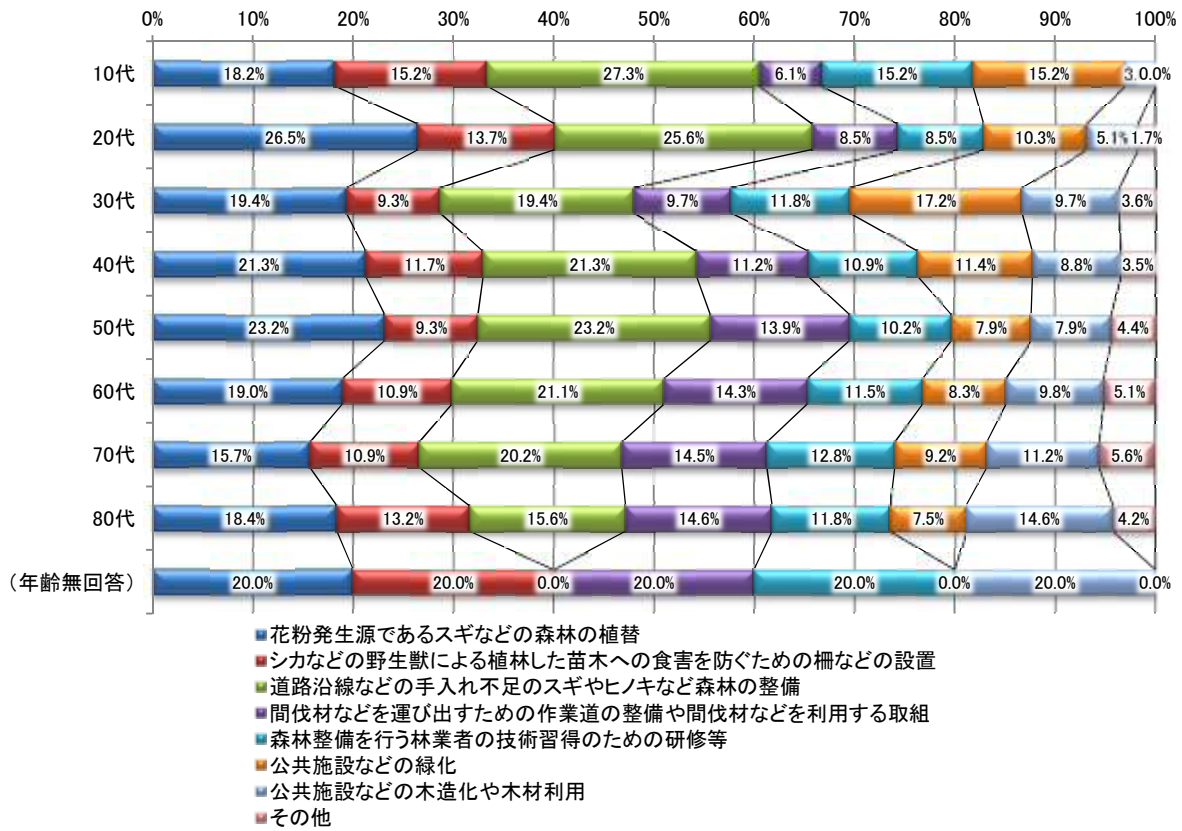


番号	項目	自ら森林を所有している		家族が森林を所有している		森林を所有していない	
		回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	花粉発生源であるスギなどの森林の植替	37	43.5%	48	51.6%	442	56.4%
2	シカなどの野生獣による植林した苗木への食害を防ぐための柵などの設置	27	31.8%	33	35.5%	237	30.2%
3	道路沿線などの手入れ不足のスギやヒノキなど森林の整備	50	58.8%	52	55.9%	461	58.8%
4	間伐材などを運び出すための作業道の整備や間伐材などを利用する取組	46	54.1%	37	39.8%	275	35.1%
5	森林整備を行う林業者の技術習得のための研修等	26	30.6%	34	36.6%	250	31.9%
6	公共施設などの緑化	16	18.8%	22	23.7%	231	29.5%
7	公共施設などの木造化や木材利用	31	36.5%	31	33.3%	203	25.9%
8	その他	18	21.2%	12	12.9%	92	11.7%

番号	わからない		(無回答)	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1	19	51.4%	1	25.0%
2	9	24.3%	1	25.0%
3	21	56.8%	2	50.0%
4	8	21.6%	1	25.0%
5	10	27.0%	2	50.0%
6	6	16.2%	1	25.0%
7	9	24.3%	0	0.0%
8	3	8.1%	0	0.0%

森林所有状況との結果では、特に大きな差はなかった。

⑦ 森林所有状況別回答者構成比



番号	項目	花粉発生源であるスギなどの森林の植替		シカなどの野生獣による植林した苗木への食害を防ぐための柵などの設置		道路沿線などの手入れ不足のスギやヒノキなど森林の整備		間伐材などを運び出すための作業道の整備や間伐材などを利用する取組	
		回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	自ら森林を所有している	37	14.7%	27	10.8%	50	19.9%	46	18.3%
2	家族が森林を所有している	48	17.8%	33	12.3%	52	19.3%	37	13.8%
3	森林を所有していない	442	20.2%	237	10.8%	461	21.0%	275	12.6%
4	わからない	19	22.4%	9	10.6%	21	24.7%	8	9.4%
5	(無回答)	1	12.5%	1	12.5%	2	25.0%	1	12.5%

番号	森林整備を行う林業者の技術習得のための研修等		公共施設などの緑化		公共施設などの木造化や木材利用		その他	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	26	10.4%	16	6.4%	31	12.4%	18	7.2%
2	34	12.6%	22	8.2%	31	11.5%	12	4.5%
3	250	11.4%	231	10.5%	203	9.3%	92	4.2%
4	10	11.8%	6	7.1%	9	10.6%	3	3.5%
5	2	25.0%	1	12.5%	0	0.0%	0	0.0%

3. 記述回答

1) 問5 その他意見

問5において、その他に記載された記述回答について整理した。
 主な意見により下記の10種類に分類した。
 それぞれの件数について、
 花粉症対策 5 件、県産材活用 7 件、公有林化 9 件、里山整備 3 件、森林環境教育 12 件、森林整備 21 件、
 森林ボランティア活動 3 件、野生動物 15 件、林業従事者対策 5 件、
 その他 15 件、計 95 件の回答があった。

◆ 花粉症対策

中之条町	女性	30代	吾妻郡に在住していますが、手入れされていないスギ・ヒノキが多く、花粉発生の点でも困っています。県民税がどのように使われているか知りませんが、そういった部分の整備に使われるならば継続でもいいのかと思います。
富岡市	女性	70代	夫が里山に関係していたので続けてほしいが、花粉症には困りものです。
高山村	女性	60代	花粉症で35年位悩まされています。花粉が出ない木を植えてほしいです。
渋川市	女性	60代	はっきりいって活動状況などもよく解りませんし、とりあえずたくさん花粉症の人々のためになにか取り組んで下さい。
前橋市	女性	20代	私自身が花粉症で苦しんでいるため、1のような取組みを期待します。

◆ 県産材活用

太田市	男性	70代	間伐材などによるバイオ発電の燃料に積極的に利用する取り組み。
嬭恋村	女性	70代	間伐材の積極的な利用に対するの応援。資金援助を大々的に報道し、関心を求め、理解を求め、参加を導くとよいと思います。
渋川市	女性	30代	県産木材を利用した製品の開発。観光地の木を用いた景観整備。Iターン林業従事者の勧誘、誘致。
渋川市	男性	60代	公用地・私有地で切りっぱなしになっている木の片付けの促進
桐生市	女性	70代	国内の木材を大いに利用してもらう
藤岡市	女性	40代	木材を生かした製品作りや、それを作る場や作る人を整備できたらいいと思います。
高崎市	女性	50代	私の夫はイタリア製の帆船模型を作っていますが、最初のキットは何ということのないヒゴのようなものです。ですが出来上がるととても美しく、見事。県内の学生でも、こうした模型を作るのが好きな人がいるのでは？と思います。間伐材を使って群馬の木材でこうしたものを作る取組があったらステキだなと思います。

◆ 公有林化

前橋市	男性	40代	県内の水源林を外国資本に買収されないよう市町村による買取りを進めてほしい。
安中市	女性	80代	御苦勞様で御座居ます。老人である私の願いは他県の人達のように日本人以外の人に出来るだけ森林を売却しない事を御願ひいたします。
伊勢崎市	男性	70代	私有地の公共用地化の推進
太田市	男性	30代	森林買収対策(外国資本)
伊勢崎市	男性	60代	水源の確保と安全保護は重要と考えます。マスコミ報道等では、北海道などで山林の中国企業や中国人による買収が進んでいるとのこと…。いずれ問題が起きるのではないでしょうか。
伊勢崎市	女性	20代	中国などの外国に土地を売らない
伊勢崎市	女性	40代	放置され荒れた森林の買取り&有意義なその森林の活用
富岡市	男性	50代	放置民有林の買収
藤岡市	女性	80代	上毛新聞で、群馬県は所有者不明の森林が多いと知った。放置されている森林から早期解決して、保全活動をしていただきたい。

◆ 里山整備

伊勢崎市	男性	60代	里山の公営化、竹林も保護しないと勿体ない
甘楽町	男性	80代	里山林の整備をする(町でボランティアなどの募集する)
高崎市	男性	40代	里山を整備し、子供が自然環境の中で生物を観察できるような場の提供

◆ 森林環境教育

みどり市	女性	60代	<ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化防止に対する取組 ・大規模自然災害防止に対する取組 ・都市との交流により森林資源の大切さをアピールする取組 ・林業の担い手の育成事業に対する取組
高崎市	男性	70代	<ul style="list-style-type: none"> ① 供たちを対象とした森林環境教育の継続 ② 森林整備を行なうボランティアや地域団体の支援の継続
高崎市	男性	40代	<p>業として利活用するものとして、木や森林を維持することに限界があるように思います。林業の対象としての木や森林ではなく、自然環境の保護、水害などの防止につながっていること、県民をはじめとした森林を訪れる人の癒やし効果、文化的な活用などを十分に国民に知らせることが優先だと思ふ次第です。</p> <p>よって、たとえば同封されていたチラシの「公益的機能の評価額」のような調査、そしてそれをアピールすることにぐんま緑の県民税を活用すべきだと思います。</p>
沼田市	女性	30代	子どもたちを対象とした森林環境教育、実際に、例えば家族や学校のクラス単位で森林に入り、環境について学びながら実体験を通して学ぶこと
大泉町	男性	50代	昆虫の森、野鳥の森、釣り池、アスレチック等利用可能なもの。
伊勢崎市	女性	40代	<p>森林と親しむため複合的な施設(宿泊、レクリエーション、教育をかねた)を作り、教育をしながら人を呼び、お金を落としてもらう。その収益の一部を継続的に森林保全に利用できるような仕組みを考える。</p> <p>例えば、自分たちで木を伐採し薪を作りキャンプファイヤーをしたり、炭を作ったりできるような体験型の施設を作る。またそれらを提供できる人材の教育など。</p>
みなかみ町	男性	70代	森林の中で子供たちが学習や遊び場を作る。
高崎市	女性	60代	デスクワークの方の運動に空いた時間に行えるようなシステムがあれば良いと思います。
みなかみ町	男性	60代	ハイキングコースの整備、道路案内、お手洗
藤岡市	男性	70代	人は自然に生かされていることを学ぶことを繰り返されたい。
渋川市	男性	30代	<p>山や自然がとて多い県がゆえにちゃんとした事業やボランティアなどでもっと多くの人に山や自然の大切さを学べる場が増えるべきだと思います。</p> <p>道路拡張や集合住宅のため等々で自然がなくなっていくのがとても悲しいです。</p>
藤岡市	女性	70代	<p>私が小学生のとき(高崎城南小学校)観音山の裏山へ植林に行ったことがあります。「みなさんが植えたこの苗木は30～40年後に立派の木となってみなさんの生活の柱となります。」と言われました。</p> <p>今こういことが行なわれているか知りませんが、とても良い思い出となって今このアンケートに向かっています。「ぐんま緑の県民税」がこれからも続くなら、問3の6になれば良いかと思っています。</p>

◆ 森林整備

前橋市	女性	50代	空き地などへの植林緑を増やす)
邑楽町	女性	70代	邑楽町の赤堀と言う所の長良神社の整備をぐんま緑の県民税を取り組んでもらいたいです。松の木が大きくなり松くい虫にやられて枯れています。それに神社の屋根の銅板がぬすまれてしまいました。又老人達の遊び場がないので県でぐんま緑の県民税で整備をしていただければ幸いです。よろしくお願い致します。
藤岡市	男性	60代	広葉樹林にしてもらいたい。
藤岡市	女性	40代	ここ数年水災害が増えています森林が崩れ県民のみなさまの住まいを安全を考え整備して下さい。
みどり市	男性	60代	酸性雨等で枯れた木々の新たな植栽。それによる災害の防止や二酸化炭素の吸収。
沼田市	女性	40代	<p>山林の荒廃をなくしてからNo1～7のようなことに取り組むべきではないだろうか。</p> <p>現在、山林所有者が個々に維持管理できる範囲を超えている状態なのでぜひ行政に手をさしのべてもらいたい。</p>
下仁田町	男性	60代	新規作業道を造成してもメンテナンスがなされていないため利用価値が無い。作業道の再整備
沼田市	男性	70代	針葉樹林(人工林)は山崩れや洪水などの災害を起こしやすい。また、動物のエサ不足の原因となり、動物による農作物被害の原因の一つと考えられる。針葉樹の伐期がきたらナラなどの広葉樹に植え替えることによって長期的には様々な面で良いと考える。
桐生市	男性	40代	森林の荒れた状態をなんとかしてほしい。
昭和村	男性	50代	森林の間伐など手入れ。
中之条町	男性	60代	森林浴が出来るような遊歩道や山道マラソンなどのコースを整備して、観光収入につなげ、森林群馬をアピールする
高崎市	女性	50代	<p>生活道路がスギ、ヒノキの林のせいで凍った雪がとけない箇所がいくつもあります。地権者と相談して道沿いの木だけでいいので数本切ると、日が差して早く溶けて、歩くのも車も安全です。</p> <p>私は犬の散歩で滑ってもう3年になりますが、肩は後ろへまわせません。除雪、塩カルの軽減、道路も長持ちすると思います。</p>

前橋市	女性	60代	生活に直接必要な水源を守ることが1番だと思う。自然も大切だと思うし、そのためには、植林や苗木の植えつけも大切だと思う。
高崎市	男性	60代	送電線、電柱、支線などに蔓が絡みついたまま放置されていたり、荒れた竹林の枯れた竹が水路に何本も落ちたままになっているのを緑の県民税で整備してほしい。 また、大きく成長した道路沿いの樹木、中小河川沿いの木々が管理費削減のため次々切り倒されている。風や夏の太陽から、歩く人や動物を長年守ってきた木々を切ることは緑の保護に逆行することでぜひやめてほしい。
太田市	女性	80代	大切な森林を守りましょう。
沼田市	女性	70代	父は兄姉の卒業記念に植樹し私も植付け下草刈に手伝って60～65年くらいたっています。以前は部落に山師(間伐)して下さる人が2人位いて山林の収入も少しはあったように思います。 毎年山に入ると根から4～5本倒れているのを見ると「もったいない」と思っています。 作業道や電柵など整備はまぼ出来ていますが間伐してくださる人がいないので間伐し間伐材の利用に特に取り組んで頂きたいと思っています。
高崎市	男性	80代	手入れ不足の県有林や市町村有林の整備に力を入れてほしい。
沼田市	男性	70代	道路沿線の整備。観光用の植樹。
甘楽町	女性	60代	とにかく森林の整備と再生のため施策に、長期的な視点にたつて、今すべきことを地道に展開すべき。近隣の山々を見るに、竹に大部おおわれてしまっている。 身近な里山や竹林の刈り払いなどの整備を早急にしてほしい。次世代を担う子供達を対象にした森林環境教育をすすめるべき。
下仁田町	男性	60代	町所有の森林が畑や町道の近くにある。このため畑には日光があまり照らさない。 冬場に積もった雪は溶けずこまっている。町所有の山の木を切るお金などに使ってもらいたい。このことは可能なのだろうか。

◆ 森林ボランティア活動

高崎市	女性	60代	自然を大切に思うボランティアの育成が必要です。次世代を教育の中で、人間の自然に対する心がまえを学ぶ事が大切に思います。
吉岡町	男性	80代	植樹祭は小学生のころ学校でしたが森林ボランティア活動は知りませんでした。 機会があれば参加したいと思います。年齢的に無理かもわかりませんが
桐生市	男性	60代	森林整備のボランティアの中に、各公園の整備(ごみ等も)を含めてもらいたい。

◆ 野生動物

桐生市	女性	70代	76才女性です。朝5時～6時まで歩いています。健康維持のためにたくさんの方が渡良瀬川の堤防の上を歩いています。シカ、イノシシを時々見受け怖い思いをしています。 県民の健康維持と医療費削減のためにも御一考願いたいと思います。
高崎市	男性	70代	猪が増え登山道が荒れている山も多くあり、また鹿が増え山林が育たない場所も見かける。食害を減らすことが第一です。 林道を走行中、突然右のけがから大鹿がボンネットすれすれに走ってきて衝突寸前でした。友人は鹿とぶつかり修理代が大変だったそうですが、鹿が増えすぎていると思います。 町では新築の建て売り住宅や一般の住宅作りで今の若者は木を一本も植えません。その分山に植林してください。
館林市	男性	60代	イノシシ等の農作物への被害軽減対策に使っていただきたい。
太田市	女性	70代	太田市(金山)は整備されている方かなと思うものの、近年イノシシが出ることで金山へ行くのもちよっとこわい?安心して自然を楽しみ、山歩きがしたい(勝手な願望)。 自然豊かな山々の整備により、木不足など生活が守られることに感謝です!
嬭恋村	男性	70代	各町村の獣害駆除対策に活用すべきだ。
昭和村	男性	70代	カモシカ、日本ジカ猿イノシシ等の害ある動物は保護すべきではない。絶滅しても私達の生活を守れ!
太田市	女性	50代	草津方面に行く国道で野生ジカによる渋滞に巻き込まれました。その後シカは山へ逃げ車は流れるようになりました。(お尻が白かったのでシカと判断しました)事故にはなりませんでしたが。 まれな事ですが野生動物と山・森林の活用が共存できるような対策があればいいと勝手ながら思いました。 だからと言って具体案は無いのですが…
下仁田町	女性	50代	子供が花粉症で年々重症化し苦しんでいます。 シカやいのしが度々道上に出てくるため、車と衝突して車が大破した話もしょっちゅう耳にします。いつ自分や家族の身の上で起こるかも恐怖です。 スギの木を伐採し、それを材木やチップなどに加工して使用し、他の木を植樹してほしいと思っています。
太田市	女性	70代	最近いのししの被害が多発しています。明るい時でも民家の近くに出没しています。 民家の近くにある竹やぶやいのしが隠れやすい場所の整備に力を入れてほしいです。
渋川市	女性	50代	森林に住む動植物の保護活動。
富岡市	女性	60代	スギやヒノキ等の植林だけでなく、イノシシやシカ、サル等野生動物のえさとなる実や食物になる木を植え、里に下りてこないようにする。(食べ物がないから里に来て畑の作物を食べたり柿の木の実を取るのだと思う)。 森林の持ち主がわからず、場所の区切り・境界など早い対策が必要。国外の人を買われないよう。

藤岡市	女性	50代	動・植物の保護
富岡市	女性	40代	動物が住宅地近くに来てしまっているの、山に実なる木を植えてほしい。
沼田市	女性	70代	動物など農業の人々の生活の為に様の中の方に動物たちの食料などの木などを植えたりすると良い。 柵などを作っても役にたたないし、食べ物が無いので動物たちは里におりてくるので、山の中で食料を確保する所ができれば里には下りてこないと思う。
桐生市	男性	70代	野生獣は殺処分！毒殺でもOK

◆ 林業従事者対策

上野村	女性	60代	上野村在住ですが、村外に転出して、空き家が多くなってるので、森林組合の方の事業はとても大きな力になっています(1ターンの方の割合が、森林組合だけで70%くらいいらっしゃいます。)
みどり市	女性	30代	林業者の就業補助などマンパワーを増やす取組
桐生市	男性	50代	林業従事者へのサポート
富岡市	男性	40代	林業に従事する人材を継続して確保していく取組
玉村町	男性	60代	若者が林業に魅力を感じる労働環境の整備

◆ その他

太田市	男性	70代	1群馬県単独でやる事業でない。 2国及都道府県の協業のもとでやるとよい。 3邦人が海外へ行く出国税及外国人(外人の観光者)日本から出国税が検討されている 4使い道(国が検討している) ①観光地の整備、保全②台風や梅雨時、自然災害及び防止する案が検討されている(所得税かな
中之条町	女性	60代	県道沿いの手入れが、郡市町によってバラつきがある。この県民税がどのように希望に応じて決定されるのかわかりません。
太田市	男性	30代	今現在どのように使われているかの見える化
桐生市	男性	60代	ケボニー化技術導入のための研究プロジェクト及びプラント建設
桐生市	女性	60代	現在バイオテクノロジーなどの発展は凄まじいと思います。緑化の前の段階の自然形態を崩さないような研究にも取り組んでもいいのでは。 花粉症などの対策(花粉の出ない木)・枝の伐採不要な木・早く成長して資源になる木等。
高崎市	男性	70代	国土調査による境界の確定。 航空写真による目視がどこでも見られるようにする。 登山道の整備(山と親しむ、山を理解する、観光客誘致)。 山火事防止(登山客への周知、防火帯整備)。
藤岡市	女性	70代	国民年金だけで生活している老人が多くおります。よく考えて他方の予算から出してほしいです。
富岡市	男性	70代	ここまで来ては打つ手なし すなわち人手なし 私の庭50坪程に5?の巨峰ピーナーが植ってます。秋になると500房程友人知人に配ってます。ここ5年程でいろんな人と知りあい親しくなりいくつかの趣味も増えて人生が変わりました。ブドウの堆肥は近くの公園のさくらの葉っぱです。おそうじのお手伝の帰りにゴミの少ない袋を選んで持ち帰ります。コヌカを混ぜて半年、根から離して約1トン公園にも場所を選んで臭くないよう堆肥を作り土壌改良をし、草花の肥料は一切買いません。一度見に来て下さい。ブドウの苗も自分の家の取枝を二本植えました。三年目今年は幾房か期待しています。 太田フラワーパークの藤も今年は咲きます。近くのお寺の大いちょうの実生も1m程になっております。寒ズイセンが終りラッパスイセンクリスマスローズ穴を掘って堆肥を入れるすき間がありません。三年がかりで増えたグラジオラス150本レンガの縁にすき間なく春の雨に芽を出すのがたのしみです。これみんな桜の木のおかげ。県道拡中で公園は半分の広さになりました。花は咲くけど葉は落ちず、もう葉っぱも集まらぬ。桜の木は三分の一に
高崎市	男性	60代	所有者に対して税額を増す。
(未回答)	女性	50代	森林所有者が行うべき取り組みや、ボランティア(無償が基本と考えます)に税金を使われるのはおかしいと思います。問3の7、問5の6、7のように市町村関係者が仕事にたずさわってそこに税金を使うのが良いと思います。問3(1、2、4、5)問5(1、2、3、4、5)の内容は大切なものと思いますが。
前橋市	女性	50代	森林や材木等の放射線量の計測と定期的に発表、周知、安全確認と対策。
藤岡市	女性	70代	税金の無駄遣いにならないよう気をつけていただきたい。
昭和村	女性	70代	前提として「ぐんま〜税」は廃止して「問6」に記したような県税の使い方にして下さい。
太田市	女性	70代	緑は大切です。がんばって下さい。
渋川市	男性	60代	もう少し県民に分かる様にアピールするべきです！山は大切な資源だと思っています。頑張ってみんなで理解する活動を希望します。
安中市	女性	50代	よく判らないのに記載して申し訳ありませんが、 ◎山の斜面や畑をつぶして太陽光パネルを設置して温暖化対策。とか ◎昔はそんなに花粉症などとこれほどひどくなかったのにそれが単にスギやひのきのせいとされている事。木造建築が少なくつく率が少ないからなのか…。 ◎桐生市の川沿いのこいのしが出た人をおそったとのニュース。山に食べ物が少なくなったからなのか…。 何がというか全体的なバランスが必要なのかと思います。

2) 問6 「ぐんま緑の県民税」に関するご意見について

問6については、自由意見の記述回答とした。
 回答があった主な意見により下記の6種類に分類した。
 それぞれの件数については、
 財源について 37 件、事業推進 41 件、事業の方針について 42 件、使途について 46 件、
 普及・啓発について 31 件、その他意見 11 件、計 208 件の回答があった。

◆ 財源について

昭和村	女性	70代	<p>「問2」で4に○を付けたように「ぐんま～税」について全く知りませんでした。同時に「『ぐんま～税』アンケート～お願い』で私や家族から年額700円が特別税として徴収されていたことを知り、強い憤りを感じます。</p> <p>県有林だけでなく民有林も適切に維持管理することは県税の任務と考えます。よって「問3」の目標に県は本気で取り組んで欲しいです。けれど財源として県民特別税をとるなどもつてのほかです。</p> <p>財源は不要不急なコンベンション(高崎競馬場跡地)や水は足りていて災害対策にならないハッ場ダムなどの税金浪費大型事業を中止して充当すべきです。</p> <p>一部の建設業者や知事などが潤う税金の使い方ではなく現在と将来の県民にとって大切なことに投資すべきです。</p> <p>この文を書いている時安倍首相に付度していた佐川国税庁長官が辞任しました。群馬県知事をはじめとして県職員の皆さんが「初心を忘れず」県民のためになる税金の使い方をして欲しいと切望しています。</p>
藤岡市	女性	20代	<p>ぐんま緑の県民税というものがあることを知らなかった。なんでも税金から取っているが(森林を保持・整備することは大切だけれど)年額700円は高すぎだと思います。</p> <p>ほとんどの人たちがこの税金を納めていることを知らないと思う。ちゃんと理解した上で払うのならいいと思いますが…。今のだと、勝手に納めさせられているといった感があります。(森林を守ることはとても大切なのはわかっています。)</p>
渋川市	女性	50代	<p>県議の数や県職員の中で病氣と偽り休職し、ボーナス算定期間になると一時的に回復する人の人件費を削減し「緑の県民税」にあててはいかがでしょうか？</p>
前橋市	女性	70代	<p>県税の範囲で緑の森林に利用すればよいと思います。ぐんま緑の県民税を別に取るのはよくわからない。</p>
高崎市	女性	50代	<p>このアンケートがくるまで「ぐんま緑の県民税」を知りませんでした。未来のことを考えると必要な活動ですが、ずーっと税金のみではなく運営していけたらいいですね。</p>
太田市	女性	40代	<p>このような取組を行っていること自体、アンケートがくるまで知りませんでした。</p> <p>林業が成り立っていない現状では行政で整備など行うのは必要不可欠なことだと思います。</p> <p>また、外国の資本による水源の森林買収はとても心配です。</p> <p>ふるさと納税なども財源を確保してしっかりやらなくてはならない取組だと思います。</p>
榛東村	女性	60代	<p>今回のアンケートをいただき「ぐんま緑の県民税」のことを知りました。</p> <p>森林の働きが続けられるようであれば良いですが、森林の取り組みができないようであれば税金で運営して下さい。</p>
桐生市	女性	60代	<p>実際「ぐんま緑の県民税」について全然知りませんでした。</p> <p>配布されたものに目を通すのは広報(桐生)と公民館だより、水害避難くらいでした(身近な事ばかり)。</p> <p>県のものについては、ほとんど目を通さずいました。なので、1人700円が住民税に含まれていたのも知りませんでした。</p> <p>ここ数年水害の被害が隣県で起きています。私も毎年水害避難の講義を群大の先生より受けています。やはり「山」を守るのは大切だと感じました。</p> <p>山に木々がなければ災害も大きくなるでしょう。水源を守ることも大切。</p> <p>「ぐんま緑の県民税」は必要と感じました。ただ、金額についてはどこから700円の数字が出たのか…。1年で700円は決して多くはありませんが、500円(ワンコイン)でもいいのではないのでしょうか？そして長く続けることに意味があると思います。</p>
太田市	女性	60代	<p>森林が有る人税から先届けするておかしいです。交代制で県民税とたほうがいいと思います くる人とかない人がおかしいと思います。</p>
渋川市	女性	40代	<p>森林整備は重要であることの理解はできるので、目的税として徴収されることはよいと思います。ただ、県民税という形でのいいのかが疑問を感じるところです。森林の恩恵は下流都県も受けていることでもあるので。</p>
前橋市	女性	70代	<p>税として強制的に取るというのはいかがなものかと。森林県であるというのは承知しているが寄附とかいう任意の方が良いと思う。納税者だからと行っても年金暮らしには気分的に良くない(たとえ少額でも)。</p>
藤岡市	女性	50代	<p>大切な財源を無駄なく使っていただきたいと思います。</p>
みどり市	女性	60代	<p>都市住民からの水源森林保全に対する税負担を求める制度を検討すべきではないか。</p> <p>一極集中による地方(特に山村地域)の過疎・高齢化から森林の担い手不足のため森林の荒廃が急速に進んでいる。林業の担い手育成の為の制度にもっと力を入れるべきではないか。</p>

みどり市	女性	60代	どんな税金でも使う道がしっかりしていればおしくありません！！
桐生市	女性	70代	若い時からきちんと税をおさめてきました者には、税金は正しく使ってほしい。又、この時代、民間人は生活がきびしく生きて行くにも大変でございます。それでも規則で定められた通りにし、美しくきれいな県であり市であり町でありをのぞみ、有効に税を活かして下さい。大変ご苦労様です。
太田市	女性	40代	私はこのアンケートで「ぐんま緑の県民税」を知りました。職場の方々へ伺ったところ、皆知っていませんでした。 このような大切な取組を行なっていることをもっと広めた方がいいと感じました。そして700円/年の徴収が妥当なのかどうか検討した方が良くと思います。 大切な緑を守るためにも、是非お願いしたいと思います。
太田市	男性	60代	「ぐんま緑の県民税」700円→1000円 OKです。人手の入った山は美しいことを県民に知らせてほしいです。
渋川市	男性	60代	700円は高いと思います。300円が妥当と思われます。
長野原町	男性	40代	均等割で徴収していることへの疑問
渋川市	男性	60代	群馬県は税金の使い方が下手ですね。県の予算割りをしっかり考えてほしいですね。住民にばかりに押しつけるのはいいか？なものか。公務員やそのOBのための政治はもう止めて！
前橋市	男性	70代	自然を大事にし動植物を大切にしていって下さい。高齢者なので若い人を育てて行ってほしいです。そのためには税金が少し増してもいいのではないかと。
沼田市	男性	70代	森林の効果は、都市部に住む人も享受していることから、県民税だけでなく広く都道府県の人たちにも負担してもらえよう、国に働きかけることが必要である。
太田市	男性	50代	森林を維持する必要性は理解するが、それは他の事業(道路整備 etc)も同じはず。(全ての事業に個別の税を設けるのはおかしいという事)
玉村町	男性	80代	税が高い
桐生市	男性	60代	税金が不足し、まかなえなくなると新しい税金を作り国民から吸い上げる今のやり方が気に入らない。所得税、消費税、ガソリン税、酒税、たばこ税、入場税、市民税、県民税、重量税、国民保険税、入浴税、軽自動車税、固定資産税、その他。これだけ多くの税金をかけておき説明は最初だけで続けているうちに訳のわからない使い方をされている。(年金問題(NHK 問題)他。 いつの間にか、何人かの方が国民の金を自分の金のように使いこんでいる。いやになるね!
桐生市	男性	50代	大切なお金ですから、正しく使ってほしい
藤岡市	男性	60代	通常国税、県税の中から割当てて、必要な事を実施する。森林を所有している人は責任を持って管理する。
太田市	男性	70代	問5の意見と同じ
前橋市	男性	70代	道路沿線の森林整備は、所有者がいる場合は所有者にやらせるべきである。多少の補助金は出してもいい。 水源涵養の働きをもって上流県として下流県に働きかけ、負担金を取るべきであった。群馬県だけで事業を実施するのは納得できない。なお、水源涵養事業として国は18年度税制改正市町村民税として平成31年度から全国すべての都道府県で課税する方針である。この法律の成立を願っている。上流県のみで県民税として課税することには反対である。 国は、市町村で事業を実施することを想定している。事業の実施は森林組合が中心になって実施するのがよろしいと思います。
伊勢崎市	男性	70代	特定な事業を目的として期間を限って創設導入された税は、その期間が満了しても当然のように継続されるのが常のようになっていますが、歳出の円高(特に管政費)や事業目的に応じた納税者の範囲を県民及び事業所でもっと広域的に良いのかどうか現行の税額より低くならないか精査検討してもらいたい。
太田市	男性	40代	どんどん税金ばかり高くなるし、何に使用しているのか分からないことにお金を払うのは本当に嫌です。 税金を使う人たちの気持ち、自分のお金のように使ったり他人のお金だから・・・とあまり考えずに使ってもらっては困ります。 ・収入源をもっと増やしてほしい。 ・花粉をたくさん出す木を減らし、動物のために実なる木や花粉を出さない杉などに替えたらどうですか？
渋川市	男性	40代	なにについても“税”って名前つけて徴収する行政に対していいか？なものか？ 県民の負担を考えず、勝手に決まる“税”ってどうなの？
藤岡市	男性	60代	年金生活の自分には厳しいものです。毎日を切り詰めての生活をしていますのでわかってほしいです。
富岡市	男性	50代	民有林に対する税金投入には反対。放置民有林や外国資本による森林の買収が問題であるならば県や市町村による買収が望ましいと考える。 森林資源を有効活用し、税金投入せずに森林で生んだ資金で森林を維持出来る方法を見出して持続可能な林政を強く望みます。
みなかみ町	男性	70代	無駄に使わないように。

伊勢崎市	男性	60代	目的ごとに税を増やしていったら、税だらけになってしまう。所得税、住民税を基本とすべき。
前橋市	男性	40代	より県内企業はもとより、下流域の企業からも寄附が集まるしくみを考えてほしいと思う。企業側から広告効果のある寄附制度があればよいのではないかとと思う。

◆ 事業推進

高崎市	女性	60代	「ぐんま緑の県民税」という税は忘れられた山々の実情を知るチャンスと取りました。自然を大切に自然の恵みを知り人が生きるために必要な自然の再生を今しなければ間に合わないと思っています。未来の人々のために、今しっかり皆さんで考える事ができると思います。ぐんま緑の県民税により行動する資金ができます。恵みを頂いた山々の自然に恩返しできるようボランティアとガンバリたいと思います。
沼田市	女性	30代	「ぐんま緑の県民税」という名称、税額、使い道など全く知らなかった。今回のアンケートをきっかけに知ることができた。周りの知人にも聞いてみたが知っている人はいなかった。この取組をみんなが知ればH31以降も県民税継続につながると思う。個人的に森林保護や整備の活動をするのは難しいが、県民税から支払うことで協力できるのはうれしい。
富岡市	女性	30代	「ぐんま緑の県民税」を継続していただき、多くの恵みをもたらしてくれる森林の保護につなげていていただきたいです。私は環境問題を意識して日々できる事(エコ活動)を実践していきます。このアンケートの結果が、群馬の自然保護につながることを期待しています。ありがとうございました。
みなかみ町	女性	20代	「緑の県民税」がある事を、家族を含め、知りませんでした。このような取組は、森林の面積が広い群馬県ではいい事だと思いますが、県民から徴収した税金、適切に使っていただければと思います。
榛東村	女性	70代	良い取り組みとは思いますが、年金暮らしですので先のことは考えられません。
昭和村	女性	50代	家の裏にスギ林があるのですが、その間から竹林の様になっていて、あまり間伐されていなかったもので、朝の日の当たる時間がとても遅くて日照時間がとても少ない様な気がしていたのですが、ここ2～3年くらいの間、1年に1度くらいの間伐がされてとても朝早くから部屋に日が当たる様になり、これもとてもうれしく思っている所です。道路側の竹林が雪が降るととても道路にせり出ている所が何カ所かあるのでそれを整備してもらえれば良いと思っております。これからも整備等をして頂ければと思います。
前橋市	女性	30代	群馬県のよりよい未来の為に必要な取組だと思いました。
渋川市	女性	20代	ぐんま緑の県民税というものがあるのを初めて知りました。はっきりいうと、何に使われているかよくわかりません。ただ、コンクリートが多い今、木があるとホッとします。森林、木の物が増えるとうれしいです。
藤岡市	女性	80代	ぐんま緑の県民税について、アンケートに記載されている全ての事業は、必要であると思いました。近年、天災による甚大な災害が多く発生しておりますので、森林により生活環境を守り、地域の安全・安心の取り組みにご尽力いただきますこと、感謝いたします。
太田市	女性	60代	ぐんま緑の県民税はよくわかりませんが、森林がなくなると大変ですので整備をする事しかないので県民税をお願いします。
中之条町	女性	60代	ご苦勞様です。ぐんま緑の県民税はパンフレットを見てもとても大切と思い、継続しての取り組みをお願いします。税ですから、しっかりした使い道をおねがいいたします。
太田市	女性	40代	このようなアンケートが来たのは初めてでした。森林事業は長い年月がかかり大変ですね。ですが、将来のことを考えると大事なことです。少しでもお役に立てれば良いと考えます。
東吾妻町	女性	30代	今回このアンケートを通して「ぐんま緑の県民税」について知る事ができました。森林について考える機会を与えて頂きありがとうございます。
吉岡町	女性	60代	今後も群馬の森林を守り、活動してほしいと思います。
館林市	女性	20代	自身ではなかなか緑化活動等に参加できないので、税金で活用されるのは良いことだと思います。活動が続いていくよう願っています。
みどり市	女性	60代	実家で森林を所有していますが個人の力だけでは整備等難しいのが現状です。ぜひ税金を活用して荒れた森林による災害を防止したり、景観を守ったり、動植物の保護等に有益に使ってほしいと思います。
高崎市	女性	70代	森林を守るのは大変なことと思いますが、影ながら応援しています。大企業だけに税金も多少かかると思います。
館林市	女性	40代	地球温暖化防止に貢献される働きなど、とても大事な取組だと思われます。今回のアンケートで、このような活動がなされていることを知りました。皆様、お世話様です。これからも、よろしく願います。
みどり市	女性	50代	地球規模の温暖化を群馬県ならではの視点で食い止めることができると良いですね。環境問題にも税金を上手く使ってもらいたいです。未来のために、頑張ってください。
安中市	女性	70代	よりいっそうの森林・里山・竹林の整備に有効に使ってもらいたい。

神流町	女性	60代	私達が納めていた住民税の中に”ぐんま緑の県民税”としてわずか700ですが含まれていて、その財源を基金として積立していろいろに使われていた事をこのアンケートにより初めて知りました。平成30年度で最終年度ということですが事業が途中半ばという事と考えられます。私は”ぐんま緑の県民税”を続けて行ない災害を防止して安心して暮らせるよう森林里山作りをしてくれることを望みます。
藤岡市	女性	60代	私としては、群馬県の大切な財産、美しい自然の緑を守るために様々な対策がこれからも継続していくことができるように、ぜひ「ぐんま緑の県民税」を今後も徴収し、森林等の自然の維持管理に使用していただきたいです。よろしくお願ひします。
沼田市	女性	30代	私の娘は現在5さいです。普段は普通の幼稚園に行っていますが、たまに「森のようちえん」に行っています。片品村の方がやってくれています。森で一日過ごし、自然とふれあう機会を作ってくれているので参加させています。 沼田市に住んでいても自然にふれる機会は少ないです。森や山の方に私達も連れていくことも少ないため、教育の場として、もっともっと気軽に参加できるような場がほしいです。群馬県の特徴を活かしてほしいです。色々やっているとは思いますが…。失礼しました。 沼田市はくまの出没が多いです。こわいですが、くまかわいそうです。シカの食害への柵があるなら、少しでもくまが足をふみ入れないような対策を作ってもらえるのは可能ですか。住民の理解やくまにはムダかもしれませんが、何の勉強もせずだらだらと記入してしまひすみません。 緑のために応援しています。あと、住民税に含まれていることは職場の人も知りませんでした。
藤岡市	女性	40代	私は埼玉北部の出身ですが、小さい頃から群馬の山々を見て育ってきました。世界では森林伐採による環境破壊が進んでいるなどとテレビ等で見かけますが、とても悲しいことだと思います。人類が生活していく上で木は大切だと思います。 人々に緑が安らぎを与え、四季折々の表情を見せてくれる。そんな自然が私は大好きです。いつまでもこれらを守る努力はするべきですので緑の県民税を有効に使って素晴らしい自然を守ってください。
桐生市	男性	60代	「ぐんま緑の県民税」と聞いて正直全くわかりませんでした。そして「群馬県らしいな」「群馬県ならではの取り組みだ」と思います。そして広い意味では上流の川と深い森林を持つ我が県は、その川と森を守りできる限り災害を食い止め、下流に住む方々へ水を供給してあげることが大切だと思います。
嬬恋村	男性	40代	今までこのようなことは全く知りませんでした。 山が荒れているのは気になっていました。ぜひ今後とも頑張って続けて下さい。
渋川市	男性	30代	群馬県に限らず世界中の自然が大幅に減っている今現在、どうか人間の知恵と力で改善していけたらいいと思います。 少しでも改善に向かうことが可能なのであれば「ぐんま緑の県民税」は私は賛成です。明確になるものもなくいろいろな資源として利用する目的だけならば反対です。
伊勢崎市	男性	40代	ぐんま緑の県民税のことを、今回アンケート調査が届いたことで知りました。将来過疎化、高齢化がさらに進むと思われる中で、非常に良い取組だと思います。事業内容の経緯、現状、課題を広く県民に知ってもらい、森林は日々成長するものですから途切れず事業を継続してもらいたいです。
伊勢崎市	男性	50代	ぐんま緑の県民税を知りました。最近道路沿線に間引きた材木が積んであります。あつこれなんだな？と始めて知りました。
館林市	男性	70代	継続して「ぐんま緑の県民税」の導入に賛成したい。 ボランティア活動への援助や事業の展開、研修等の機会が大切であると考えます。 将来を担う子供たちへの緑化に対する学習機会もさらに増やすべきであるし、重点的に取り組む方法も考えるべきではないでしょうか。 税の導入にも、緑化の大切さにも行政のリードなしには進まないと考えます。次に県民の意識変化、行動へと結びつくものと考えてます。
板倉町	男性	60代	今後も「ぐんま緑の県民税」を導入していただきたいと思ひます。
高崎市	男性	70代	最近山間部の森林が手つかずで、放置されている感じがいたします。 林業の大切さを学ぶ機会を増やすため、林業者の技術習得や研修、青少年を対象とした森林教育を継続して取組んでいただきたい。 また企業等への森林整備協力ボランティアの活動も推進していく必要があります。地域、場所を指定して取組んだらと考えます。そのためには市の広報への協力を呼びかけ掲載もしていくようお願い致します。したがって「ぐんま緑の県民税」は継続すべきと考えます。
長野原町	男性	60代	森林の働きは私たちの生活の安全で安心な暮らしに欠かせないものでありますので継続して事業が実施できますようよろしくお願ひ致します。 個人で山林の整備をしようとしても木材の価格が安く手入れをすることが出来ません。
藤岡市	男性	40代	税金が有効に使えるようがんばって下さい。
沼田市	男性	70代	税のことは知りませんでした。認識不足でした。数年前から手入れ不足の杉林が下刈りされているのを見て、採算がとれるのか？と心配していましたが、綺麗になり通るのが楽しみでした。 パンフレットで「竹林整備」の写真を見て、そういうことを実施した税で道路の視界が良くなり助かっています。今後も継続して事業を行なって下さい。お願ひします。
太田市	男性	70代	積極的に取り組んでほしい。
富岡市	男性	40代	大事な事業だと思います。このような取組を長く継続できるようお願ひします。
みなかみ町	男性	50代	なかなか手の入らない民有林を税金でバックアップして整備を進めてください。

館林市	男性	70代	年金生活と若干の「あん摩マッサージ指圧師」の業務で生活しております。その中で、「市民税・県民税」の支払は厳しいですが、地球環境改善の一環として県民税をお支払いすることには何の抵抗もございません。協力を続けていきたいと思っております。 なお、「ぐんま緑の県民税」導入から平成30年度が最終年度のこと。短すぎて、「目指すべき目標」の成果は？継続することが必要と考えます。群馬県林政課の皆様頑張って下さい。以上
高山村	男性	20代	引き続き事業の継続を願います。大切な森林資源を守って行って下さい。
邑楽町	男性	60代	私達の大事な地球を未来に残すため、是非頑張って下さい。この事業に期待します。

◆ 事業の方針について

富岡市	女性	50代	「ぐんま緑の県民税」ははずかしながら、初めてきました。 たしかに、これだけスギ花粉がふえていて、山林の整備には県も国も力を入れてもらいたいところですが、そこも税金というのとも考えるとことと思います。でも山林の整備にはお金がかかるのもっと県民にこの税を納得させ広めることが必要だと思っております。 花粉症はどんどんひどくなっています。どうかして下さい。おねがいします。
桐生市	女性	60代	県の対応が遅すぎると思っています。 私たちの幼少の頃よりスギ花粉で苦しんでいる人々がたくさんいました。もっと早くに気づいて対応してほしい！ どのくらいの期間でスギ花粉の量が減っているかを目に見えらるかたちで県民に知らせてほしい！
藤岡市	女性	30代	重度の花粉症なので、この「ぐんま緑の県民税」を継続するのであれば早急にスギの植替えをして欲しい。
安中市	女性	50代	スギ花粉撲滅をお願いします。
渋川市	女性	10代	杉は土砂災害を防ぐには不向きだと聞いたことがあるのですが、実際はどうなのでしょう。 群馬県は花粉症患者が最も多い県でもあるので、スギの有効性について検討してほしいです。
渋川市	女性	50代	スギを花粉の飛ばないのに植替えしてほしいです。 森林はともかく気持ちのよいことなので、伐採はしてほしいです。
沼田市	女性	70代	緑があること、大変良いことです。 私の住んでいる所は山が杉林です。花粉がとびます。
前橋市	男性	50代	花粉症の方が増加する一方で杉の木の植替えは重要です。
甘楽町	男性	60代	花粉対策のために使ってもらいたい。
藤岡市	男性	20代	群馬県は花粉症に悩んでいる人が多い県なので、県をあげて取り組んでいただきたいと思っております。
中之条町	男性	40代	杉花粉症対策不足
富岡市	男性	30代	スギ花粉の害は群馬だけでなく全国、特に関東全体に影響するので、スギの植え替えを是非お願いします。
前橋市	男性	40代	緑を大切にすることは重要であるが超過課税として徴収せず県民税の中で予算化してほしい。 31年度以降もこの税を継続するのであれば、花粉症発生源のスギの植替えをしてほしい。先日新聞で群馬県は花粉症状のある人が多いとの記事がありました。
桐生市	-	-	緑もいいですが身近な里山には木の実がなる木が沢山昔はありましたが、杉や松、竹林ばかりでなく、今は所有者の方々がソーラー発電などで伐採し野生動物が町中に出没することも多くなりました。木の実のなる木もあつたらな～と思っています。 散歩道の堤防はイノシシが荒らした穴が沢山あります。これから夏に向け、夜の散歩者に事故のないことを祈ります。
前橋市	女性	40代	拝啓 時下 建設の山林地への進出を著しく感じられる近年ですが、山林地の面積確保等維持に御課が当たられる事に感謝申し上げます。 「ぐんま緑の県民税」を県税としての名称にと、漠然とした理解に留まるなか、返信をさせていただきました。 公共施設などの緑化に、と返答させていただきました設問に、水源施設周辺、及び水源水の通過経路区域の環境に緑化を十全保たれ、安全・安定の飲用水等が供給されますことに期待させていただきます。 環境汚染対策の各分野との共有は、他事より偏向をも優先認められるような現状にあり、継続されるべき安心飲用の水源保有は市民生活へ必要にあると考えられるでしょう。 評価額が山林面積を基準に算定されておりますことから、面積確保の重要性に考えが及びます時、恥ずかしながら、買収の現状、林業による生産の実態を知らないと感じます。里山を所有されています地域の苦慮を知りながらも対応については、存じ上げない方々が常に多勢いるのではないのでしょうか。そのようなことも推測されては如何でしょうか。ボランティアを導入しての貢献に、山間地買収の過多・拡大等へ対策、阻止されています事を憶測さささせていただきます、参加者様へ、感謝の絶えない思いです。 区画等の所有に緑化の観点からの審査を加えた地域住民の要望とも融和的に併有せられ整備されますことを山間林地の理想とさせていただきます、再生自然を題に、県内在住の生活者として山林地の安全保有に関心があるのは私だけに限らず、又、貢献に誇る参加、林業請け希望も多くあり喜ばれてあることと思案します。 高度な知識が緑化労働技術の継承へ充分適い賜るよう期待します。僭越ですが、記入させていただきました。参照資料を拝読でき、紹介していただきました機会に感謝申し上げます。

甘楽町	女性	60代	<p>みどりの群馬をめざし、今後の取組に期待します。木を見て森を見ずという言葉があります。木や森林を身近に感じられ、それらを大切に。つまり、自然を大切に。自然の中にある我々。自然あつての我々の存在について未来を開いていく子供達に気づかせ、その保全のためにどうしたらよいか考えさせ、身近から実行させる。そんな教育プログラムや実践がすすめられるとよいですね。今を育てるとともに。是非未来への投資も考え、実践してってください。</p>
沼田市	男性	50代	<p>納税者の理解を得るためには「目に見えること」「実感できること」を優先して取り組むべきかと思いません。</p>
町村無回答)	-	-	<p>あまり内容を知らなかったが、森林を守り、維持するのに必要なものであれば続けるべきだと思います。林業の担い手の件など、ニュースで気になっていたの、今後自分にも何か関わることはないか考えてみたいと思います。</p>
藤岡市	女性	20代	<p>危なくないように整備してほしい。見た目もきれいに整備してほしい。</p>
藤岡市	女性	40代	<p>森林をむやみに切らず必要か！必要でないか！考え緑の多いぐんま県でありたい！！</p>
高崎市	女性	60代	<p>大変なとくみだと思います。この税により多くの山々が助かることを切に願います。又、いくつかの参加システムを作り、有料ボランティア制度を作り、無料ボランティアに頼らずに行動力を上げる事が先を明るくするのではないのでしょうか。</p>
沼田市	女性	40代	<p>竹林整備の補助金の内容を抜本的に変えてもらいたい。 今の条件では団体を作らないといけない。5年間は管理していかないと、一部の狡猾な人達にしか使えない制度である。 山林の維持管理に困っている人は県の担当の方が想像する以上にたくさんいます。 その人達の意見を聞くことをしていただきたい。 安易にボランティアにお金を渡したり、木の製品を作らせたりするよりも、まずは山林の荒廃を食い止めることを第一に考えていただきたい。</p>
中之条町	男性	60代	<p>杉花粉症対策としての杉伐さいを進め、葉木など、今後利用が期待できそうな広葉樹を中心に栽植してほしい。</p>
渋川市	男性	50代	<p>すぎを切つてならの木を植えてほしい。</p>
高崎市	男性	70代	<p>戦後のキャサリン台風で群馬も被害を受けましたが、子供の時の山にはハゲ山があちこちに見られました。榛名山もそうでした。戦時中、燃料は薪でしたから、山には保水力がなく台風がくると大水がでたわけです。山に植林して下さい。金を投入して下さい。</p>
太田市	女性	60代	<p>自然災害が多くなっている昨今、災害を軽減させるためにもこの取組が必要です。</p>
玉村町	女性	50代	<p>自然と動物と人間がうまく共存でき、楽しめる環境になると良いです。</p>
渋川市	女性	60代	<p>日本の土地は日本人に守ってほしい。北海道の様に他国の人が土地を買いあさらないように。美しい森林を群馬県人(日本人)守ってほしい。</p>
太田市	女性	50代	<p>身近なことですが、私が住んでいる所は住宅地ですが昨年タヌキがいます。今年(最近)は山だけでなく住宅地にある畑等にも食べるものがないらしく、やせているタヌキを見かけました。エサを置いておくわけにもいかず…。野生の動物が山で暮らせるための整備は必要だと思います。タヌキがあまりにもやせて…。 高速道路ができて便利になりますが、山を追われている野生動物がいることに心が痛みます。 森林に対し、またその税金に対してこうして！という対策案はないのですが、小動物を守るようなことに何%か使してほしいと思います。個人的な身近すぎる意見ですみません。 四季折々、きれいな自然を味わえることを、豊かに暮らせることを望んでいます。よろしく願います。</p>
富岡市	男性	70代	<p>現在日本には価格の関係から国内の林木より海外からの林木の輸入が多いと聞いておりますが、国内に植林されたスギやヒノキを間伐、伐採すれば需要量に対して充分であるとも聞いております。 植林された森林の手入れ等に「ぐんま緑の県民税」を充分に使用していただき、花粉症対策や災害防止対策に取り組んでいただきたいと思ひます。</p>
富岡市	男性	80代	<p>県内の山1山をサクラの山に10年後には群馬のサクラ山にしたいです</p>
草津町	男性	40代	<p>個人的な趣味で風景写真を撮影しています。 自然風景でもある程度は森林が整備されていたほうが写真の作品になります。 峠などの眺めの良い場所では道路際の木を整備し見晴台のようなスペースを増やしていただくと、観光や写真愛好家など有効活用できると思ひます。 河川と森林周辺の遊歩道整備をし散策コースが増えると、森林自然に親しむ人が増えると思ひます。</p>
下仁田町	男性	60代	<p>自伐で原木を調達している椎茸生産者であります。作業道造成に何らかの支援があれば。</p>
東吾妻町	男性	40代	<p>森林が荒廃しかつて林業を生業として生計を立てていた林家が地域を離れ過疎化が進む今、なんとか林業で生計が立てられる様に官民で協し、材を活用できるような新しい商品の開発をしてもらいたい。 建材以外の用途で流通させる必要があると思ひます。</p>
前橋市	男性	50代	<p>税金の「見える化」。県産材利用の案内板、ベンチへのトレードマークの使用をもっと増やす(木材全部に焼き印等)</p>

みなかみ町	男性	60代	森に普段入る事がないので、効果が直接は体験できないのですが、ハイキングコースの案内などパンフレットを作ってくれと良いと思います。
高崎市	男性	50代	林業従事者が増加し、生業として成り立つよう後継者育成のために多くの予算をつけてほしい。また、すぎ・ヒノキはほとんど伐採し、広葉樹(クリ・コナラ等)を植樹する事業も推進してほしい。林道など建設業者へ税金が使われないようにしないと意味がなくなる。これは従来の予算で対応してもらいたい。
桐生市	女性	70代	山村に住む人たちをシカやクマなどの害から守ってほしいです。
みなかみ町	男性	70代	熊、鹿、猪が里山に出でこない対策が必要と思います。出題されている取組は全部必要と思います。
伊勢崎市	男性	70代	最近イノシシやシカがわれらの所にも出てくるようになりました。野生動物と共存できるような森林と云うのも考えてほしい。
昭和村	男性	70代	鹿、猪、サル等農作物被害は甚大で、その対応に年々経費が多くなっている。その対策費用への助成が必要だと思います。
桐生市	男性	70代	地主にだけ利益がいくことに疑問。シカ、イノシシ、クマを殺処分して適正頭数へ。食害の数がひどすぎます。

◆ 使途について

太田市	女性	50代	アンケートを出す前にアンケートのお礼ハガキが到着するのはとても不快です。自分の意志に関係なく引かれてしまう税金。大切に有効に使っていただきたい。絶対無駄にはしてほしくないです。納税者が納得できる使用をお願いします。
伊勢崎市	女性	50代	おつかれさまです。水源森林及び山野が中国資本に多数買収されていると数年前に知人より聞きました。日本だけでなく、人にとって重要な自然を全人類的に、友好的に大切にしていきたいと思っています。よろしくをお願いします。
前橋市	女性	50代	お恥ずかしい話、ぐんま緑の県民税について全く知らずに過ごして参りました。群馬県の2/3が森林であることも。地球温暖化による自然災害が多発している昨今、緑を守る取組は当然必要であると考えます。地球規模で考えると手のつけようがありませんが、照千一隅の考えで、自分が生活している地域から実行していけば、それぞれの県・国へと広がり、地球規模も夢ではないと感じます。自然の生態系を保つ取り組みとして、ぐんま緑の県民税が有効利用されることを願っています。
みなかみ町	女性	60代	群馬県はあまりにも森林が多く、活動には限度があると思います。みなかみ町に住んでいる私にはその活動が働いているとは思えないので「ぐんま緑の県民税」が必要なのか解りません。群馬県の北部地区はどうなっているのでしょうか。
渋川市	女性	30代	健康な森を再生し、観光資源としても利用できる魅力的な森になるように、人と野生動物がきちんと離れて生活できる里山になるように、人々の生活を守る防災の役割を果たす森になるように、きちんと税金を役立ててほしいです。
伊勢崎市	女性	40代	公共施設の緑化事業も悪いとは思わないが、植える→枯れる→抜く→植えるは(例えばバンジーなど)費用や人件費がかかることなので、花の種の寄附を受けたり、植える・育てる作業はボランティアを募るなどで税金の使いすぎをしないでほしい。目先の美しさの重視より、将来の森林・木のためにお金、税金を使ってほしい。
伊勢崎市	女性	30代	自分の子供が動物や昆虫に興味があることから、最近群馬昆虫の森や里山でカブトムシの幼虫をわけてもらうイベントに出かけるようになりました。森林に足を運ぶようになり、自然の大切さや森林を人間が整備し守っていく重要性を学ぶことができました。ですが恥ずかしながら以前は森林に対し、害のある虫や動物がいたり、花粉をまき散らし人間を苦しめたりと良い印象がなく、足を運ぼうなんて思ったこともありませんでした。今回ぐんま緑の県民税を導入することで森林の恩恵についてたくさんの人が知るきっかけとなり、できれば足を運ぶきっかけとなるような企画やイベントが増えてくれるといいなと思います。
太田市	女性	30代	資料の写真にある竹林の整備は、良いことなのかよくわかりません。木を切ってしまっ景観良くなっているのでしょうか…。
渋川市	女性	40代	人口減少、過疎化などで、今まで人の手で保っていた森林もどんどん荒廃していくのは仕方のないことだと思います。自然の状態に戻していくことも視野にいれていかなければならないと思います。人手をかけることが無理な山林を公有地化することにもみどりの県民税を役立ててほしいです。
前橋市	女性	60代	森林の多い県です。継続する場合は無駄のないよう有効に活用して下さい。
東吾妻町	女性	20代	森林を生かし、観光客増になるアイデアを出し、実践してほしい。木のおもちゃはママ達にも人気なので、木のおもちゃ施設を作ったり、おしゃれな木のおもちゃ専門店やカフェなども併設されていると話題になると思う。工場見学も人気があるので、何か作れる体験があったりすると県外からも集まりそう！木で作られた小さな小屋でもいいのでいくつか作り、カフェやアクセサリ、雑貨などの小さな店舗がある一つのスポットを作ればおしゃれで地域の活性化につながりそう。東吾妻町特に観光スポットがないので何かあれば町が活気づくのですが…。
館林市	女性	60代	森林を守り水を蓄え、浄化する働きなど幅広い活動が活発になされることを期待しております。

前橋市	女性	40代	少ない収入での納税はとても大変です。税の使い道についても、全てが納得できるとは思いません。しかし「緑～」に関していえばとても大事なものだと思います。近年の自然災害の大きさ、これからの温暖化。森林が大きく力を発揮する場がたくさんあります。群馬の自然を大切に守って行って下さい。
前橋市	女性	40代	税金ということで他の会社等とは違い考えないことも多いムダ、節約等をもう一度考えた方が良いでしょう。会社などであったらムダなものはないか等、自分達の懐が痛まないものにはムダなものが多いし、気がきにくいのでちゃんと「緑の」に大事なのかよく考えていただきたい。
前橋市	女性	40代	税金を納めるなら、それなりの結果を出してほしいです。野生の動物が民家や人を危険に遭うような森林作りだと意味がないと思います。
吉岡町	女性	60代	整備された山道(舗装された場所が多い)に比べ荒れ果てた山林を見にすることが多くなってきた。何だか悲しい。再び元気な山に期待したい。
高崎市	女性	50代	前述のつづきに、なりますが住民の高齢化、減少で地域を守っていくのは本当にこれから大変です。(倉淵地区です) 通り一遍の作業でなく、本当に何が必要なのか、また少ない予算で効果的なのか考えて使っていただきたいです。市街地とちがいで、道路愛護も山林を抱えた集落を時間をかけて行なっています。そういう負担も少しでも軽くしていただいて、集落維持が少しでも長くつづけられればと思います。独居老人がどこでも増えているのですが、私の周りにはそんな老人ばかりです。
伊勢崎市	女性	40代	年間700円なので、本当に役立つような税金ならば今後も継続しても良いと思う。関係団体の懇親会等、使途無回答で使われることのないよう、しっかり管理してほしい。
伊勢崎市	女性	50代	納税されたお金がきちんと使われていたかどうか公表してほしいと思います。
桐生市	女性	60代	納付された税金は目的に合った活用を適切にしてください
沼田市	女性	70代	パルプ、チランなど無駄に使わない方がよし。
桐生市	女性	70代	山歩きをすることがありますが、そんな折森林の伐採に手が回りかねると見え、枝落しがされずになっているのを目にすることがあります。木材としての価値も下がるし、何より内部へ光が入らないのが残念です。最近山仕事をやる人が少なくなって作業が困難となっているのかと推測していました。こんな税があるのは作業を進める力となるでしょう。
みなかみ町	女性	30代	我が家では薪ストーブを使って、冬の暖をとっています。林業をする方が山間部でも減り、毎年毎年薪の確保に苦勞しています。周りの山を見れば雑木林もたくさんあり、手入れが行き届いていない様子を見ることができます。しかし、私達のような素人では伐採等できず、どうすることもできません。周りのお年寄りなどからは「好きなら切って持って行っていいよ。」と言われますが、伐採できないので断るしかありません。ストーブ利用者も増えていますが、こういった雑木等を間伐などして私達のような人に、安価で売っていただけるようになるとすごく助かります。そういった制度、しくみ便りができたらありがたいと思います。
高崎市	女性	80代	私達夫婦は山・川、特に山にあこがれて4月～10月と長い期間ハイキング・旅を年に何回と、おいしい空気を求めて歩き、登ります。伐採されたまま草の上に・・・この風景を沢山見ております。これはお役人だけのものではないと。
前橋市	男性	70代	「ぐんま緑の県民税」の年間収支(用途)は何で知り得るの？明確にしてほしい。
東吾妻町	男性	30代	・ぐんま緑の県民税を有効に使用していただき、より良い群馬県になっていったらと思います。 ・どのように使用されているのか分かりやすく明確化することで県民も納得し、継続して行なっていくと思います。 ・大変かと思いますが、群馬県のため、どうかよろしくお願い致します。
高崎市	男性	70代	① ぐんま緑の県民税を大切に使用していただきたい。 ② 県民の多くの人が意識を持ったり、活動に参加できる方法を考えてもらえればと思います。
東吾妻町	男性	60代	奥山の作業道が荒れていたりして車が入れない場所がほとんどなので作業道の整備に予算を付けて手入れをしてほしい
みなかみ町	男性	60代	お恥ずかしい話ですが、この歳になるまでこの税の存在を知りませんでした。森林は絶対必要な資源ですが、後継者不足等色々な問題があるみたいですが、継続して取り組んでいただきたいと思っています。
渋川市	男性	80代	各自自治体での共有林は管理ができず、道路・通路も無人荒廃した森林が多くなっているため、森林整備に計画をして実行していただきたい。森林整備、林業者、研修、その他育成費補助金等。
太田市	男性	60代	群馬の水が都内への最大の利根大堰の見学地の開発と、鮭遡上の見学会を県の目玉の一つにしたら群馬＝山から群馬＝自然と空と水になるかも！キャッチフレーズの個々とは大きく持つように！
伊勢崎市	男性	30代	群馬は素晴らしい山が多いので、登山道の整備とかにもこの県民税を使ってほしい。
桐生市	男性	60代	県の裁量による予算配分でなく、各自自治体の広域的な組織による取り組みに予算配分を手厚く配分してほしい。

高崎市	男性	50代	県の収支全体の効率を見直して森林に関する原資にあてるべき。安易に目的税を導入するのはいかかかと思う。
高崎市	男性	60代	公共工事において、業者の談合などで大切な税金を無駄に使われないようにしていただきたい。
桐生市	男性	40代	このような県民税があることを知らなかった。 どの産業でも人手不足であり、機械化(オートメーション化)も必要だと思う。
玉村町	男性	20代	災害を減らすための森林整備は必要だと思うので、間伐材等の利用を積極的に取り入れた事業に期待したい。
桐生市	男性	60代	山林を所有していても固定資産税を納めているだけの状況です。 以前私は手入れ等していない杉や檜は伐採して、キノコでも生えるような広葉樹林にもどしたいなー。そうすれば山の保水力も増すし良いことばかりじゃないか。どうせ枝も落としてない杉なんかチップにしかならないという話だったし・・・。 でも、もっと根本的な問題は場所がわからないということです。祖父に連れられて何回か行ったのは小学生の頃。ソリ道に沿って山奥に入っていったのですが、今回はそのソリ道もなくなってしまい、どこにあったのかもわかりません。 市役所にも訊いてみましたが正確な位置はわからず、境界線がびっしり書き込まれた白地図を売ってくれましたが、自分の所有する山林はその地図上に点しておりましたがそれを頼りに道なき山に踏み入るには年をとりすぎました。 場所の特定も境界線も素人の私にはまるっきり探せません。 結論として、代替わりが進み自分の山が何処なのか知らない私のような人間が多勢いて、それこそが山が荒廃する原因だと思います。 「緑の県民税」継続の場合は、山の所有者に所有林の場所を知らしめることが税の使い道として重要だと思います。 山の手入れを自分なりにやりたかったのに何も出来ず歳をとってしまった男より。
館林市	男性	60代	森林と農地の境界の保全に役立つ税として活用されたい。林地ばかりに使うのではなく、耕作放棄地対策にも使えるようにしてほしい。
前橋市	男性	60代	森林ボランティア多くの方に賛同してもらい市町村区で整備する
前橋市	男性	50代	森林を所有していても、無関心だったり誰にどのように手入れをしてもらったらいいいのか解らない人にも、有効に使えるようなお金となってほしい。
桐生市	男性	40代	税収の明確化をお願いします。
富岡市	男性	80代	単なる助成等の用途でなく真に森林(自然林を含む)の保全に効果ある取組みに使って下さい。
渋川市	男性	60代	特定個人の利益にならないよう注意してほしい。
沼田市	男性	50代	特にありません。県民の大切な税金なのでよく考えて使ってもらいたいです。
みなかみ町	男性	80代	特になし。 本当は森林についての知識が浅いため書くことができないというのが実状です。 世界各地の木材が伐採され、日本はその輸入国になっているが、資源はやがて枯渇する。豊かな森は日本をもしかすと資源国にするかもしれない。 「緑に関する作業」は長い目でみるのが大事だと思う。だいたい昔の人たちも50年先を考えて植林したのだと思う。今の人は100年先のことを考えて「緑」を処理してほしい。

◆ 普及・啓発について

太田市	女性	30代	アンケート調査がくるまで、ぐんま緑の県民税を納めていることすら知りませんでした。 緑化を進めたり、整備することはとても良いことだと思いますが、多くの人に活動を認知してもらうための資料等が少ないと感じました。 もう少し多くの人が賛同したくなるような成果であったり、市民も参加しやすいイベント等も多ければと思います。
伊勢崎市	女性	40代	今、どんなことが問題・課題なのか？何に困っていて、どんなことがどのように一般の人たちの生活に影響するのか。 詳しく子供でも分かるようにやさしくまとめて発表して、具体的な解決策を公募等してみたらいかかでしょうか？県民税の認知や森林教育につながるのではないのでしょうか？
藤岡市	女性	30代	ぐんま緑の県民税について、全く知りませんでした。 事業の成果等、きちんと県民にわかるよう発表してもらいたいです。
みどり市	女性	30代	ぐんま緑の県民税の取組については賛成ですが、内容が伝わっていないと思います。 まずは子供たちに取組を伝えていただきたい。 あと、どれくらい税金が集まり、いくら使ったのかを一目で見られるようにしてほしい。
渋川市	女性	40代	このアンケートがきて改めて「ぐんま緑の県民税」がとられていて、どのように利用されているのか再認識しました。 私みたいな人多いと思います。県民の人にもっと知ってもらうためにも広報や新聞に載せてもらいたいです。(HPもいいのですが、毎日パソコンを見るわけではないので・・・)
館林市	女性	30代	このアンケートが届いて「ぐんま緑の県民税」というものの存在を知りました。 どのような取組をされているのかも分かりやすく、これからも続けてほしいと思います。
高崎市	女性	70代	この件に関して全く知りませんでしたので、アンケートの資料を見て参考になりました。 ありがとうございました。

伊勢崎市	女性	50代	この税について、もっと広く県民に知ってもらうことが必要だと思う。
富岡市	女性	60代	この通知がくるまで、こんな税があったことを知りませんでした。もう少し認知度を高めた方がいいのでは？「緑のぐんま」を唱えるならば・・・。
高崎市	女性	50代	今回、アンケートにお答えすることで、緑の県民税について初めて知ることができました。日頃から赤城、妙義、榛名を眺め、また休日には出かけて木々の緑を楽しませていただいている身として、年額700円は「いいよ」と言ってあげたい額です。それにしても林業の衰退、胸がいたみます。森が、林業が若い世代の人たちに魅力的に見えるような、そして取り組みたくなるような策が必要だと思います。群馬の木材を使った魅力的な製品ができ、それらが売れるようなアイデアも必要ではないかと思います。高崎線にある木製品のおみやげは私個人としては買ってみたくか、県外の友人にプレゼントしてあげたいというレベルにありません。さほど高価でなく、でも誰かにあげたいと思うような製品を作り出す努力も必要ではないかと思います。仕事があれば若い人達も林業に関心を持ってくれるのではないかと思うのですが・・・。
太田市	女性	50代	収支報告と具体的な活動報告の公表を定期的に教えていただきたい。
榛東村	女性	60代	税金を取られていた事を知らなかった。もっと住民に広くつたえるべきです。一般の人も入れる山があると良いですね。他人の山に入る事が出来ませんのでね。国有林も入山できませんしね。(営林署の人は山に入って色々取っています。)
沼田市	女性	50代	取組の状況を今回知りました。目の前が変わっていくわけではないため、様々な取組が伝わらず継続を賛成しない方もいるのかな？と思いました。身近な環境が整備され、将来への環境保護のためという定期的な情報提供がされると理解がすすむ気がしました。中々HPまで見ないため、かと言いつつ閲覧板でというのも・・・どんな形の情報提供が良いのでしょうか？目の前の形(環境)が変わらないが、県民の方々の理解を得るためには取り組みはもっとアピールした方が良く感じます。
高崎市	女性	40代	取組の宣伝活動(必要最低限)。活動による効果の周知。有意義に使われるよう十分考えられた計画に基づく実施。
藤岡市	女性	30代	全く「ぐんま緑の県民税」というものを知りませんでした。たぶんそういう方がたくさんいらっしゃると思います。賛成でも反対でもないですが、まずはこの税があることをもっと周知することの方が優先だと思えます。
吉岡町	女性	40代	緑の県民税があることを知りませんでした。森林の現状を、もっとたくさんの人に知ってもらうことも大事だと思いました。大切な森林を守っていけるように、大事な税金を使っしてほしいです。
嬭恋村	女性	60代	名称、使い道をもっと県民に知らせる必要を感じる。
伊勢崎市	女性	40代	私は実家の父が森林を所有しており、高齢になり手入れが十分にできていない状態なので「ぐんま緑の県民税」には賛成です。しかし、森林のない地域で生まれ育った方には森林問題に実感がなく、理解していただくことが難しいと思います。森林問題を小学校教育の一環とし(親子で参加するセミナーを開催し)子供には森林の大切さ、親には「ぐんま緑の県民税」の理解と重要性を知っていただくのも良いかと思います。「ホームページに掲載しました」「パンフレットを作りました。」だけではこの問題を理解する人は少ないと思います。返信用封筒には封をする箇所にテープを貼り、返信する人に手間をかけさせないようにすることが常識かと思います。(特にこのようなアンケートの場合では。)
伊勢崎市	男性	60代	大澤知事の肝入り事業かとも思いましたが一般には広報が少なく、年月が経過したばかりであったと感じます。租税教室等で子供達に説明してもらっていますがまず「取組む」べき点が広すぎて結果が出せる機会がみえないので「見える」結果を希望します。子供にも大人にも「こうすればこうなる」事を啓蒙して頂きたいと存じます。頑張ってください。
高崎市	男性	70代	貴税は緑の下の力持ち的な存在で、評価はできますが県民に対する知名度が極めて低いように思います。もっと情報発信して県民の理解、協力が必要に思います。
前橋市	男性	50代	近年の低山登山者ハイカーなどの増加を見逃す手はない。森林保護の観点から登山者に理解を求め、税だけではなく入山料などの個人的な財源を得るとともに、登山者一人一人の森林を恩恵を受ける者が自ら森林の管理の役割を担えるような仕組みを作ることが出来ればよいのでは。たとえば地形図などを配布し、木枯れ、雨裂、陥没など気づいた所をマークし、写真などを提供してもらうなど、「私達も森林保護に協力しているよ」という意識感をもってもらうこともアゲアゲではないだろうか。

前橋市	男性	30代	群馬県に住みはじめてから1年半以上経つが、このような取り組みの存在をアンケートで始めて知った。 取り組み自体は[問4]の回答通り賛成だが、このような取組のアピールが足りないのではないかなと思う。 学生など群馬に住んでいるが「群馬県民」ではない人はこのような取組を知る機会はあるのだろうか？ 公共施設・公園などに張り紙をするなど、県としての取組・活動をもっとアピールした方がよいのではないかなと思う。
みどり市	男性	70代	ぐんま緑の県民税は次年度からも続けていいと思うが、使用内容をわかりやすく広く公開してほしい。
前橋市	男性	70代	県・市町村公共施設また各金融機関等の窓口で募金箱をそえてPRし、群馬の緑がいかに大事なものであるか問いかけたらいかがでしょうか。
大泉町	男性	20代	このような取組みに個人として賛同することができる。 しかし、県としてこのような取組みを行なっていることを知らなかった。もっとPRをすれば税収が増え、様々な意見が得られると思う。群馬県に自然環境における発展に期待している。
富岡市	男性	70代	今回このアンケートを依頼されるまで「ぐんま緑の県民税」について承知していませんでした。 同封の別刷り資料を拝見し、アンケートに答えることで理解できますとともに、今後も継続して徴収すること、活用することが必要で大切なことと認識しております。 特に公共施設に、今以上に木材を活用することで、木材の良さ・長所を広く知ってもらうこと、子供たちを中心として、森林環境教育を広めていくことが大切なことと感じています。
安中市	男性	40代	正直自分は全然知りませんでした。 知らない人も多いと思うのでもっとこういうことをやっているということを県がアピールしていく必要があるのではないだろうか。
草津町	男性	50代	森林を保有していない人でも参加できるイベントを設け、植林や森林整備を行なう機会を作って下さい。楽しいイベントなら参加費を取っても参加者はいると思います。
伊勢崎市	男性	30代	払っている国民が分かりやすい活動内容を広報などで公開すべきだ。
桐生市	男性	30代	ふるさと納税の群馬県の寄付額は28→29年度で昨対比195%で非常に好調な推移で、こうした財源確保に努めていただければ県民負担を減らしてもいいのではないかなと思う。 必要な経費ではあるが、そもそも26年度にこのような目的で県民税が発生したことは知らなかったし、経済的に一般家庭が余裕があるといえれば否であるので、「増やしたなら(別の場所)減らす」ということをやってもらいたい。 国の年金制度にしてもそうだが、先人達の負債・ツケを我々世代や次代の子供たちに背負わせる事ばかりが知らない場所で決められているのは困る。 もっとオープンに活動して、情報発信も自発にお願いしたい。 今回のように活動報告が送られてくるのは良いと思う。ただ、コストもかかるはずなので、電子媒体等を用いてもいいのではないかな。
高崎市	男性	40代	もっと関心を高める工夫は必要だと思います。 ふるさと納税の行き過ぎた景品のようにはいけません。一律の課税だけでなく、任意の納税を推進するような取組もそのひとつだと思います。 群馬県のあまり目立たない資源として活かせるように、税の活用がなされることに期待します。問5の趣旨を勘違いして記入してしまったので、コピーして焼き直しこの表裏を提出しました。

◆ その他意見

川場村	女性	60代	河川整備はどのようになっているのですか。
前橋市	女性	70代	ぐんまの緑が、もっともっと豊かになる(豊かにしていただきたい)ために、税額は増額されても良いと思っています。 切手を貼らずに返信できるのは良いのですが、これも税金からならば、この切手の費用も緑に役立っていただけないでしょうか？ 今後もしこのようなアンケートの機会があるときには、ご検討して下さい。 ご活躍の皆様には心から感謝しています。 私達は公的機関からの返送作業のときは必ず自己負担で切手を貼って出しています。
伊勢崎市	女性	60代	県内森林の公的機能の評価額(年間)の保健休養の意味、さすものは？
沼田市	男性	70代	森林文化都市(沼田市)に居住する、東京から移住した住民です。 昨今、居住地周辺の山林が無秩序に伐採され、みにくい山肌をさらしているように見える。豪雨や豪雪で土砂崩れ等災害発生が懸念される。 県道沿いに最近、山林地帯に樹木を伐採し、太陽光発電パネルを設置する風景が散見される。 どのような視点で設置するか無回答な点が多い。意義は認めるが、山林を破壊してまでやる必要があるのか？ 居住地に産業廃棄物施設建設設計画が持ち上がっている。山林を破壊伐採してまで、施設を誘致する群馬県及び沼田市当局の姿勢は不可解である。“ぐんま緑”や森林文化都市に逆行している。
藤岡市	女性	50代	人間のための森林ということだけでなくそこに暮らす動物のことも考えてもらいたいです
沼田市	男性	60代	新しく作られる道路に植える木はない方がよい。(理由)木を植えずとも周りに緑がどこも十分ある。側道に木が植えてあると見通しが悪い。木と木の間に草だらけの場所が多く、見苦しい。税金のムダ。

伊勢崎市	女性	60代	<p>今回のことで、県の3分の2が森林だということを初めて知りました。 若い時に登山・ハイキングを趣味にしていたので「緑」の良さは充分に感じてきました。 実家には柿、あんず、ザクロ、松などの樹木があり、緑の豊富な環境で育ったことが大きく影響したと思います。</p> <p>しかし、家の建てかえで、ほとんどの木が切られ、住居や駐車場に代わってしまいました。 そうした例はごく普通に行われ、野菜や花を育てていた場所がどんどん駐車場やアパートになっていきます。</p> <p>森林の大事さと同時に、街の中の緑も、もっと守って欲しいですが、手入れの大変さからか、最近も見慣れた木が切られて、残念に思いました。</p> <p>そこで、提案があります。個人で所有する樹木でもある程度の大きさのものを切る際は許可を得る必要があるように、ならないでしょうか？</p> <p>人間よりもはるかに長く生きてきた命を簡単に切り捨ててしまうのは悲しいことです。 動物愛護と同様に樹木を守るために何かの方法をとって頂けたら有難いです。 桜が咲くと、皆さん喜びますね。私は、さまざまな花に対して「咲いてくれてありがとう」と声をかけています。 地球上のすべての生き物は仲間ではないでしょうか？</p>
高崎市	女性	20代	<p>今回のこのアンケートを県民にこういう形で行なうことは直接意見もシェアでき、改めて県民税のことに ついて知れる良い機会だと思いました。</p> <p>私の地元は高崎ですが、高崎も多くのカフェやデパートができ活気あふれる街となつていますが、一 方で市街からも多くの方が訪れるため、高崎は狭いながらも毎回車の混雑が目立ちます。駐車場も限ら れており、とてもキレイな街だとはいいがたいなと感じます。</p> <p>私はつい最近までスイスのジュネーブにいましたが、路面電車、トラムがメインの交通網であり、都市 でありながらも車の交通量も少なく過ごしやすい個人的にトラムを気に入っていました。トラムや路面電車 は交通の利便性だけでなく、環境保全にも役立っているという点は大きいかと。ドイツ・スイスを始めとし たヨーロッパでは環境配慮に対して積極的であり、トラムを多く導入しています。</p> <p>高崎には昔路面電車があったと聞きましたが、路面電車等を導入するのも一つの森林保護につながる のではないかと思います。最初の投資コストは大きいものの、環境への影響等はおさえられると思いま す。または、もっとぐるりんばすなどを普及させて車を規制させるのもありかなと思います。</p>
榛東村	男性	70代	<p>榛東村の森が荒れています。パソコン、テレビ、冷蔵庫、業務用大型冷蔵庫、古着、コンクリートやブ ロックなどの工業廃棄物など、家庭用から業務用と思われるゴミが散乱しています。</p> <p>「不法投棄禁止」などの看板を立てては？</p> <p>地主さんが高齢で後継者不足なのか松の倒木が山道を妨害していたり、折れた竹が川に倒れていま り大雨などの水害が心配です。</p> <p>手入れされない森や竹林は役所が没収しては？</p> <p>チェーンソー講習で伐採した杉や松の丸太を地主さんから頂き、弁当箱・玩具・木のボタン・のれんなど を趣味で作っています。</p> <p>長年かかって成長した木は貴重です。県土の2/3が森林の特産を活かして産業化しては？もし興味があ ったらお出かけ下さい。</p> <p>少子高齢化で「緑の税金」もアップが予想され、不足だから上げるだけでは問題です。価値ある型に 物作りし、税の穴埋めを考えては？</p>
伊勢崎市	男性	80代	森林は栃木県日光市(出身地)に所有しています。
板倉町	男性	50代	私は群馬県出身ではありません。 他県から群馬へ転入し、すでに約10年近くになります。とても緑が多いと感じております。

第3章 資料編 アンケート調査票

ぐんま緑の県民税に関するアンケート調査 ～ご協力のお願～

皆様には、日頃から県政に対しましてご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

群馬県は、県の面積の3分の2を森林が占める森林県です。森林には、豊かな水を育み、また災害を防止するなど様々な役割があり、私たちの暮らしを支えています。

しかしながら、木材価格の低迷や山村地域の過疎化・高齢化などにより林業が衰退し、適切な管理が行われず放置された森林や荒廃した森林が増加しています。

このような状況の中、県民共有の財産である大切な森林を守り、育て、次世代に引き継いで行くため、**平成26年度から「ぐんま緑の県民税」を導入し、納税者の方から年額700円(住民税に含まれています。)を納めていただき**、財源をぐんま緑の県民基金に積み立て、奥山の森林の整備や、地域住民やボランティア団体等が行う里山・竹林の整備等に活用させていただいています。

(詳細につきましては、同封しました[「ぐんま緑の県民税」の取組]の資料をご確認ください)

ぐんま緑の県民税は、平成30年度に最終年度を迎えることから、これまでの事業の成果を踏まえ、現在、今後の方向性について検討を進めています。

このアンケート調査は、県民の皆様のお考えをお聞きし、今後の方向性を検討する上での参考資料とさせていただくものです。

お聞かせいただいた内容は、集計した上で公表する予定ですが、個人に関する内容を公表することは一切ございません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、アンケート調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成30年3月
群馬県

(裏面もご覧ください)

ご記入にあたってのお願い

1 記入者

- ・原則として、宛名のご本人様をご記入ください。

2 記入方法

- ・アンケート調査にご回答いただく前に、別紙[「ぐんま緑の県民税」の取組]をご参照ください。
- ・回答は、あなたのお考えに最も近い内容の記号に「○」印を付ける方式です。それぞれの設問で指定された個数分「○」印を付けてください。
- ・「その他」を選択した場合や「意見記載」欄には、ご意見を具体的にご記載ください。

3 提出方法

- ・ご記入いただいた調査票は、回答漏れのないことをご確認の上、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに平成30年3月23日(金)までに郵便ポストへ投函ください。(お名前や住所の記入は不要です。)

4 問い合わせ先

- ・ご不明な点等につきましては、下記担当までお問い合わせください。

群馬県 環境森林部 林政課 林政推進係

電 話:027-226-3214

FAX:027-223-0154

E-mail: gm-zei@pref.gunma.lg.jp

ご回答者についてお伺いします。

(これは個人を特定するものではありません)

【問1】 あなたの性別をお答えください。該当する番号を1つ○で囲んでください。

1 男性	2 女性
------	------

【問2】 あなたの年齢をお答えください。該当する番号を1つ○で囲んでください。

1 10代	2 20代	3 30代	4 40代
5 50代	6 60代	7 70代	8 80代以上

【問3】 あなたのご職業をお答えください。該当する番号を1つ○で囲んでください。

1 自営業	2 会社役員・団体役員
3 会社員・団体職員	4 公務員
5 派遣社員	6 パート、アルバイト・臨時職員
7 専業主婦・主夫	8 学 生
9 無 職	10 その他()

【問4】 あなたのお住まいの市町村名をお答えください。該当する番号を1つ○で囲んでください。

1 前橋市	2 高崎市	3 桐生市	4 伊勢崎市	5 太田市
6 沼田市	7 館林市	8 渋川市	9 藤岡市	10 富岡市
11 安中市	12 みどり市	13 榛東村	14 吉岡町	15 上野村
16 神流町	17 下仁田町	18 南牧村	19 甘楽町	20 中之条町
21 長野原町	22 嬬恋村	23 草津町	24 高山村	25 東吾妻町
26 片品村	27 川場村	28 昭和村	29 みなかみ町	30 玉村町
31 板倉町	32 明和町	33 千代田町	34 大泉町	35 邑楽町

【問5】 あなた(ご家族を含む)は、森林を所有していますか。該当する番号を1つ○で囲んでください。

1 自ら森林を所有している
2 家族が森林を所有している
3 森林を所有していない
4 わからない

次のページへお進みください

「ぐんま緑の県民税」についてお伺いします。

【問1】 森林の働きについて

森林は水を育み二酸化炭素を吸収するなどの機能があり、私たちの安全で安心な暮らしを支えています。あなたは森林の働きに何を期待しますか。該当する番号をすべて○で囲んでください。

- 1 山崩れや洪水などの災害を防止する働き
- 2 心身の癒やしや安らぎ、レクリエーションの場を提供する働き
- 3 木材やきのこ・山菜などの林産物を生産する働き
- 4 大気を浄化したり、騒音をやわらげる働き
- 5 水を蓄え、浄化する働き
- 6 二酸化炭素を吸収することにより、地球温暖化防止に貢献する働き
- 7 野生動植物の生息の場としての働き
- 8 自然に親しみ、森林と人とのかかわりを学ぶなど教育の場としての働き

【問2】 「ぐんま緑の県民税」の認知度について

県では、この大切な森林を守り、育て、次世代に引き継いでいくため、「ぐんま緑の県民税」を導入し、これまで、別紙[「ぐんま緑の県民税」の取組]のとおり、奥山や里山・平地林の整備等に取り組んでいます。あなたは「ぐんま緑の県民税」を知っていますか。該当する番号を1つ○で囲んでください。

- 1 名称、税額を知っており、使い道も知っている
- 2 名称、税額を知っているが、使い道は知らない
- 3 名称は知っているが、税額や使い道は知らない
- 4 名称、税額、使い道ともに知らない

【問3】 「ぐんま緑の県民税」を活用した取組について

「ぐんま緑の県民税」は、「豊かな水を育み、災害に強い森林づくり」、「里山・平地林等の森林環境を改善し、安全・安心な生活環境を創造」を目標に、次の取組を行っています。あなたが大切だと思う取組は何ですか。該当する番号をすべて○で囲んでください。

- 1 奥山で手入れ不足のスギやヒノキなど森林の整備
- 2 水道などの水源となっている森林の整備
- 3 松枯れでヤブになった所を森林に再生
- 4 身近な里山や竹林の刈払いなどの整備
- 5 絶滅のおそれがある動植物の保護・保全活動
- 6 子供たちを対象にした森林環境教育
- 7 水源林や平地林として維持する必要がある森林の市町村による買取
- 8 森林整備を行うボランティアや地域団体の支援

次のページへお進みください

【問4】 「ぐんま緑の県民税」の継続について

「ぐんま緑の県民税」は、平成26年度から平成30年度までの5年が実施期間です。事業の実績等は、県民等で構成する第三者機関「ぐんま緑の県民税評価検証委員会」において評価をいただいているところですが、平成31年度以降も「ぐんま緑の県民税」を継続することについて、あなたはどのようにお考えですか。**該当する番号を1つ〇で囲んでください。**

- 1 賛成
- 2 どちらかといえば賛成
- 3 どちらかといえば反対
- 4 反対
- 5 どちらともいえない

【問5】 「ぐんま緑の県民税」を継続した場合の取組について

あなたは、群馬県の大切な森林を守り、育て、次世代に引き継いでいくため、今後どのような取組に「ぐんま緑の県民税」を活用すべきと思いますか。**該当する番号を3つまで〇で囲んでください。**

- 1 花粉発生源であるスギなどの森林の植替
- 2 シカなどの野生獣による植林した苗木への食害を防ぐための柵などの設置
- 3 道路沿線などの手入れ不足のスギやヒノキなど森林の整備
- 4 間伐材などを運び出すための作業道の整備や間伐材などを利用する取組
- 5 森林整備を行う林業者の技術習得のための研修等
- 6 公共施設などの緑化
- 7 公共施設などの木造化や木材利用
- 8 その他(具体的に記載をお願いします)

次のページへお進みください

【問6】 「ぐんま緑の県民税」に関するご意見について

「ぐんま緑の県民税」に関するご意見等がある場合は、以下にご記入をお願いします。

質問は、以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。

なお、調査結果につきましては、5月頃に群馬県ホームページ(<http://www.pref.gunma.jp/>)
において公開させていただく予定です。

Memo

ぐんま緑の県民税 県民アンケート 報告書

○この実施報告書に関するお問い合わせ先

群馬県環境森林部林政課林政推進係

〒371-8570群馬県前橋市大手町1-1-1

TEL:027-226-3278 Fax:027-223-0154

E-mail:rinseika@pref.gunma.lg.jp

○ぐんま緑の県民税ホームページ

<http://www.pref.gunma.jp/04/e3000101.html>